

NY在住のピアニストがアメリカ音楽の現場  
で使われているアイデアを公開。

---

---

# Mubo

## -自分だけの 音楽スタイルを作る- 入門編



泉川貴広 著



## ■はじめに

本書「超実践音楽力」を手にとっただき、ありがとうございます。

この本は、音楽を本気で追求している人に向けたものです。主に、プロの道を目指す10代から20代の若者を対象に、アメリカの音楽現場で使われているアイデアをたくさん紹介していきますが、音楽を趣味として楽しむ社会人の方や、退職して新たな挑戦を本気で考えている方にもプラスとなる知識を提供できるように、間口を広く、シンプルにまとめました。

この本のコンセプトは、「実践で使えること」と「問題を解決すること」です。

理論の完璧な解説や難解な用語は他の教則本に譲り、実際に使える情報にフォーカスして内容をまとめました。もしかしたら厳密さに欠ける部分もあるかもしれませんが、でも、わかればいいのです！演奏できるようになればいいのです！どれだけ正確でカッコいい理論を知っていても、それを活かさなければ意味がありません。また、ヤル気がなくなってしまっては意味がありません。

ここで紹介している知識は、2024年現在、全て私自身が世界中のアーティストとの仕事で活用しているもので、世界で通用することは実証済みです。

ジャズ理論をベースに、主にゴスペルやヒップホップのスタイルを解説していきます。日本にはあまり情報がないかもしれませんが、きっとみなさんの演奏、曲づくり、アレンジに新たな刺激をもたらすと思います。少しでもみなさんの音楽活動をサポートできることを願っています。

また、私のサイトである“Mubo”（ミューボ）の動画視聴によりさらに理解が深まると思います。目次と各章のまとめページにコンテンツ内容と紐づけてリンクを貼り付けますので、併せてご利用ください。あまり深く考えず、まずは楽しみましょう。

それでは、一緒に音楽の素晴らしさを追求していきましょう！

-泉川

音楽の総合体験 “Mubo”  
<https://mubo.taka808.com>



Part01 基本和音と3つのテンション

Part02 オシャレな響き！  
3つのテンションと使い方

Part03 3和音だけでできる！簡単ゴスペルコード

Part04 カッコいいソロやメロディを作ろう！  
(アルペジオ、スケール)

Part05 カッコいいソロやメロディを作ろう！  
(ターゲットノート)

Part06 カッコいいソロ、メロディを作りたい  
(フレーズと休符の長さ)

Part07 簡単にオシャレなコードを付け足す方法  
(2-5-1)

Part08 泣けるゴスペルコード  
(パッシングコード)

Part09 王道ジャズサウンドの作り方  
(オルタードテンション)

Part12 1秒でジャズサウンドの和音を足す方法  
(裏コード)

Part17 もう迷わない和音の積み方

Part18 もっと簡単にジャズサウンドを作る  
(コンビネーションディミニッシュ)

※各Partは“Mubo”のセクションと連動しているため、  
数値が飛んだ表記となっております。

01 <https://mubo.taka808.com/articles/Y30liRcAACoA4KMK/>



02 <https://mubo.taka808.com/articles/Y32TBBcAACwA4x9D/>



03 <https://mubo.taka808.com/articles/Y4WJTBEAACAAOnbE/>



04 <https://mubo.taka808.com/articles/ZCZIQhAAAB8AxoA5/>



05 <https://mubo.taka808.com/articles/ZCZI4hAAAB8AxoEr/>



06 <https://mubo.taka808.com/articles/Y4WM5REAAACgAOocX/>



07 <https://mubo.taka808.com/articles/Y4w2mxEAACgAWGMh/>



08 <https://mubo.taka808.com/articles/Y4w3uxEAACMAWGgY/>



09 <https://mubo.taka808.com/articles/Y4w4NxEAACQAWGpA/>



12 <https://mubo.taka808.com/articles/Y4w6EhEAACMAWHKJ/>




17 <https://mubo.taka808.com/articles/Y4w-dhEAACgAWIXh/>



18 <https://mubo.taka808.com/articles/Y4w IREAACMAWIr2/>



※各Partは“Mubo”のセクションと連動しているため、  
数値が飛んだ表記となっております。



# 基本和音と 3つのテンション

Part 01

 基本和音について

和音とは、違う高さの音が同時に鳴っている音のことです。また、この本の中で「基本和音」と呼んでいるのは、まるで料理の素材のようなもののこと。例えばお肉や野菜みたいな。コードや和音と聞くと、難しいと思うかもしれないけど、実は基本的な和音はたったの4つだけ。

1.明るい3和音

2.暗い3和音

3.メイジャー・セブンス

4.セブンス

3 和音

4 和音

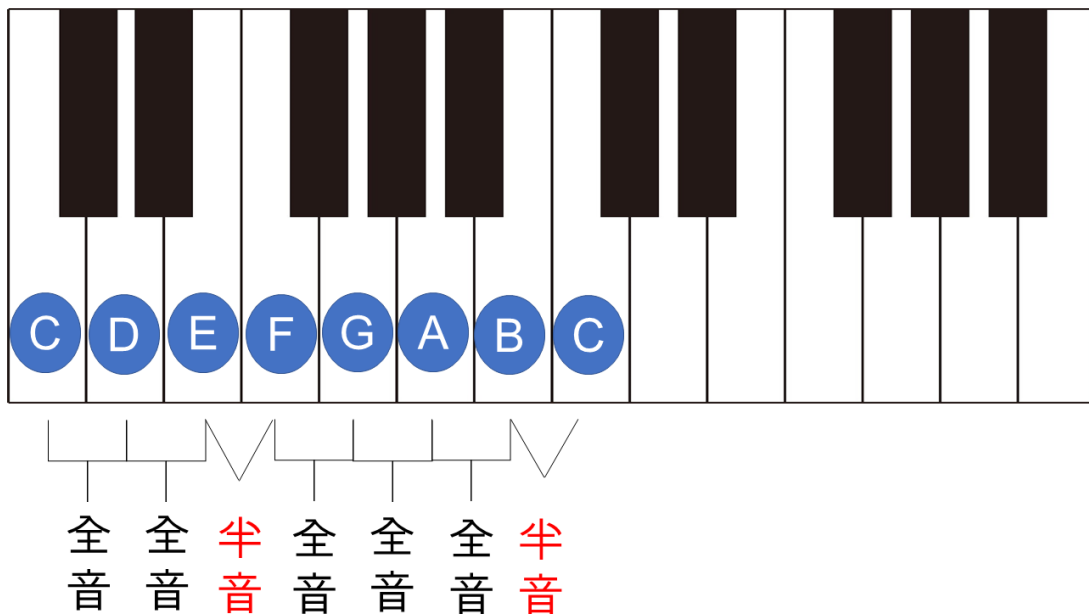
基本和音

スケール（音階）とは音を順番にならべたグループのことです。昔の学者や音楽家たちは、音の世界を12等分して、そのルールを作りました。それで、8つの音のグループが特にきれいに調和する（ハモる）ことがわかりました。（ダイアトニックスケール）例えば、Cの音階は、ドレミファソラシドって感じ  
です。

これをこの本では「ハモる8個のかたまり」と呼びます。

この本では、和音とスケールを同じものとして考えます。（同時に弾くと和音、別々に弾くとスケール）つまり、音楽の世界で使う「素材」を同じように使うこと。それは、どんな楽曲を作っても、同じ基本のルールを使って作れるってことなのです。

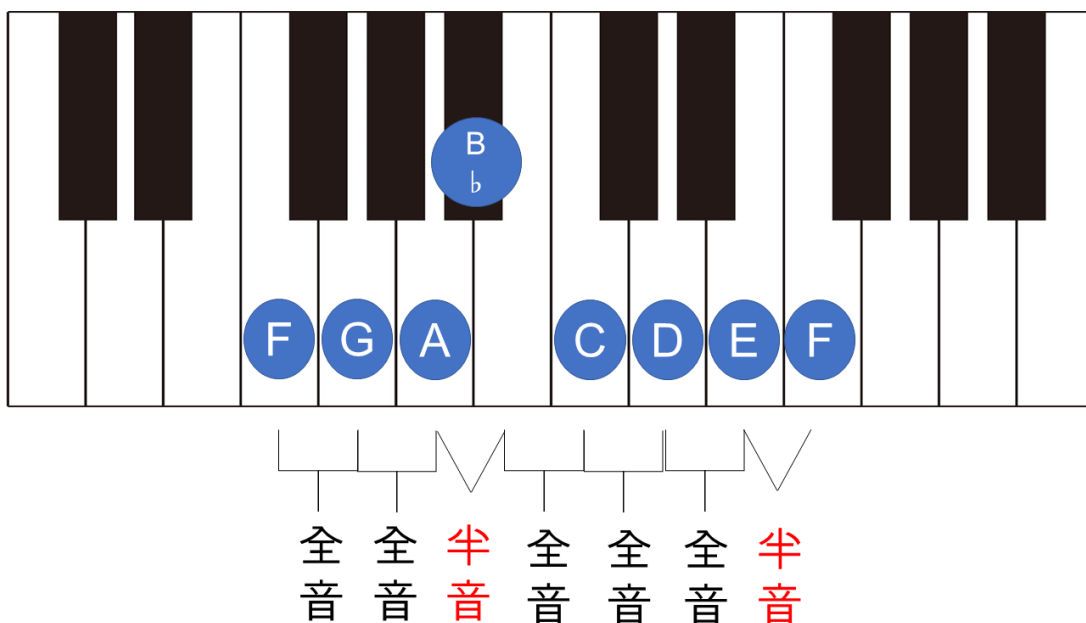
■ Key in C Major のハモる 8 個のかたまり  
(ダイアトニックスケール)



どの音から始めたとしても、音の間隔は同じ。次はもっと音を高くしたい。

じゃあ、ファ (F) の音から始めた例を見てみましょう。

■ Key in F Major のハモる 8 個のかたまり  
(ダイアトニックスケール)

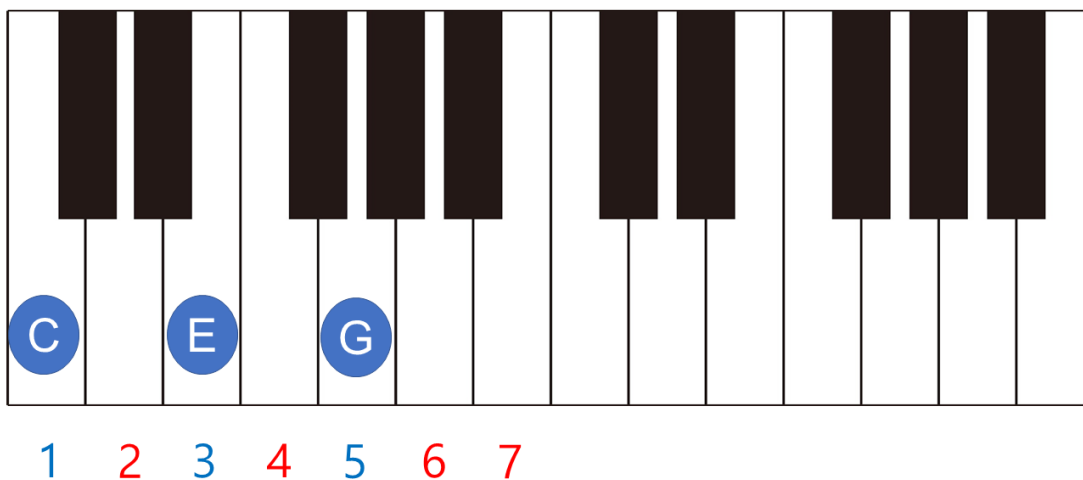


そう、理論的にはCのキーで素敵なフレーズや曲を作れるなら、他のキーでも同じことができるということなのです。たくさんのキーを覚えなきゃいけないと思うと、ちょっと敬遠されるかもしれないけど、実は意外にシンプル。

## 1. 明るい3和音について

では、さっそく明るい3和音について説明します。さっき説明した8個のかたまりですが、これを同時に全て弾いてみると何か濁って聴こえますね。では、1個飛ばしで音を取り出してみようというコンセプトでできたのが明るい3和音です。

### C Major

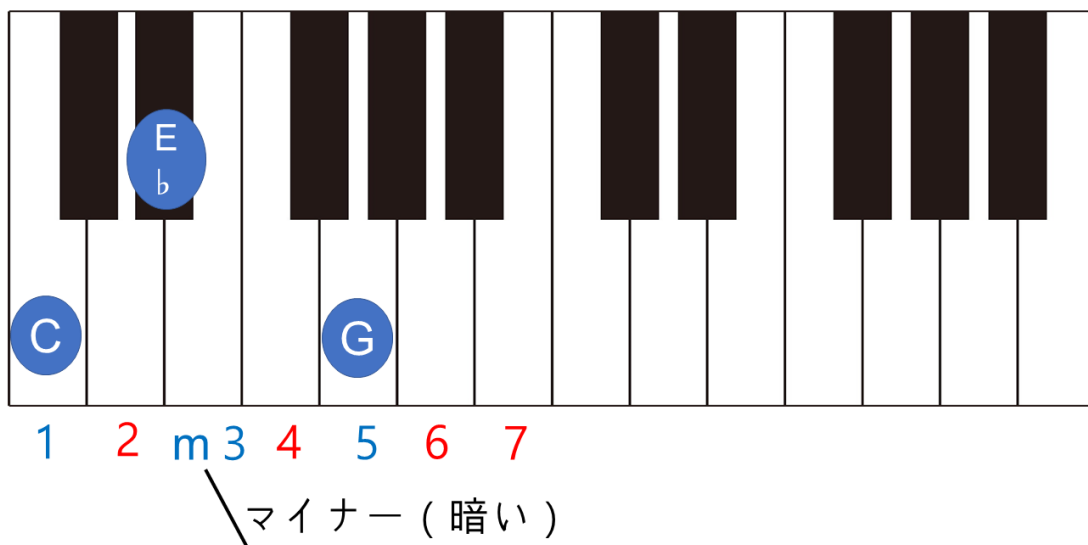


上に書いてある数字は、度数といって、始まりの音（ルート音）を1とした時のハモるかたまりの順番を示しています。

## 2. 暗い3和音について

次は暗い3和音について。明るい3和音だけだとつまらない、そこで、1個飛ばしで作った明るいコードの真ん中の音を半音下げると暗いニュアンスになりました。これが暗い3和音です。シンプルですね。

### C Minor



## 和音の機能について

和音には機能があります。Tトニック、SDサブドミナント、Dドミナントの3つです。(覚えなくて大丈夫です)

ハモる8つのかたまりを使って1度と3度から始めた和音は安定、4度と2度から始めるとフワッとした感じ、5度と7度から始めると不安定な感じになります。これは他のキーでも同じことです。Fのキーであれば、Fから始まる和音は安定、B $\flat$ から始まる和音はフワッと、Cから始まる和音は不安定になります。

さあ、ここで3和音を使って曲を作ったり、好きな曲を練習したりしてみてください！楽しんで音楽を奏でてみましょう！

# ダイアトニックコードについて

ここでダイアトニックコードについて説明しておきます。もしかしたら、この言葉を聞いたことのある人も多いかもしれません。

ざっくり言うと、「ハモる8個のかたまり」から音を取り出して、1個飛ばしで音を詰んだものをダイアトニックコードといいます。

## C Major key (ハモる8個のかたまり) のダイアトニックコード

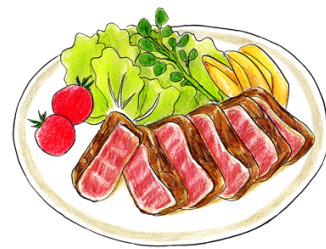
コード・ネーム	C	Dm	Em	F	G	Am	Bm7b5
ディグリー・ネーム	I	IIIm	IIIIm	IV	V	VIIm	VIIIm7b5
安定性	安定	フワツと	安定	フワツと	不安定	安定	不安定

レとファを飛ばして、ド・ミ・ソを重ねる。他のコードも同じく1個飛ばしで重ねる。

コードによって印象が変わる。1度(安定)、4度(フワツと)、5度(不安定)のコードが特に重要。

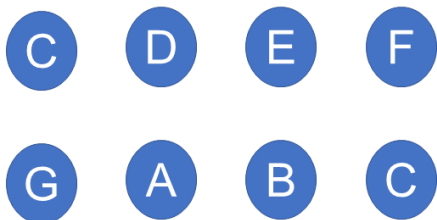
大事なポイントは、「ハモる8つのかたまり」という一組の素材で、メロディと和音(コード)どちらも作られているということです。ついついメロディと和音は別々に考えてしまいがちですが、メロディと和音は同じもので、2つで一つのハーモニーを作っていると考えるとよいかもかもしれません。

料理に例えると、バスケットに入っているひとまとまりの素材で、メインディッシュも前菜も作れる、とも言えるかもしれませんね。



“ひとまとまりの素材”

“メインディッシュと  
サイドディッシュ”



”ハモる8つのかたまり”

メロディ+コード  
=ハーモニー



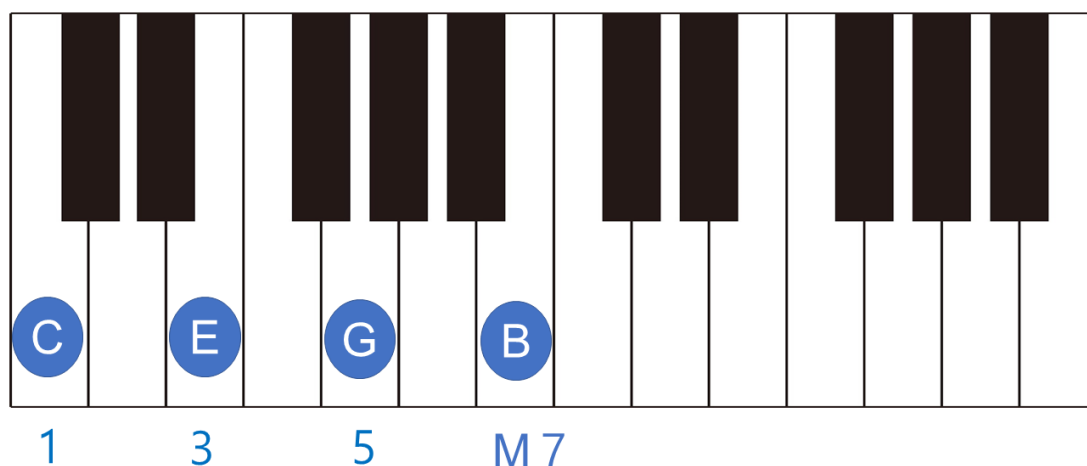
ダイアトニックコードのポイント

1. 「ハモる8つのかたまり」から音を取り出し、一つ飛ばしで重ねた和音をダイアトニックコードと呼ぶ。
2. コードによって印象が変わる。1度(安定)、4度(フワット)、5度(不安定)のコードが特に重要。
3. 「ハモる8つのかたまり」という一組の素材で、メロディ+コード=ハーモニーも作ることができる。

ハモる8つのかたまりから、明るい和音と暗い和音を作って、曲をたくさん弾いてみたけど飽きてきた。そこで、もっと違うサウンドがないかと考えた時、同じ発想で1個飛ばしで上に音を付け足しました。これがメイジャー・セブンスとセブンスです。(4和音目)

### 3. メイジャー・セブンス

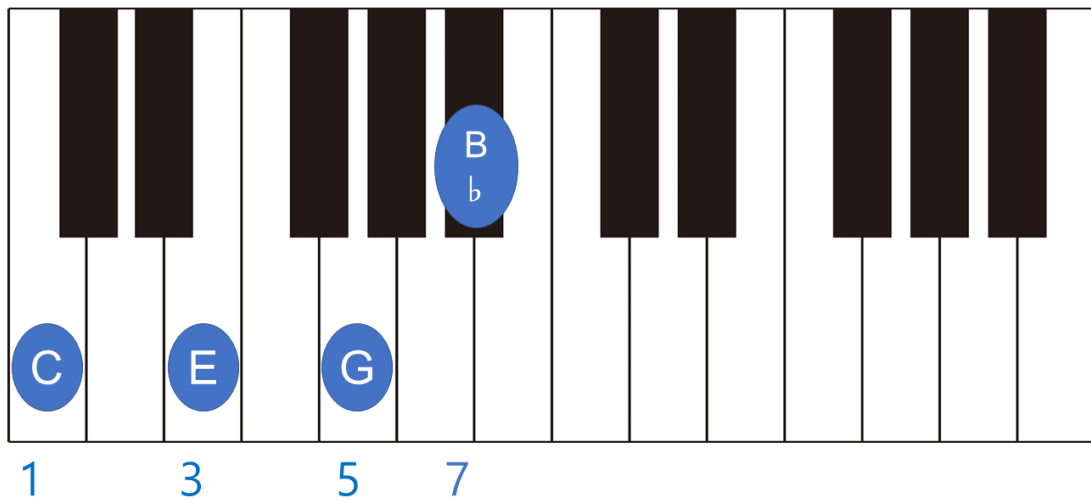
#### C Major 7



安定していてリッチな響きになります。

## 4. セブンス

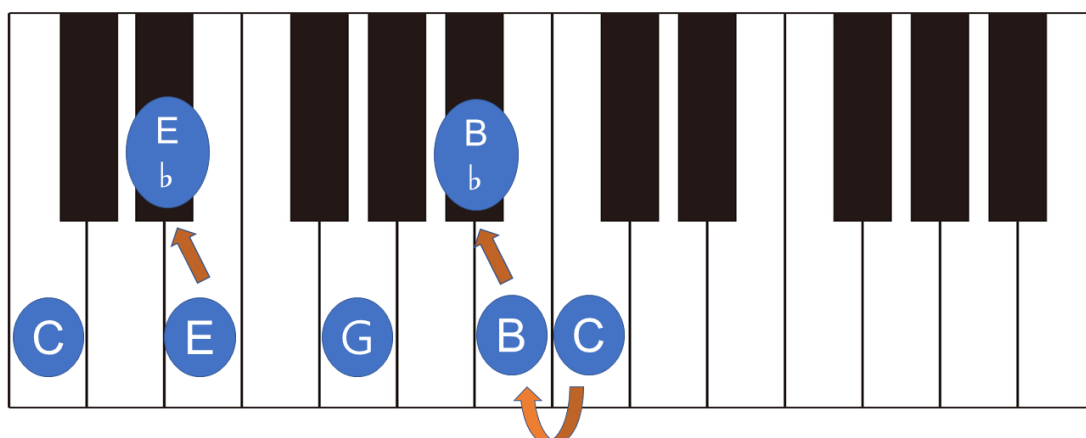
### C7



メイジャー・セブンスを半音下げるとセブンスになります。  
すると少し刺激的な感じがしますね。8個のハモるかたまり  
に入っていない音が入ると刺激的な響きになります。

セブンスは基本は不安定なサウンドなので、不安定にしたいコード(ドミナント)の時に使うとより効果が上がりそうですね。5度の和音が不安定(Cの場合はG)という説明をしました。なので、5度の時はセブンスをつけてG7にすることが多いです。

## 4つのコードの覚え方



オクターブ上のルート(C)の半音下がメイジャー・セブンス(B)、さらにその下がセブンス(B $\flat$ )。また、一番下の音から数えて3番目の音が明るい3和音を作るメイジャー3rdの音(E)、そこから半音下がると暗い3和音を作るマイナー3rd(E $\flat$ )の音になります。この組み合わせで4つの和音ができます。

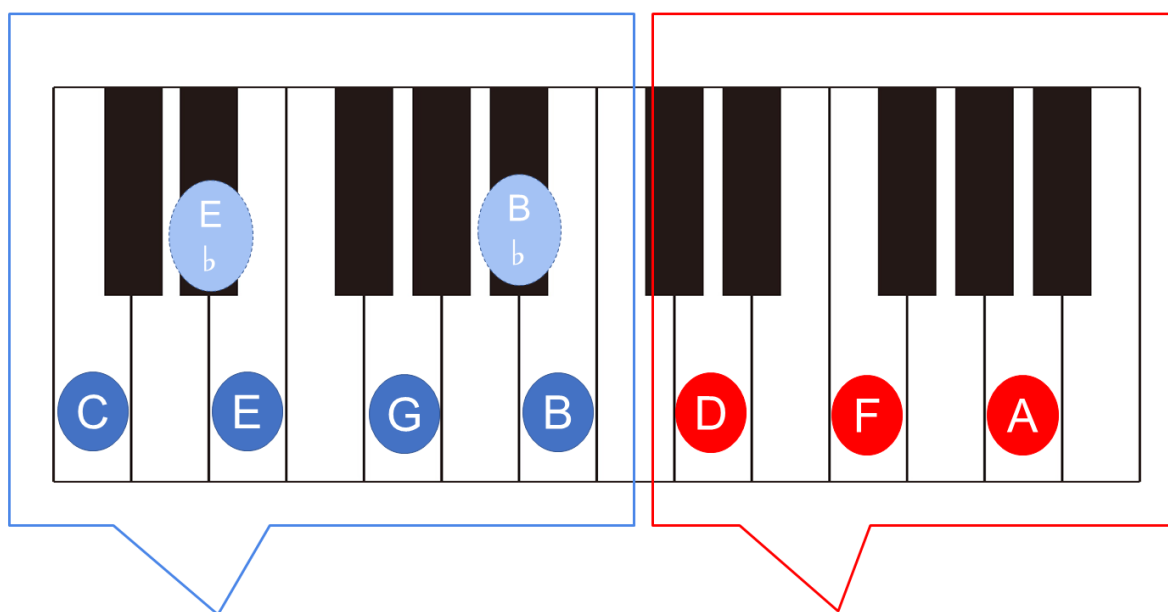
CMaj7、C7、Cm7、CmMaj7 です！

3和音だけでなく4和音目も足して演奏しながら、響きをかためてみましょう！

ここまでが料理で言うとお肉やお魚などの「素材」の話でした。  
まだハモる8つの音の中で使っていない音が3つありますよね。

ここからは、料理で言う塩などの「調味料」にあたるテンションについて説明します。

## 3つのテンション -基本和音の先にあるもの



素材から基本和音を作る

テンション（調味料）が出現

1個飛ばしで音を重ねていく

以降のページではテンションの位置を探すコツについて「オクターブ上のルートの1音上の音」というように解説します。

ただ、それはあくまでも実践的な方法であり、テンションとは、ハモる8個のかたまりを基準に、基本和音の上に1個飛ばしで音を重ねていった先に出てくるものである、ということが基本理論であることを覚えておいてください。

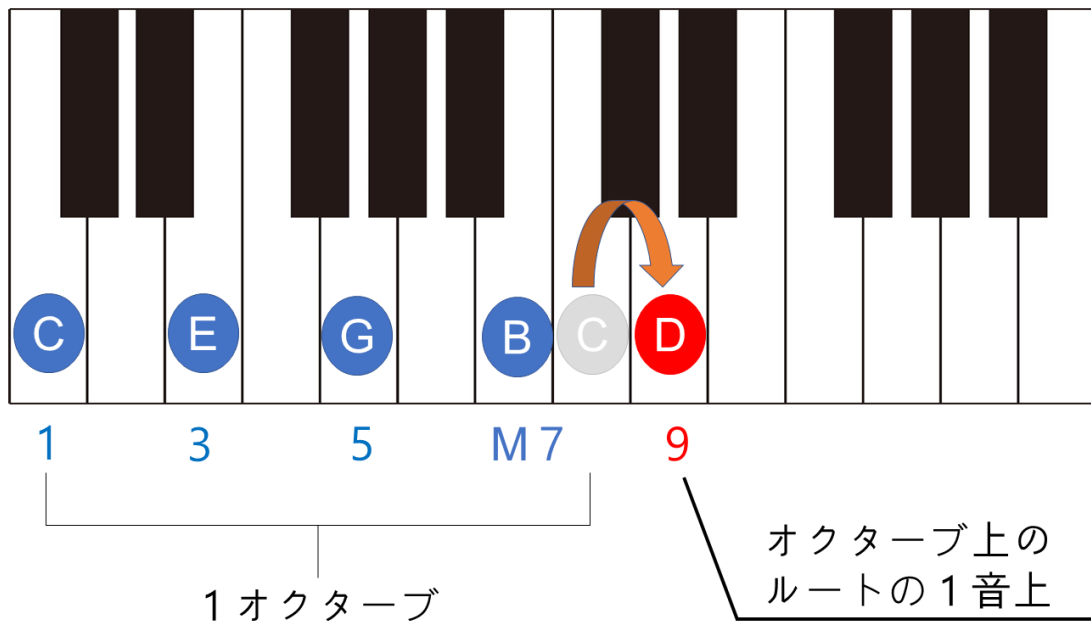


## 9th 探すコツ

オクターブ上のルートの1音上の音



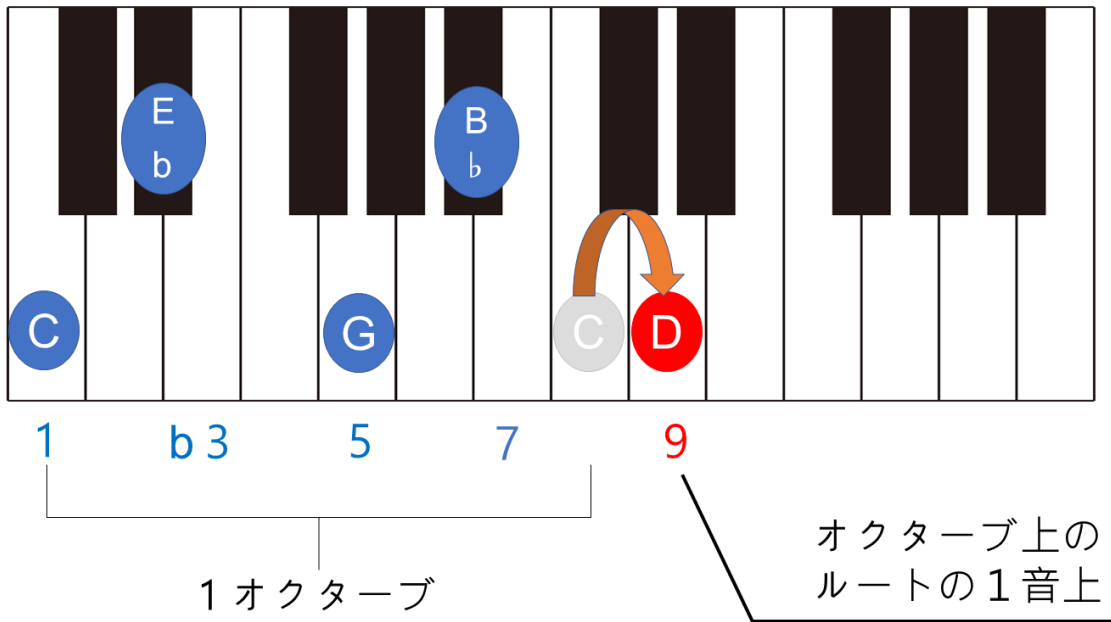
### C Major 7 (9) コード



ルートから数えて9番目の音なので9thと呼びます。(1個飛ばしたので2と一緒にの音)

料理に塩を振ったら塩味になるように、他の9thコードのサウンドも同じ雰囲気の影響になります。次はマイナー・セブンスを見てみましょう。

## C Minor 7 ( 9 )

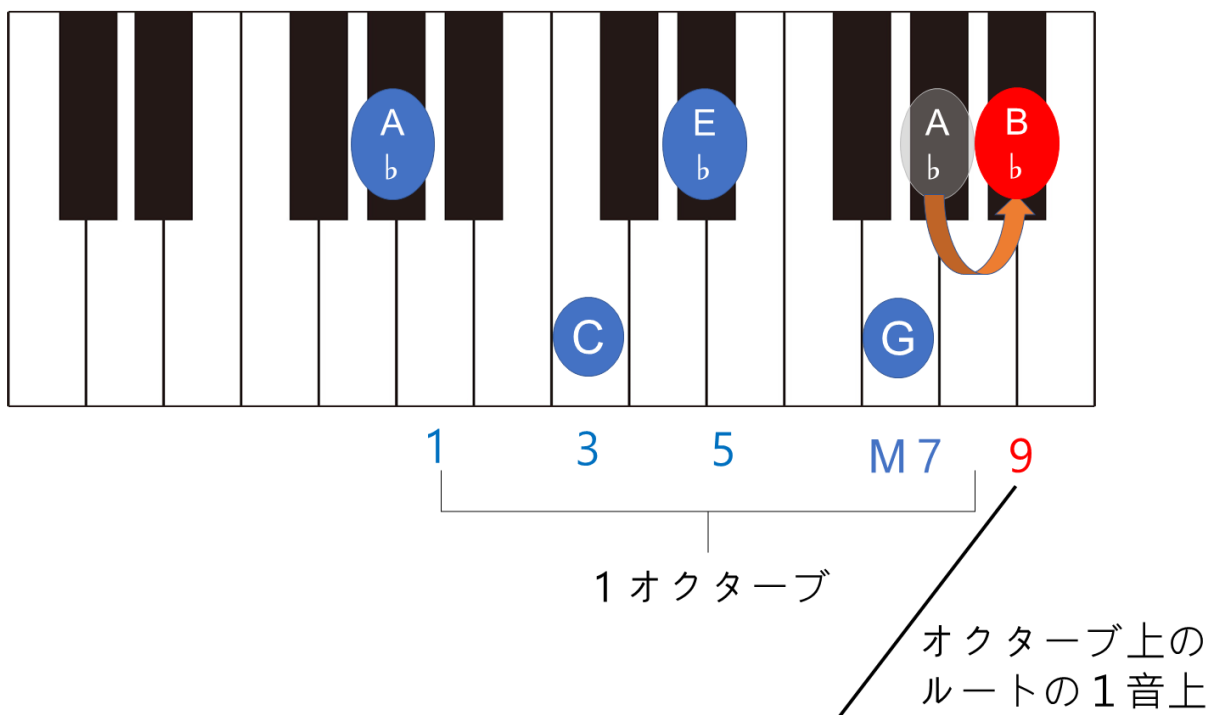


Abのメジャー・ナインスも見てみましょう。なんでも一緒ですね。まず、明るい3和音を作る。(Ab、C、Eb)

そして、ルートの半音下に4和音目を足す。(G)

最後に、オクターブ上のルートの1音上に9thを足す。(Bb)

## Ab Major 7 ( 9 )



## ナインスを入れる練習

さあ、ここまできたらどんどんいきましょう！

自分の好きな曲や作った曲にナインスを入れるのはすごく良いエクササイズになると思います。ここに塩味を入れたらカッコいいかもなとか、色々と考えながら演奏してみると新たな発見があるはずです。

テンションはジャズの曲がハマりますね。「A列車で行こう」など、知っている曲で試してみましよう。ナインスを全部の和音に入れる必要がないかもな、とか、今は塩を振るタイミングだ、とか。最初は全てにナインスを入れて練習するのも一つの手ですね！

## 次章

次はまだ紹介していないテンション。

11thや13thについて解説しながら、注意点や実践的な使い方についても紹介していきたいと思います。



## 基本和音と3つのセッション まとめ

1.

基本和音とは、料理でいうお肉やお野菜などの「素材」のようなもの。明るい3和音、暗い3和音、そして4和音目のメイジャー・セブンス、セブンスがある。

2.

綺麗に調和する音のかたまりを「ハモる8個のかたまり」と呼ぶ。そのかたまりを1個飛ばしで弾くと和音ができる。

3.

1度と3度から始めた和音は安定、4度と2度から始めるとフワッと、5度と7度から始めると不安定な感じになる。これはどのキーでも同じ。

4.

4和音目のセブンスは8個のハモるかたまりの中に入っていないので、不安定なサウンドになる。なので、Cのキーで考えると5度の和音であるG7の時に使うと効果的！

5.

テンションとは、ハモる8個のかたまりを基準に、基本和音の上に1個飛ばしで音を重ねていった先に出てくる音。料理でいう「調味料」のようなもの。


6.

料理に塩を振ったら塩味になるように、他の9thコードのサウンドも同じ雰囲気の影響になる。

Part01 link

<https://mubo.taka808.com/articles/Y30liRcAACoA4KMK/>





オシャレな響き！  
3つのテンションと使い方

# part 02 オシャレな響き！3つのテンションと使い方

## 3つのテンション-11th イレブンス編

### 11th 探すコツ

オクターブ上の5度の1音下の音

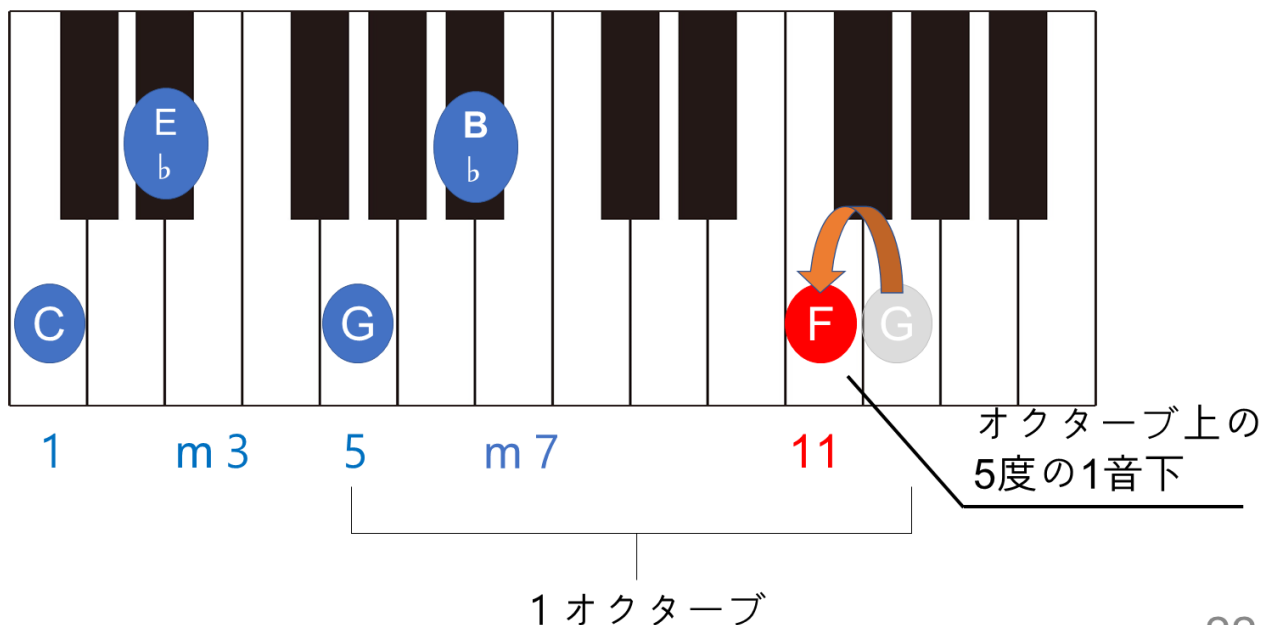


前は9thについて解説しました。ちょっとリッチなサウンドにしたい時に入れてみようという内容でしたね。今回はさらに違う味付けにしてみましょう。

まだ8個のハモるかたまりで使っていない音がありますね。9thの音にひとつ飛ばしで音を積むと11thが出てきます。当たり前ですけど4番目の音と同じですね。9thが塩だとしたらこれは唐辛子みたいなもの。

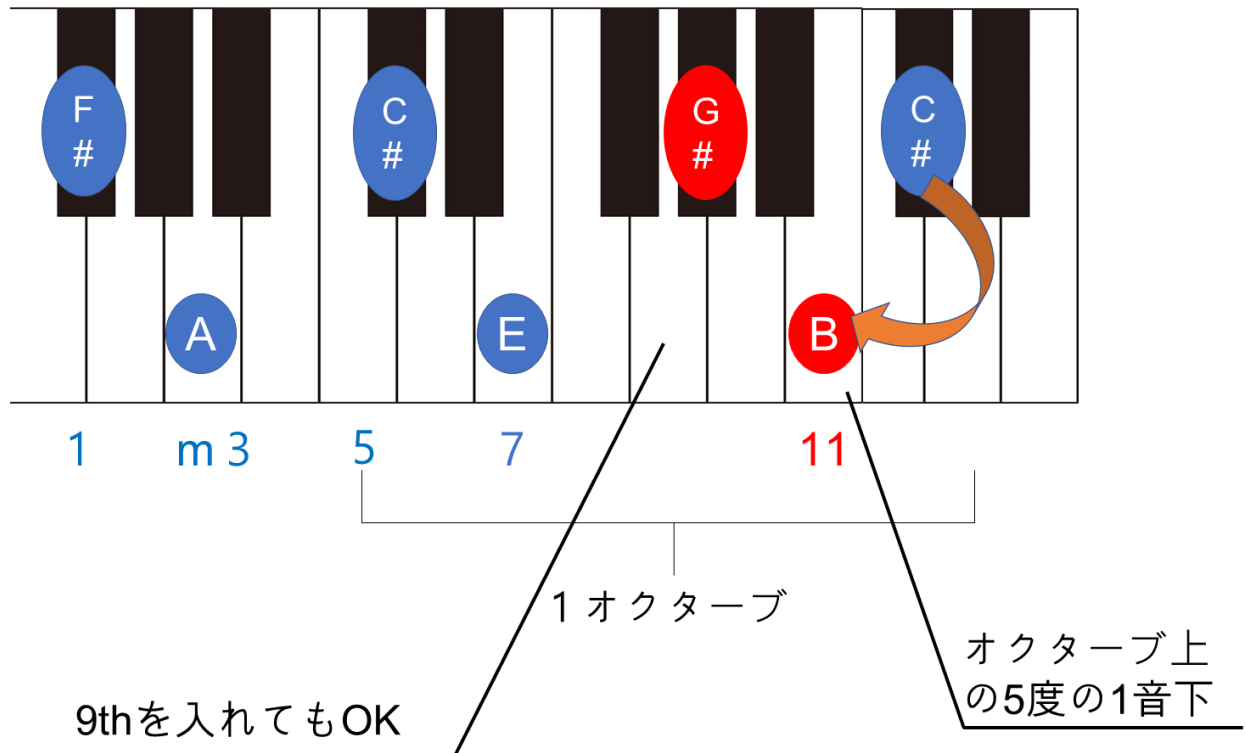
注意点として、11thはマイナーにしか使えないのです。理由はあとで説明しますね！まずは鍵盤で位置を確認してみましょう。

### C Minor 7 (11)



では続けて違うコード。F#に唐辛子を入れて、F#m7 ( 11 )  
にしてみます。

### F# Minor 7 ( 9,11 )



もし、押さえ方がわからなくなった場合は、Cのキーに戻って考えてみると理解しやすいです。

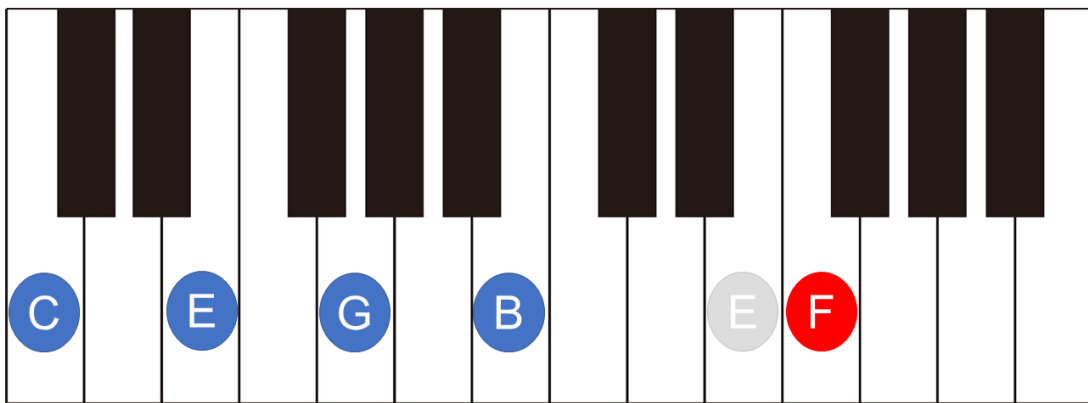
また、唐辛子 ( 11th ) だけでなく塩 ( 9th ) も入れて、F#m7 ( 9,11 ) にしてもOKです。自分の好きな味付けを試してみましょう！



どうしてメジャーのコードで11thが使えないの？

Cメジャーセブンスのコードで考えてみましょう。弾いてみると音が綺麗にハマらないことがわかります。これも、昔の音楽家や学者が発見したことなのですが、1オクターブと半音はなれた音があると不協和音となってしまいます。

### C Major 7 に11thを加えようとした場合



1 3 5 7 11

1 オクターブ

半音

不協和音！  
綺麗にハマらない！

短9度 (覚えなくて大丈夫)

でも、メジャーのコードにも11thっぽい音を入れてみたい。その方法を次のページで解説しますね。



## メジャーのコードで11thを入れる時は半音上げる

メジャーのコードにも11thっぽい音を入れてみたい。ここで、シンプルに、半音上げるか下げるかしてみようというアイデア。半音下げるとメジャーサードと同じ音になります。半音上げて#11thにすると、おっ！なんかいけそうな気がしますね！！この音はハモる8個のかたまりから飛び出ているので、ちょっと特徴的な音がします。

### C Major 7 (#11)



見つけ方に迷った時は、オクターブ上の5度の半音下が#11、さらにその半音下が11thとなることを思い出してみましょう！

また、9thの時にも述べましたが、11thをどのコードに入れても同じような響きがプラスされます。塩なら塩、唐辛子なら唐辛子の味がするってことですね！

## 13th 探すコツ

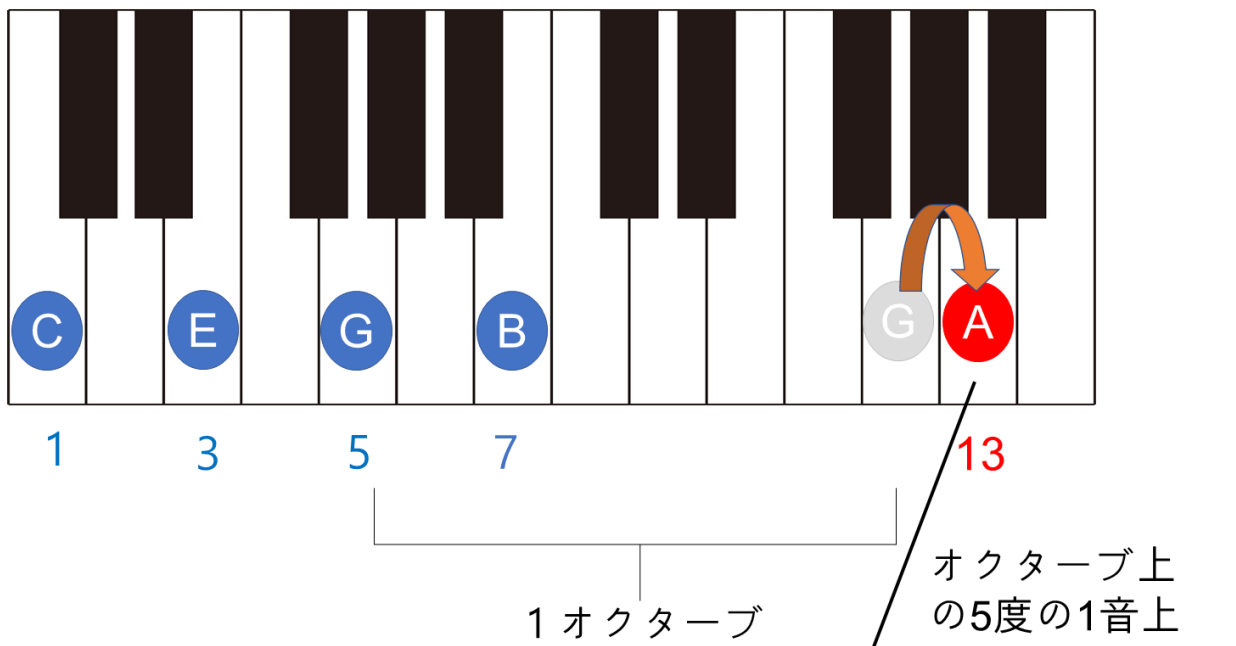


オクターブ上の5度の1音上の音

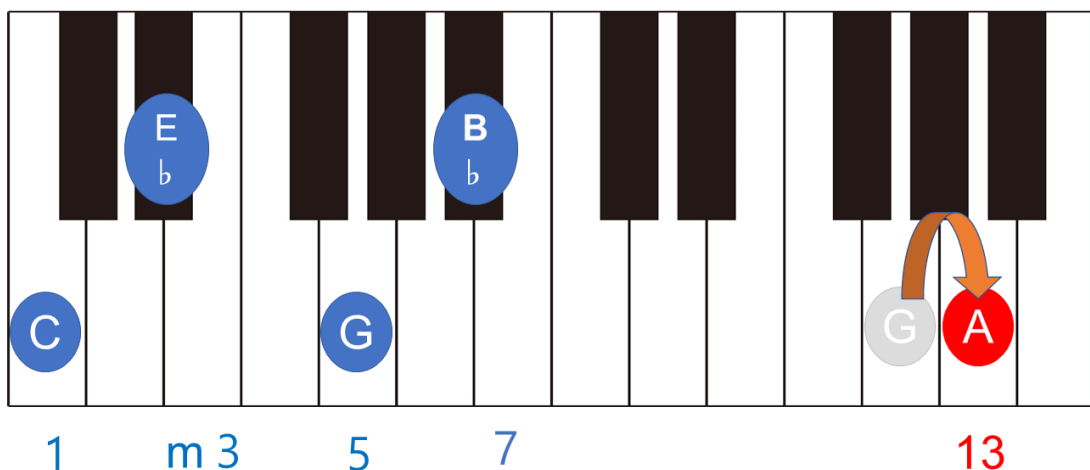
11th、#11thも使ってみたらすっごく楽しい！さらに新しい音も使ってみたい！まだ8個のハモるかたまりで使っていない音が一つありますね。お気づきかもしれませんが、13thです。

13thは基本和音と短9度でぶつかっていないので、メジャーでもマイナーでも使うことができます。

### C Major 7 ( 13 )



### C Minor 7 ( 13 )





1.

3つのテンションには、9th、11th、13thがある。

2.

11thは調味料に例えると唐辛子。見つけ方は、オクターブ上の5度の1音下の音。ただし、11thはマイナーコードにしか使えない。

3.

11thをメジャーコードに使う時は、半音上げて#11thにする。そうするとハモるようになる。ただ、ハモる8個のかたまりから飛び出すので、少し特徴的な音がする。見つけ方は、オクターブ上の5度の半音下。

4.

13thは調味料に例えると砂糖。見つけ方は、オクターブ上の5度の1音上。13thは基本和音と短9度でぶつかっていないので、メジャーでもマイナーでも使うことができる。

5.

3つのテンションを自分の曲に取り入れたり、好きな曲を弾いてみたりして、サウンドを確かめてみましょう！以下のリンク先に「A列車で行こう」などの演奏動画もあるので、ぜひ参考にしてみてくださいね！

Part02 link

<https://mubo.taka808.com/articles/Y32TBBcAACwA4x9D/>



# Column-01

Mubo とは ?



## Muboとは？

芸術を身近にするためのクリエイティブな音楽の実験の場。  
NY在住のピアニスト、泉川貴広(Takahiro Izumikawa)の月額制サービス。自分だけの音楽スタイルを作る”アイデア”を提供する。

### ★ Mubo がおすすめな理由 ★

#### ● 特徴 1：レッスン動画 (練習合宿部)

アメリカ音楽の第一線で実際に使われているアイデアを全てシェア。泉川が実際に世界の舞台で使っている内容。ここにしかない情報がたくさん。基礎や理論をしっかりと学びつつ『自分のスタイルをどう作るか』というところまでサポート。

#### ● 特徴 2：ブログ (スポットライトの裏側)

最新の音楽業界の動きや流れ、活動の試行錯誤などの裏側をリアルタイムで共有。あなたの音楽活動へのアイデアやモチベーションが手に入る。


#### ● 特徴 3：仲間がいる。

泉川を含めメンバー全員が何かを目指している。  
高い目標も仲間と一緒に頑張れるかも。

#### ● 特徴 4：レコーディングスタジオ

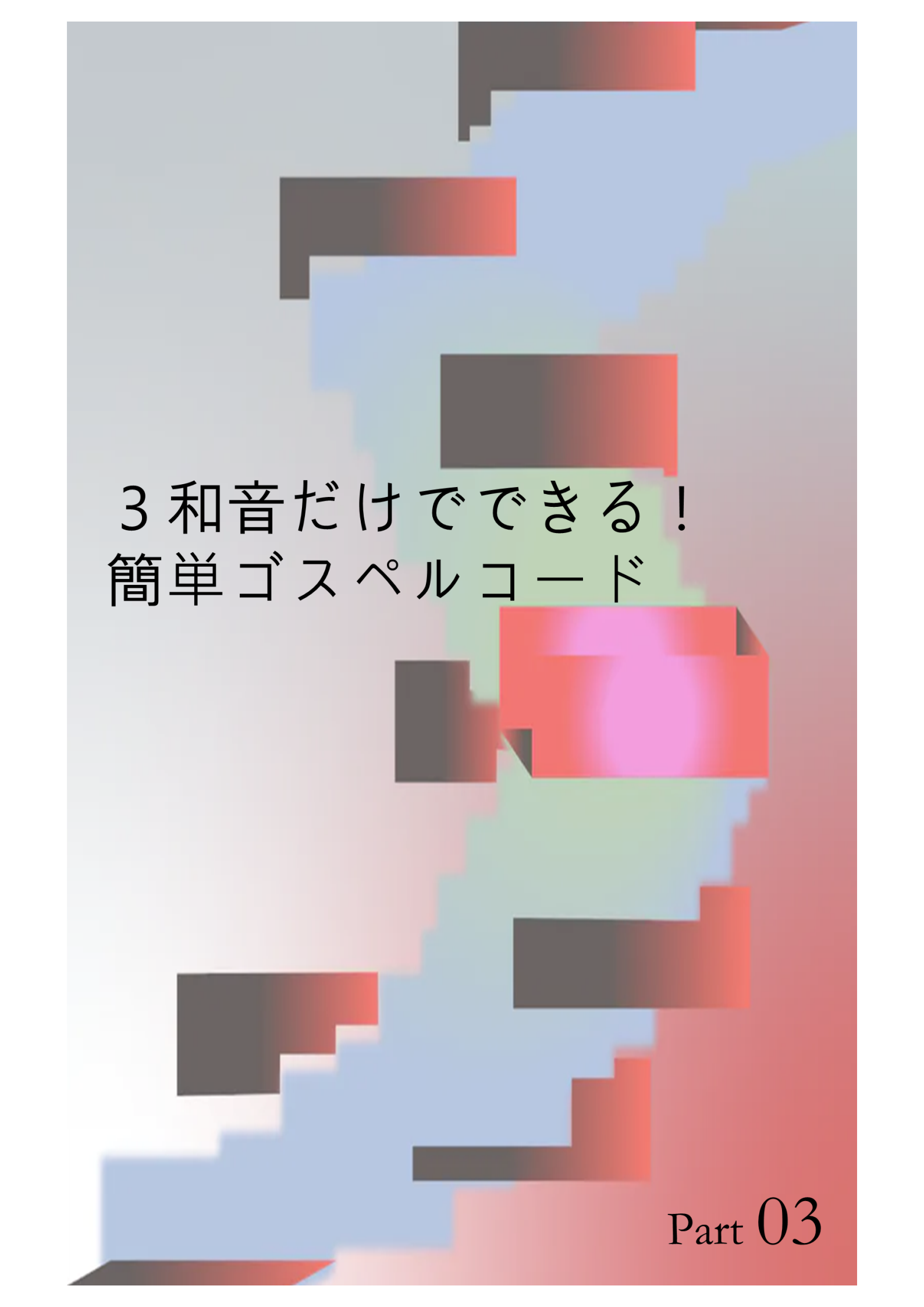
自社レーベルaccess art studioでの制作様様を動画で全てシェア。さらにスタジオで制作したオリジナルを世界各地のツアーで演奏するライブ映像も。

音楽を作るプロセス、ミュージシャンとのコミュニケーションの取り方、録音方法、曲作り/アレンジの大事なポイントなど、実際の現場を覗きながら学ぶことができる。

 作品作りの裏側やリアルな録音現場を気軽に体験し、トータルなサービスでより芸術を身近にするMubo。世界中の人が集まり交流し、芸術の体験とアイデアを共有する場所作りを目指す。

音楽の総合体験 "Mubo"  
<https://mubo.taka808.com>





3 和音だけでできる！  
簡単ゴスペルコード

# part 03 3和音だけでできる！簡単ゴスペルコード



## ゴスペル音楽の4つのポイント

前はテンションの探し方について解説しました。料理の味付けをするように9th、11th、13thを加えてみようという内容でしたね。今回はいったん理論を離れて音楽的なこと。3和音だけで、ゴスペルコードを演奏してみましょう！

ジャズの理論書はたくさんありますが、ゴスペルを解説したものはとても少ないです。僕のMuboのレッスンでももっとも人気のトピックの一つなので是非これを機にゴスペルスタイルを体験してください。



### ゴスペル音楽の4つのポイント

1. ハモる8つのかたまり (Part01)
2. 3和音 (Part01)
3. ディミニッシュコード (Part03)
4. 転調

1 と 2 については以前に解説しましたね。

今回は、その知識を生かして「メロディに 3 和音を足す方法」「ベースを動かしてコードを変化させる方法」を学びます。

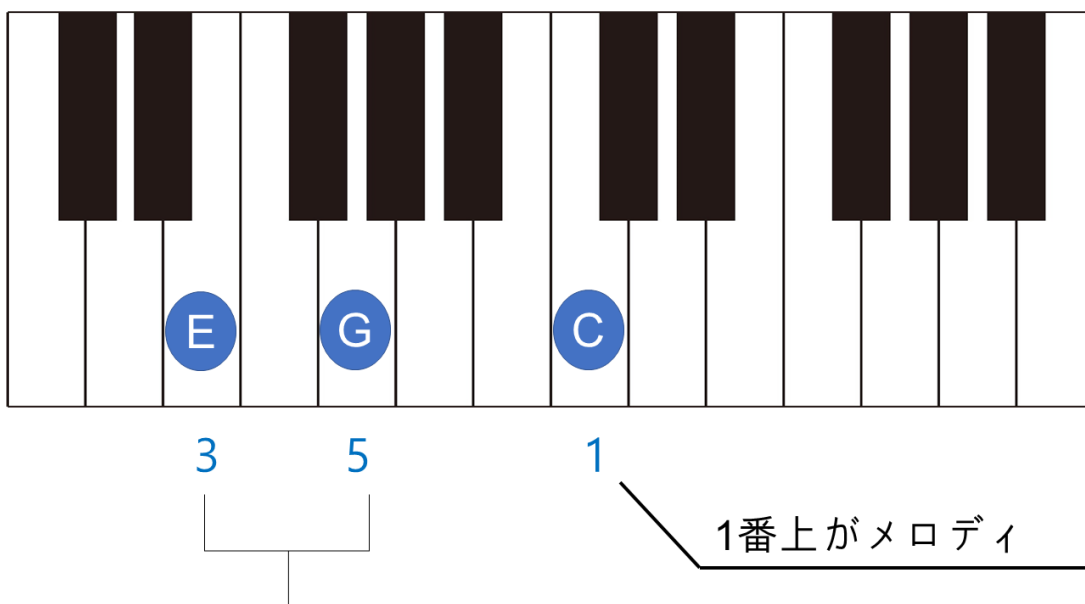
それに加えて新たにディミニッシュコードを知り、「ディミニッシュコードを使って変化させる方法」を身につけます。

ここで一気にゴスペルコードが使えるようになるので、楽しみにしてください！（転調についてはまた別の章で解説します。）

## メロディに3和音を足す方法

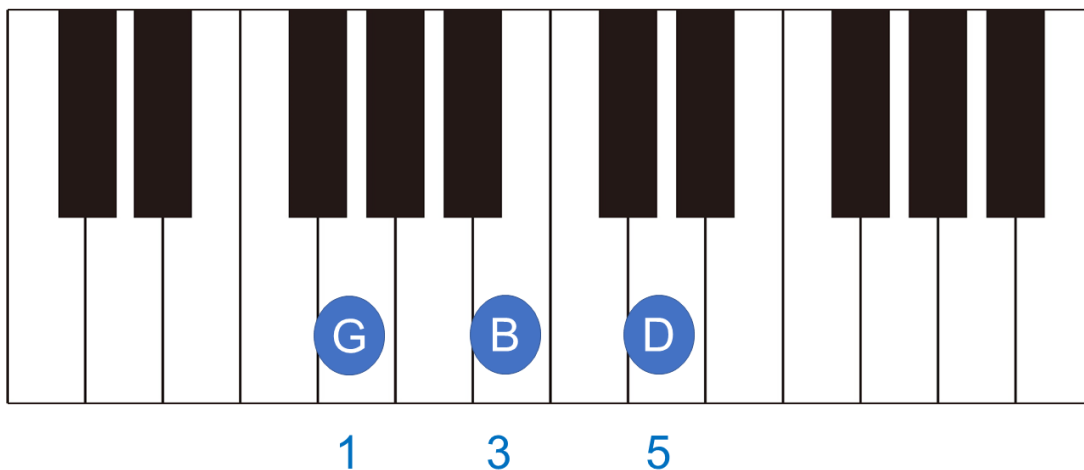
ゴスペルはよくメロディを和音と一緒に演奏します。今回はメロディに3和音を足す方法です。ドレミファソラシドというメロディがあったとして、そのメロディに3和音を足していく例を見てみましょう。

### “ド”のメロディに3和音（1度のコード）を足す

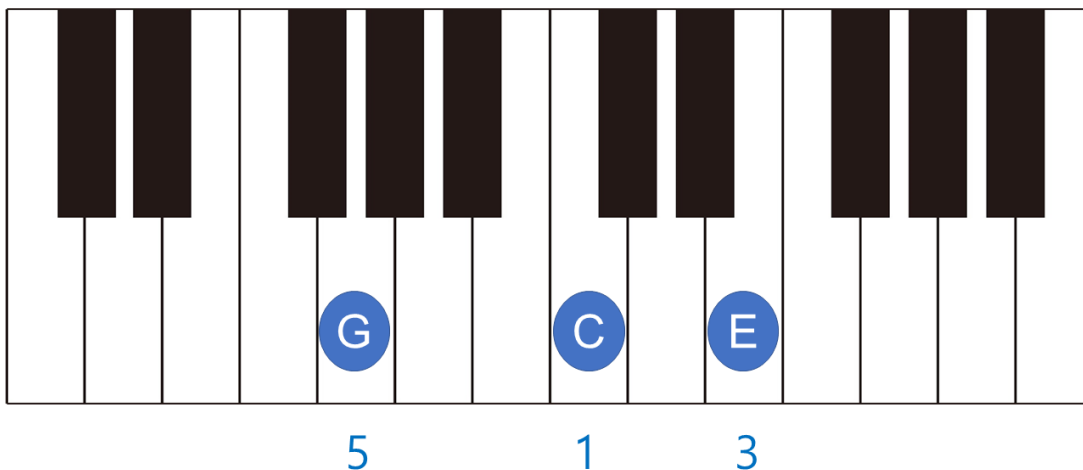


ド（C）が入っているのは1度のコード。  
その構成音の3和音を足す。

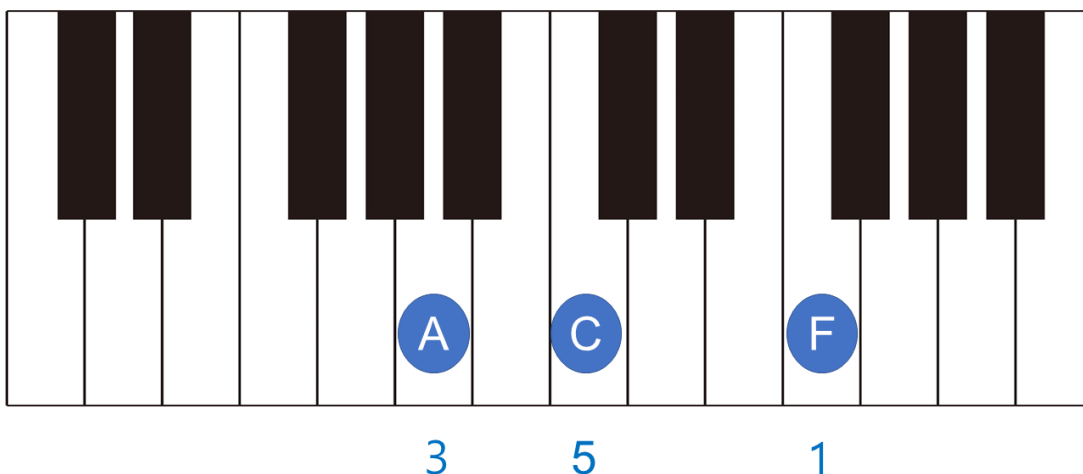
### “レ”のメロディに3和音（5度のコード）を足す



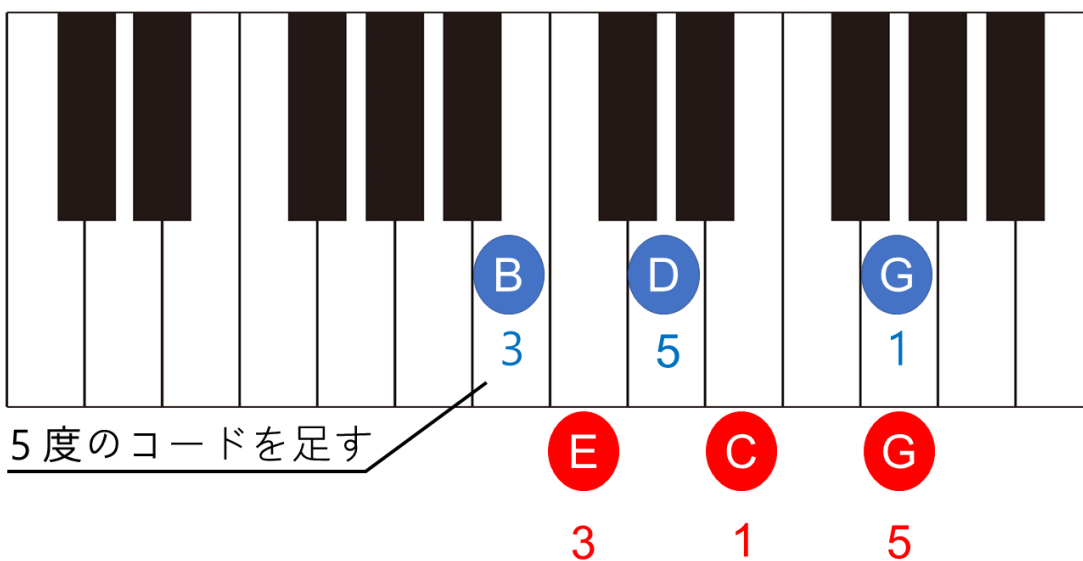
“ミ”のメロディに3和音（1度のコード）を足す



“ファ”のメロディに3和音（4度のコード）を足す



“ソ”のメロディに3和音（1度か5度のコード）を足す

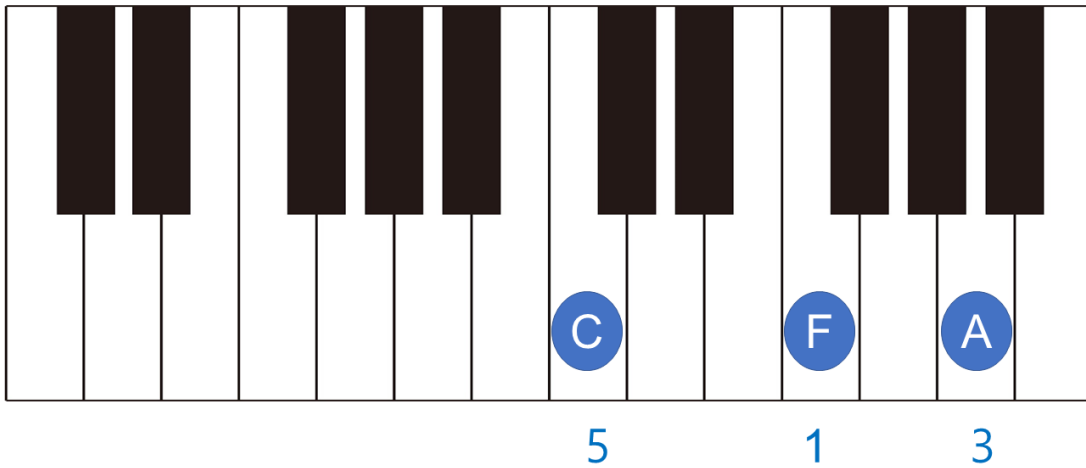


5度のコードを足す

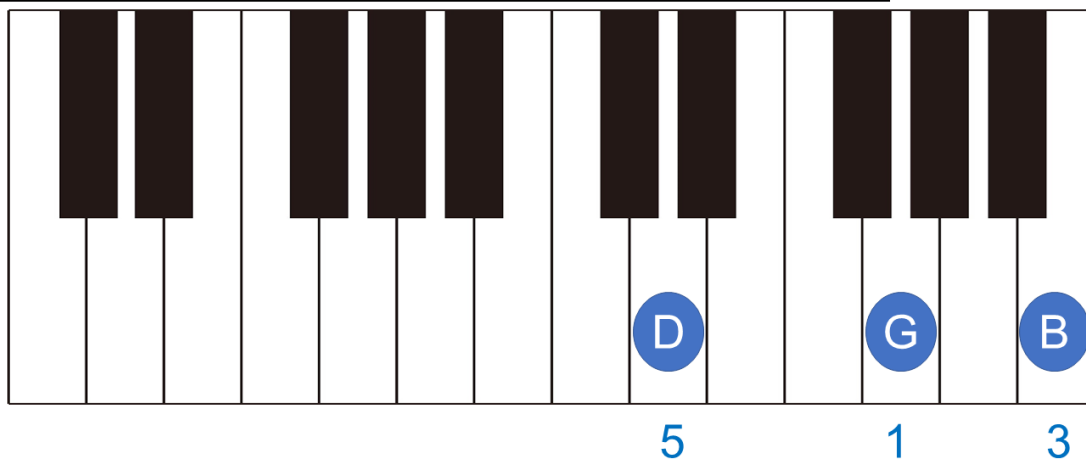
1度のコードを足す

該当するコードが複数ある時は、  
どれを選んでもOK。

“ラ”のメロディに3和音(4度のコード)を足す



“シ”のメロディに3和音(5度のコード)を足す



メロディに足すコードを考える時のポイント

メロディに対して足す3和音はどれでも問題ありませんが、最初は1度、4度、5度を使ってみましょう。その理由は、その3つだけでドレミファソラシド全てをカバーしてくれるからです。

これを使って好きな曲を弾いてみましょう！だいぶゴスペルっぽくなるはずです。

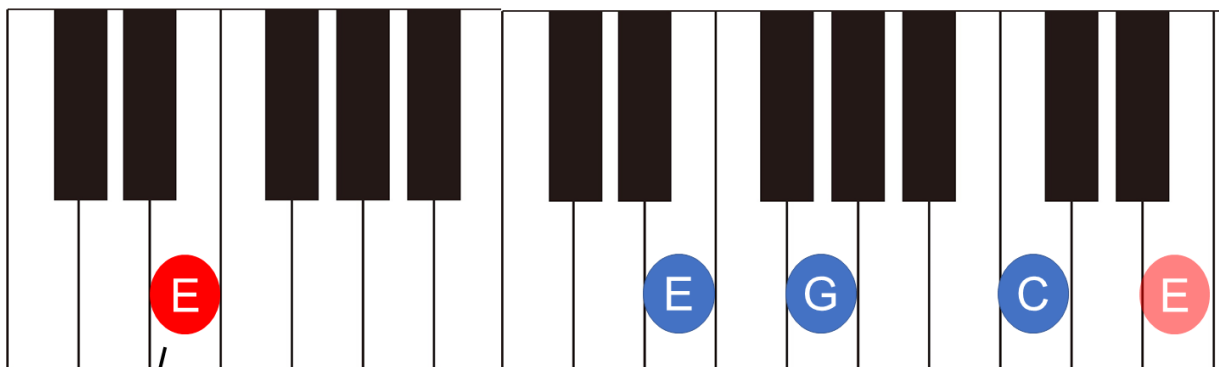
ちなみに、これは他のキーでも考え方は一緒。実際にどんな風に演奏しているかは、冒頭で紹介したリンク先の動画で見てくださいね！

## ベースを動かしてコードを変化させる

これまでの内容でメロディに3和音を足す方法を紹介しました。では、そこにさらにベース音を足してコード進行を変える方法を解説します！さらにゴスペルっぽくなります！

“ドレミ”というメロディに3和音を足して、さらにベース音を足します。ベース音はハモる8つのかたまりから選べばなんでもOK。まずはメロディの3度上の音をベース音にしてみましよう！

“ド”のメロディに3和音とベース音を足す



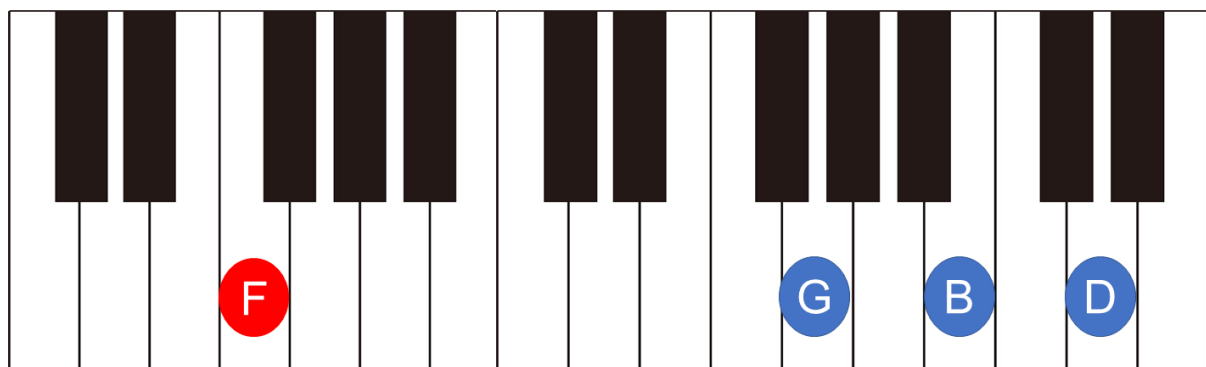
ド (C) が入っているのは  
1度のコード。  
その構成音の3和音を足す。

メロディの3度上

メロディ“C”に対して3度上の“E”をベース音にする！

残りのメロディである“レ”と“ミ”も同じ考え方で作ります！

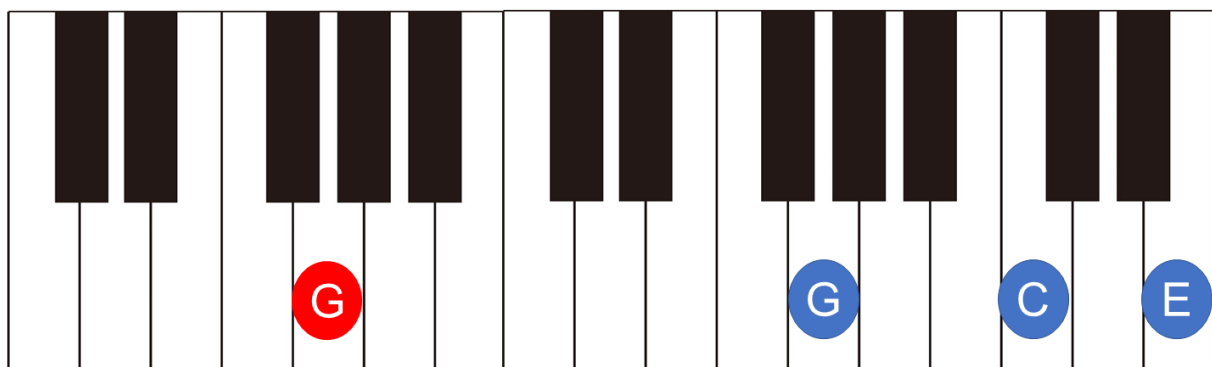
## “D”のメロディに3和音とベース音を足す



メロディ“D”の  
3度上をベースにする

3 5 1

## “E”のメロディに3和音とベース音を足す



メロディ“E”の  
3度上をベースにする

5 1 3



ベースを動かしてコード進行を変える時のポイント

メロディ+3和音に加えるベース音はどれでも問題ありませんが、最初はメロディの3度上の音をベースにしてみましょう！

それができたら、オリジナルのメロディに色々なベース音を足してゴスペルっぽくしてみましょう。かなり楽しくなるはずです！

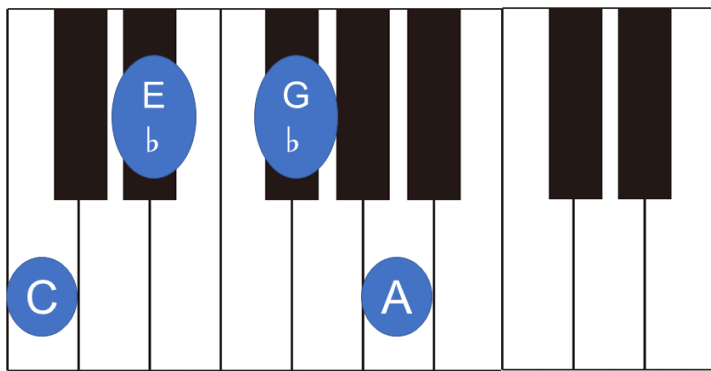
# ディミニッシュコードを使って変化させる

これまでの内容でだいぶゴスペルっぽい響きを出せるようになったと思います。でも、まだ物足りない、そんな人もいるのではないのでしょうか。そこで登場するのが「ディミニッシュコード」です！

## ディミニッシュ(dim)

半音3つ分の距離で音を重ねたコード

### C dim7 コード



1      m3      dim      dim  
5      7

半音3つ分      半音3つ分      半音3つ分



**全部同じ距離！**

半音3つ分！



「半音3つ分の距離で

音を重ねたコード」

ということだけ

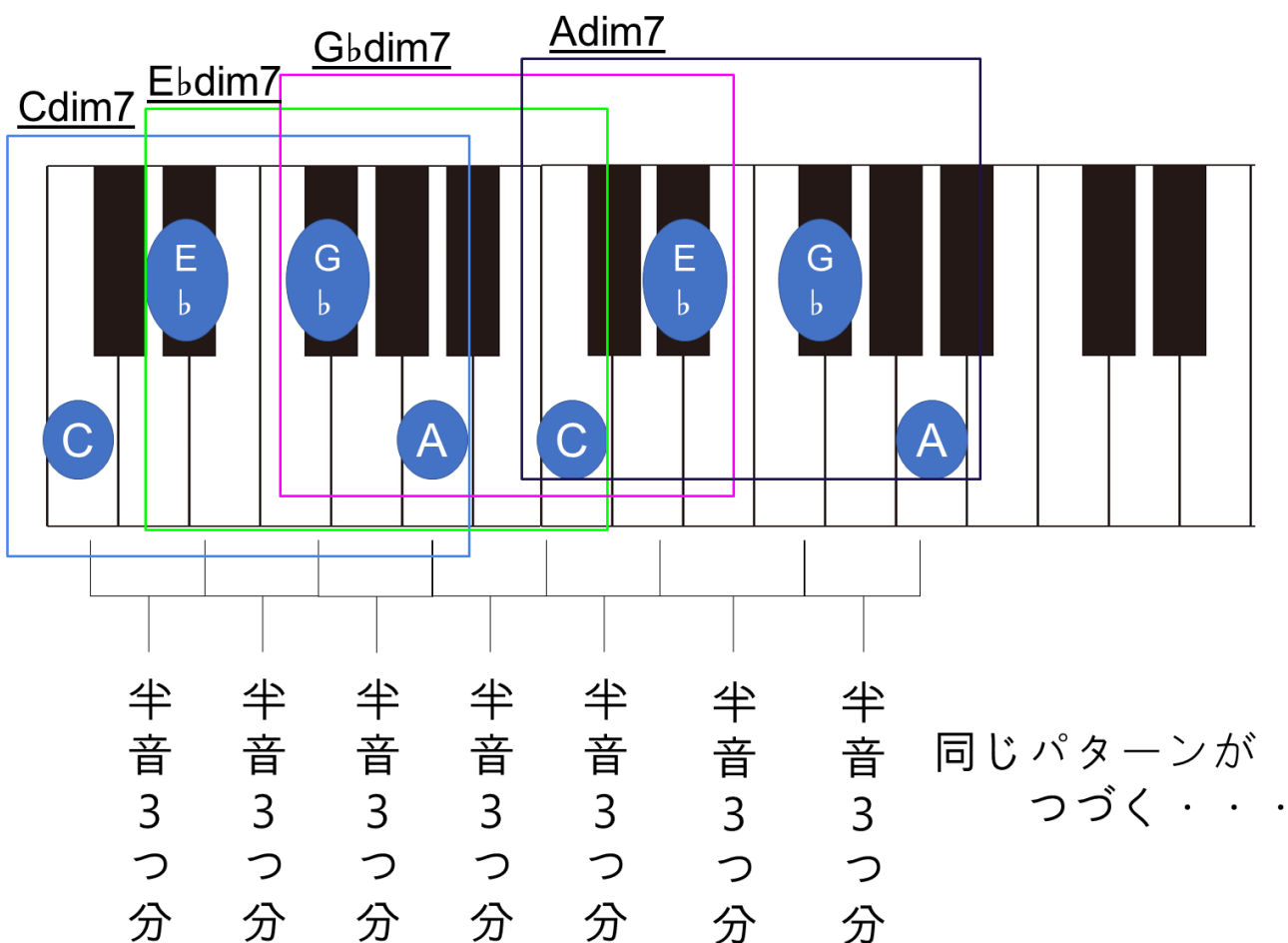
覚えておいてください！

ディミニッシュコードで重要なのは、半音3つ分の距離（全部同じ距離）で音を重ねたコードということです。そうすると、こんな面白いことがわかります。

4つ構成音のどこから始めても同じパターンの構成音が続いていくのです。

そうすると、1パターンの構成音で、4つのディミニッシュコードができることがわかります。

C dim7 コードに、さらに同じ距離で音を積む



C, Eb, Gb, Aディミニッシュコードの構成音は同じ！

料理に例えると、アジはひっくりかえしてもアジ.....かな 笑

C, Eb, Gb, Aディミニッシュコードの構成音は同じということがわかりましたね。これは、他のディミニッシュコードについても同じことが言えます。

12個のコードを覚えなくても良いのです。3パターンだけ覚えれば、理論的には全てのディミニッシュコードが弾けることになります！（4つのコードx3種類）アジとイワシとマグロをコロコロひっくり返す感じでしょうか。（くどいです。笑）

では、以下に特徴をまとめます。



### ディミニッシュコードの特徴

1. 構成音が同じ距離で離れているので、どの音からコードを作っても、同じパターンができる。
2. C, Eb, Gb, Aディミニッシュの構成音は同じ。
3. Db, E, G, Bbディミニッシュの構成音は同じ。
4. D, F, Ab, Bディミニッシュの構成音は同じ。
5. なので、覚えるディミニッシュコードは3パターンだけ。

ディミニッシュコードについて解説したところで、実際にどのように使ってゴスペルっぽくしていくかを以降で説明していきます！



## メロディ+3和音のスキマをディミニッシュで埋める

さっそくやってみましょう。

メロディに3和音を足す方法を説明した時に、“ドレミファソラシド”の例でやりましたが、今回もそれでやりましょう。

その時は白鍵だけでしたが、今回は黒鍵も登場します。

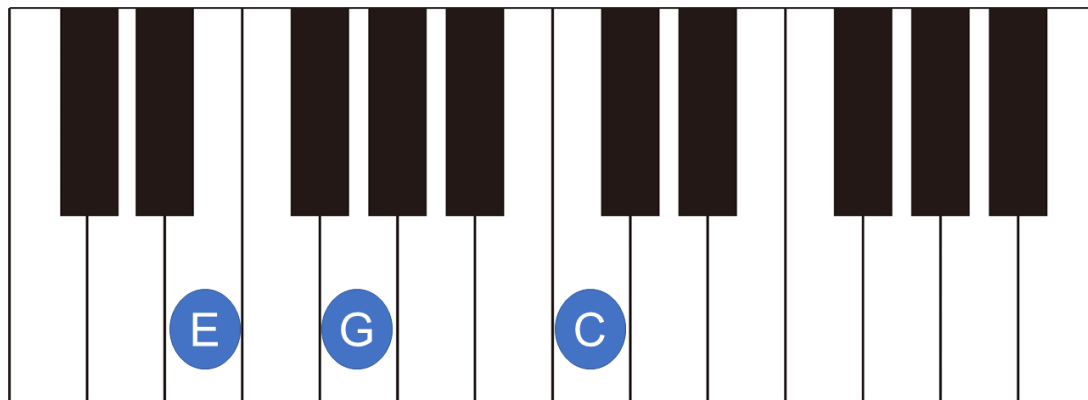
つまり、メロディ+3和音でできた音のスキマをディミニッシュコードで埋めていくのです...！

メロディを弾く時は、メロディがハモる8つのかたまりに入っている時は3和音を、入っていない時はディミニッシュを使うということですね。

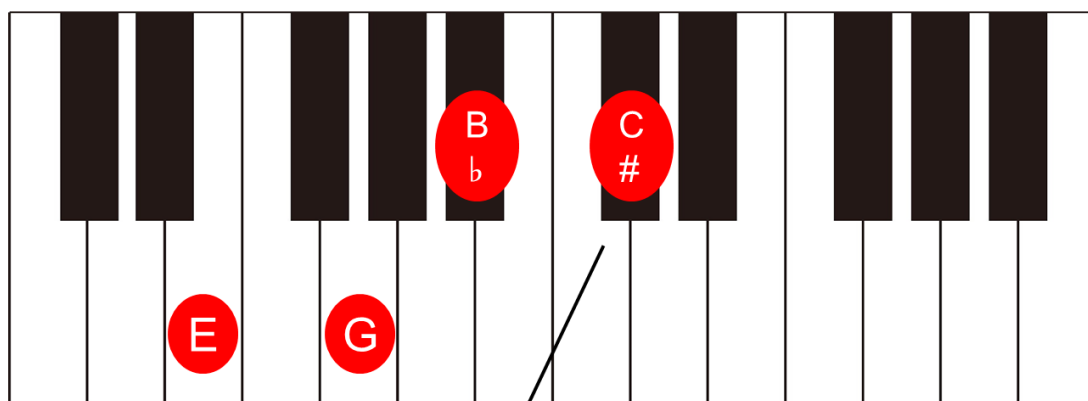
伴奏をする時は、コードの間を繋ぐようにディミニッシュを弾いて新しい響きを足すことができます。

“ドレミ”の例だけを記載しますので、あとは考えながらやってみましょう！（わからない方は冒頭リンク先の動画をチェックしてみてくださいね！）

“ド”のメロディに3和音を足したもの



“ド”と“レ”の間に入れたディミニッシュコード

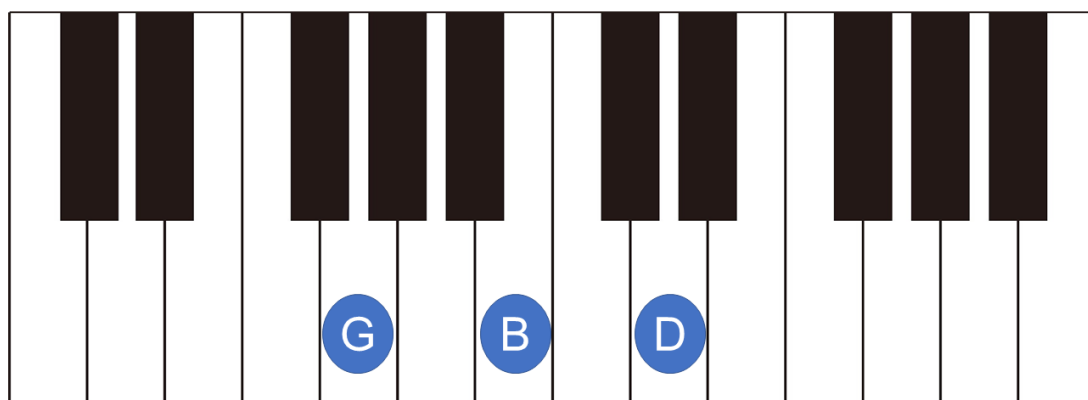


E ( G、B $\flat$ 、C $\sharp$  )

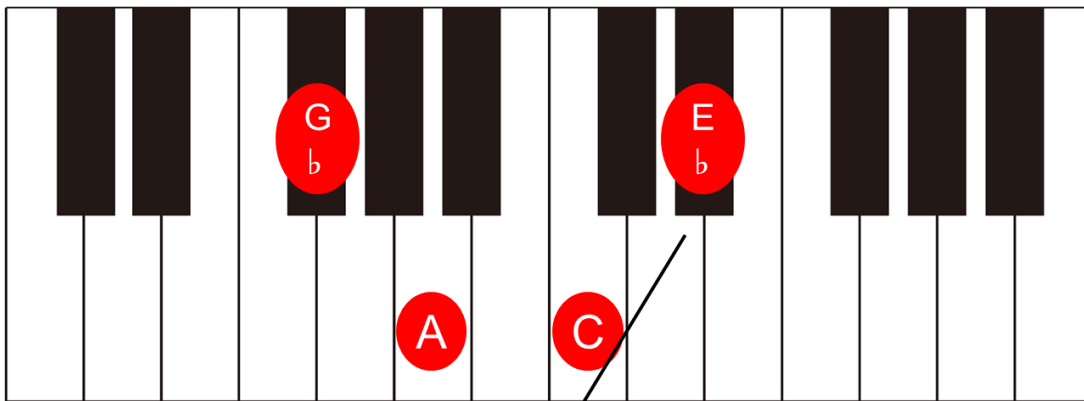
ディミニッシュコード

トップノートがCとDの間になるように。  
2つの音をつなぐ経過音のイメージ。

“レ”のメロディに3和音を足したもの



## “レ”と“ミ”の間に入れたディミニッシュコード

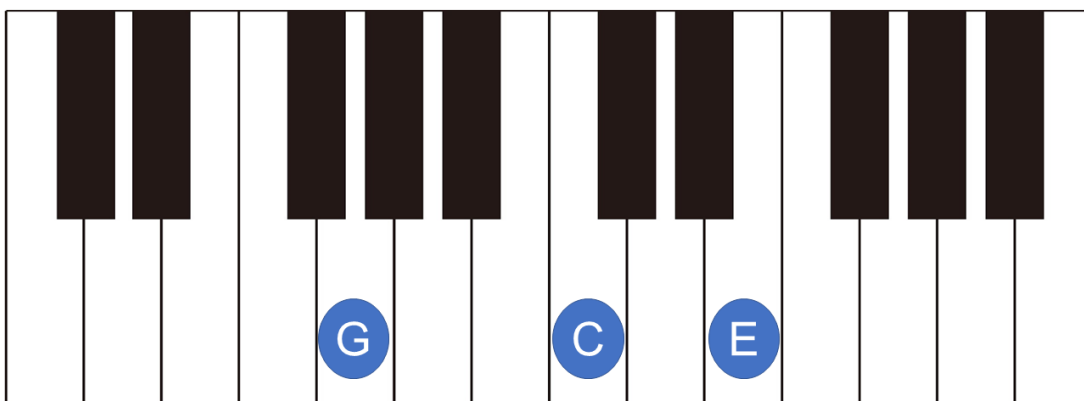


G $\flat$ , ( B $\flat$  ( A ) C, E $\flat$  )

ディミニッシュコード

トップノートがDとEの間になるように。  
2つの音をつなぐ経過音のイメージ。

## “ミ”のメロディに3和音を足したもの



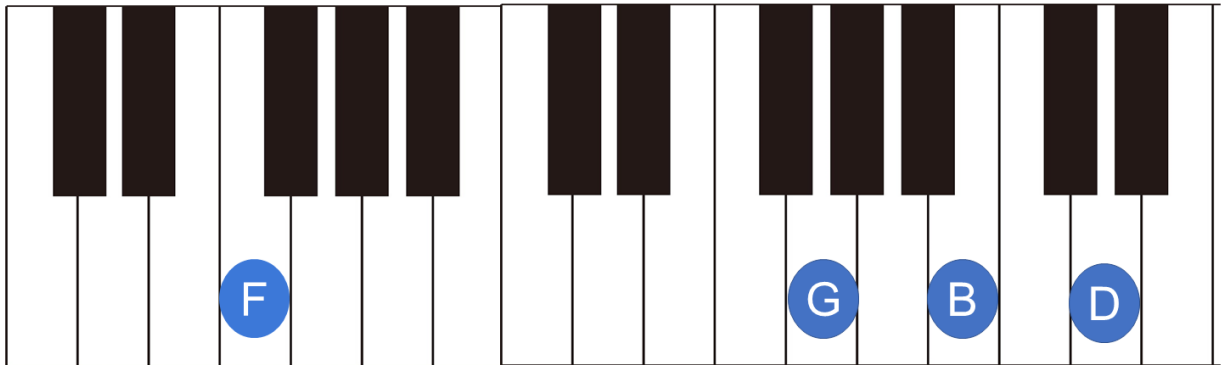
メロディ+3和音のスキマをディミニッシュで埋めると？

上の例では、メロディのラインはC→C $\sharp$ →D→E $\flat$ →Eとなります。シンプルに“ドレミ”と弾くよりも厚みも増してだいぶゴスペルっぽくなったと思います！

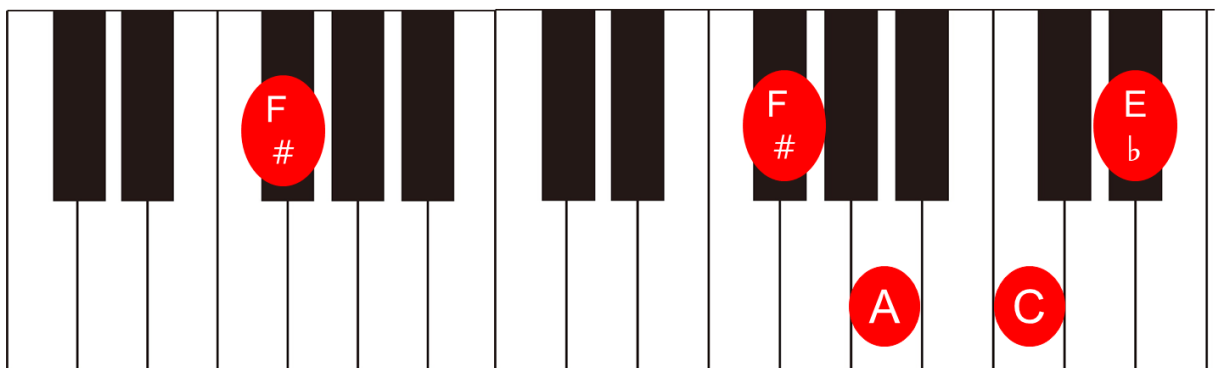
すごいのは、この考え方はコード（ベース音を入れたパターン）にも適用できるところです。次のページで解説します！

コード（ベース音あり）の間隙もディミニッシュで埋める

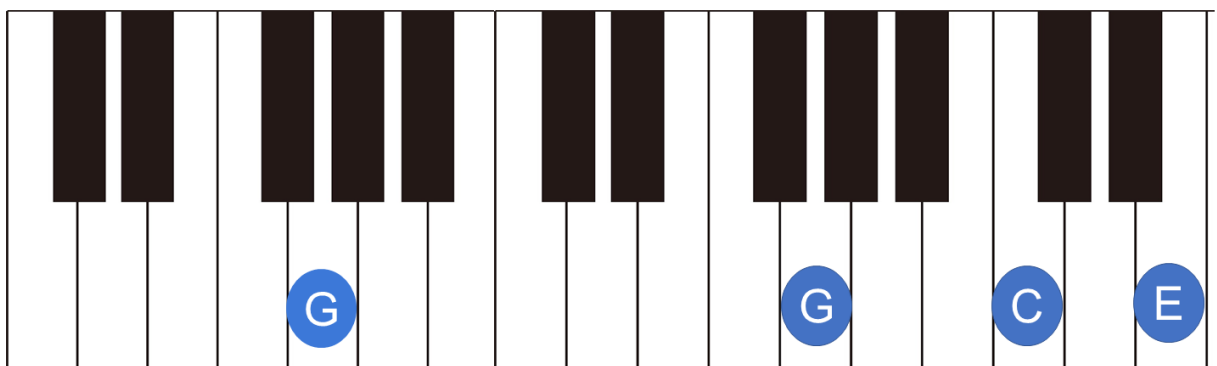
“D”のメロディに3和音とベース音を足す（コード）



“D”と“E”をメロディとしたコードをディミニッシュで埋める



“E”のメロディに3和音とベース音を足す(コード)



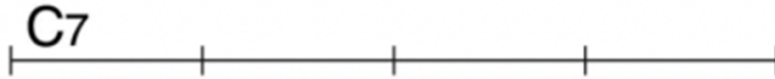
音の厚みが増してめちゃくちゃかっこよくなりますね！  
いろいろと試して自分のモノにしてくださいね！

次は、実際にどんな場面で、これらのアイデアを活かせるか説明しますね！



## ゴスペルコードのコンセプトの活用方法

みなさんは以下のような譜面をみたことがありますか？



セッションなどで「一発もの」などと呼ばれるようなものです。

これを、Part01やPart02で解説したようなセブンスとテンションだけでメロディを作ったり、アドリブしたりするのはなかなか大変。

そこで、今回のゴスペルコードのコンセプトが役立ちます。

譜面上では“C7”とだけ表記されていても、自分の中ではCやCdim、FやGだと感じながら演奏することができるのです。ものすごく自由度が広がります。（ベーシストはルート（C）をキープ、他のハーモニー楽器は休む必要があります。）

冒頭のリンク先の動画では、演奏例がありますのでぜひぜひチェックしてみてください！



## 3和音だけでできる！簡単ゴスペルコード まとめ

1.

ゴスペル音楽のポイントは4つ。ハモる8つのかたまり、3和音、ディミニッシュコード、転調。（転調については別の章で解説します。）

2.

3和音を発展することで「メロディに3和音を足す方法」「ベースを動かしてコードを変化させる方法」が使える。これにより、ゴスペルっぽさを演出することができる。

3.

ディミニッシュコードは、半音3つ分の距離で音を重ねたコードのこと。どの構成音から音を重ねても同じディミニッシュコードになる。よって、全部で3パターンしかない。

4.

ディミニッシュコードを使うことによって、「ハモる8つのかたまり」で作ったメロディのスキマを埋めることができます。また、それによりさらにゴスペルっぽくなる。

5.

この章で解説したコンセプトは、C7だけのジャムセッションなど、いわゆる一発ものの楽曲の中でより自由に演奏することに非常に役立つ。

Part03 link

<https://mubo.taka808.com/articles/Y4WJTBEAACAAOnbE/>



かっこいいソロやメロディを作ろう！  
(アルペジオ、スケール)

# part 04 カッコいいソロやメロディを作ろう！



## フレーズづくりの6つのポイント

Part02ではテンションをどのように入れるかという内容でした。今回は、テンションを使ってどのようにオリジナルのメロディやソロといったフレーズを作っていくかを説明していきますね！



### フレーズづくりの6つのポイント

1. アルペジオ ( Part04 )
2. スケール ( Part04 )
3. 2-5-1 ( Part04 )
4. ターゲットノート
5. アナライズ ( Part04 )
6. 休符の長さ

フレーズづくりには6つのポイントがあります。

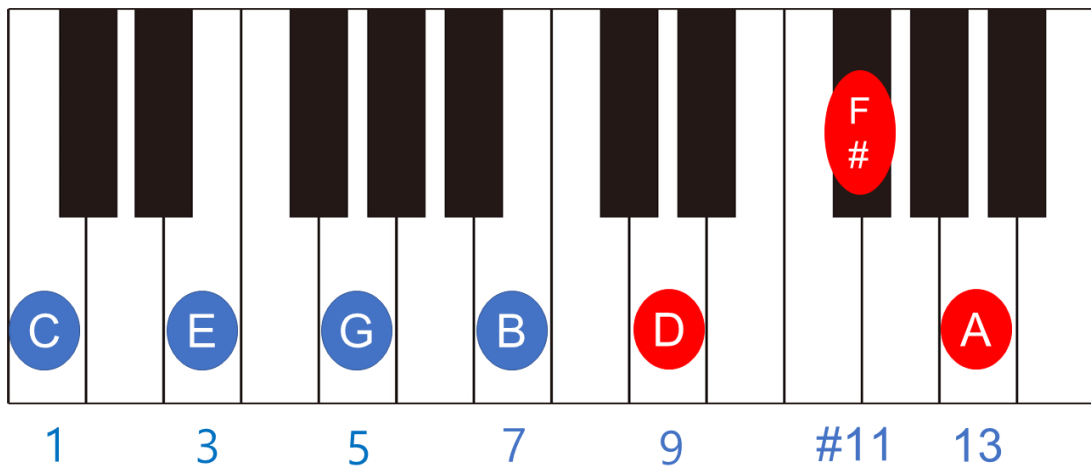
今回は、赤字部分のアルペジオ、スケール、2-5-1、アナライズについて解説をしていきます。

だんだん難しくなってきましたが、なるべく簡単に説明しますね！

# かっこいいコード = かっこいいメロディ

まず、大事な点をお話しします。この本ではソロとコードを分けて考えることはしません。「かっこいいコード = かっこいいメロディ」と考えます。

## C Major 7 (9, #11, 13)



例えば、上のように押さえるシチュエーションの際、「同時に弾いた時は和音」「別々に弾けばメロディ」と考えます。そして、これらは両方とも、「かっこいいフレーズ」なのです。

そうやって分けずにシンプルにすることで、演奏中や作曲中に考えることを減らすことができます。その方が、クオリティが上がっていくと僕は考えています。「フレーズを弾く」というよりは「ハーモニーを弾く」という感覚でしょうか。



かっこいいコード = かっこいいメロディ

C(ド)からメロディを作りたいと考えた時、選択肢は4つあります。上と下どちらに移動していくのか、音を飛ばして移動するのか隣の音に移動していくのか、その組み合わせです。



## メロディづくりの4つの選択肢

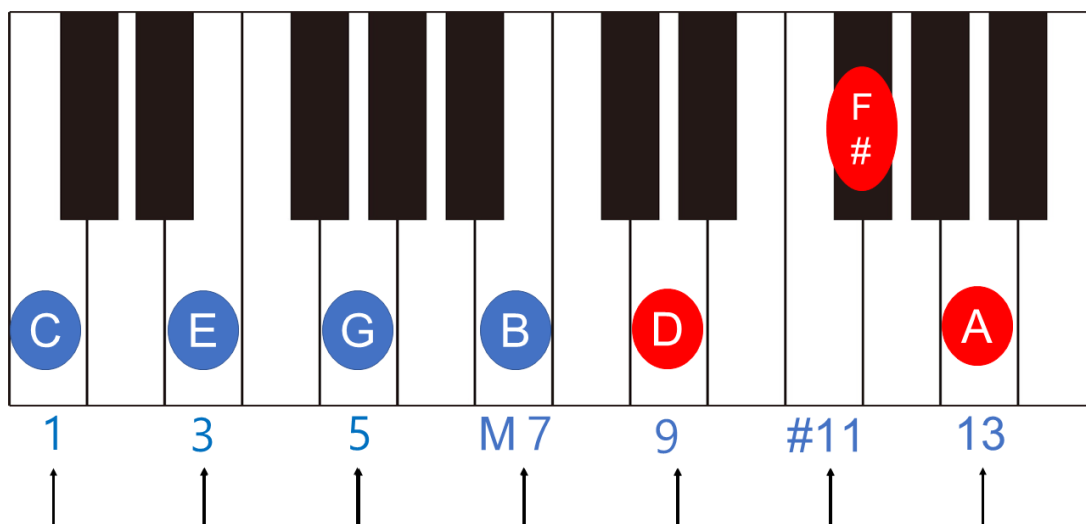
1. 上に移動していく+音を飛ばして移動
2. 上に移動していく+隣へ移動
3. 下に移動していく+音を飛ばして移動
4. 下に移動していく+隣へ移動

上で書いた4つの方法を、今回はアルペジオとスケールを使用して演奏していきます。さっそく説明していきますね。

### アルペジオ

#### 和音を1音ずつ弾く方法

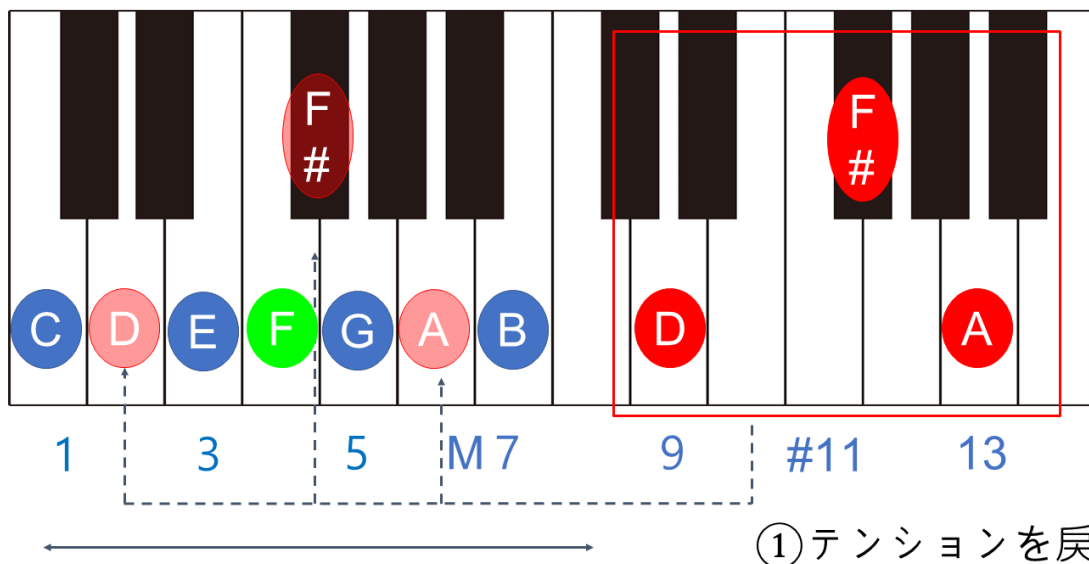
#### C Major 7 ( 9, #11, 13 )



8つのかたまりで作った和音を、1音ずつ弾いて上下に移動する！

テンションを和音のスキマに戻して順番に弾く方法

C Major 7 ( 9,#11,13 )



②順番に弾く

①テンションを戻す！

1個飛ばしで重ねたテンションを、和音のスキマに戻す！

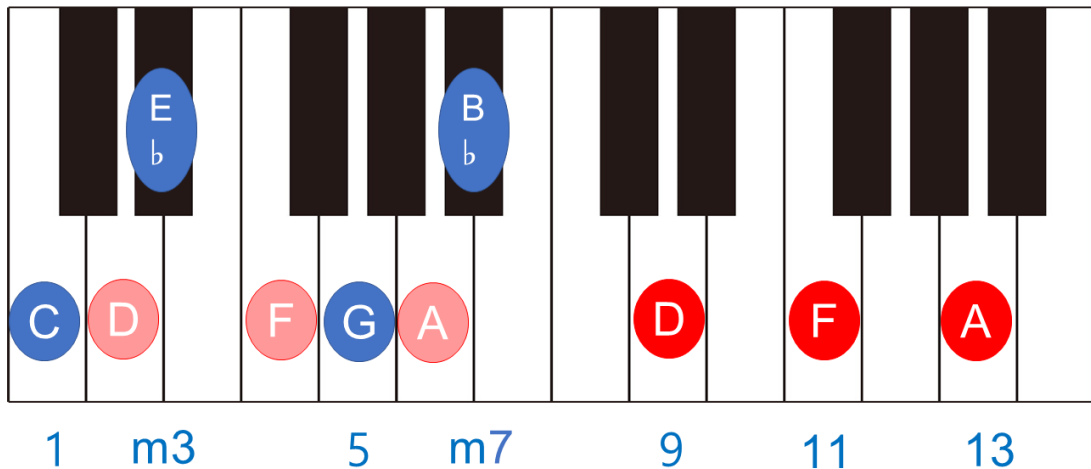
そしてそれを順番に弾く！

そうすると、素材（基本和音）と調味料（素材）の音が交互に出てくるのがわかりますね。そして、それを上下どちらの方向にでも良いので順番に弾いてあげるとスケールのできあがり！これをリディアンスケールと呼ぶことがあるのですが、覚えなくても大丈夫です。独学で勉強をしてたくさんのスケールがあって嫌気がさした人も多いと思いますが、スケールは実は覚えなくてもよいのです。和音＝スケールと考えれば考えることは一つだけでよいですね。

ちなみに、緑色のFの音は不協和音になるので、CM7の時は使えないとPart02で説明しましたが、メロディの時に鳴るのは少しの時間なので、使ってもOKです。

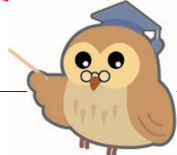
次はC Minor 7の場合を考えてみましょう。

### C Minor 7 ( 9,11,13 )



基本的な考え方は同じ。使えるテンションを素材（和音）の中に戻してあげる。そうすると使える音が見えてきます。これもドリアンスケールという名前がついていますが覚えなくても大丈夫。簡単ですね！

メロディを作るときに大切なのは、今自分が弾いている音がルートなのか、3度なのか、9thなのか...ということ。自分が今お肉をいれたのか塩を入れたのかを知らないと美味しい料理はできませんよね。音の機能を意識して素敵なメロディを作ってください。



### 「アルペジオ」と「スケール」のまとめ

アルペジオ（和音を1音ずつ弾く方法）とスケール（テンションを和音のスキマに戻して順番に弾く方法）を使うと、フレーズづくりに4つの選択肢ができる。

(アルペジオ or スケール) × (上への移動 or 下への移動) = 4通り

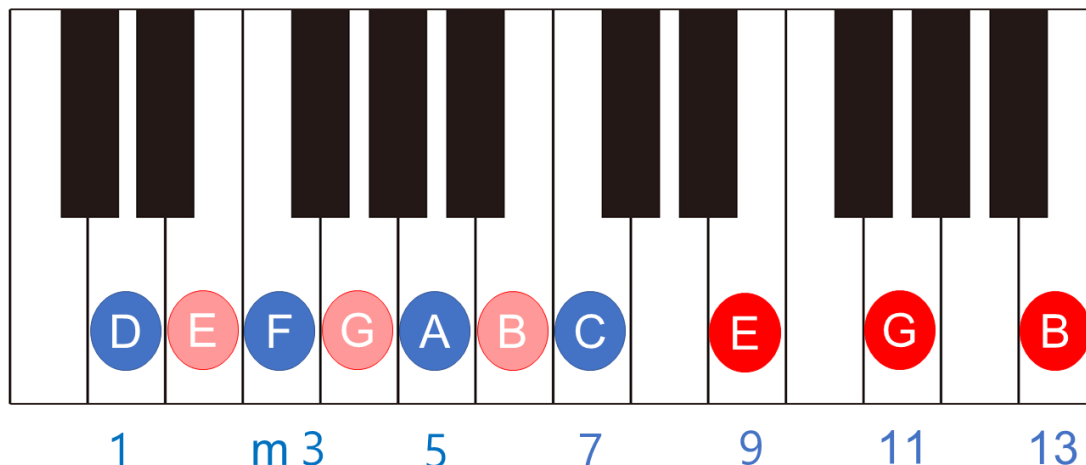
## 2-5-1 ( ツーフアイブワン )

2-5-1 ( ツーフアイブワン ) については、改めて別の章で説明しますが、今回はこのコード進行に合わせて、アルペジオとスケールを使ってメロディを作ります。

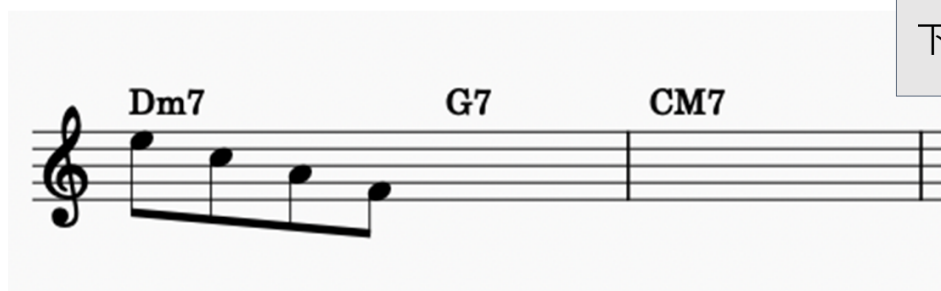
キーがC Majorの場合のツーフアイブワンは、  
Dm7→G7→CM7 となります。下の譜面のような感じですね。それではさっそくいきましょう！



### D Minor 7 ( 9,11,13 )



アルペジオで1個飛ばしで下に移動

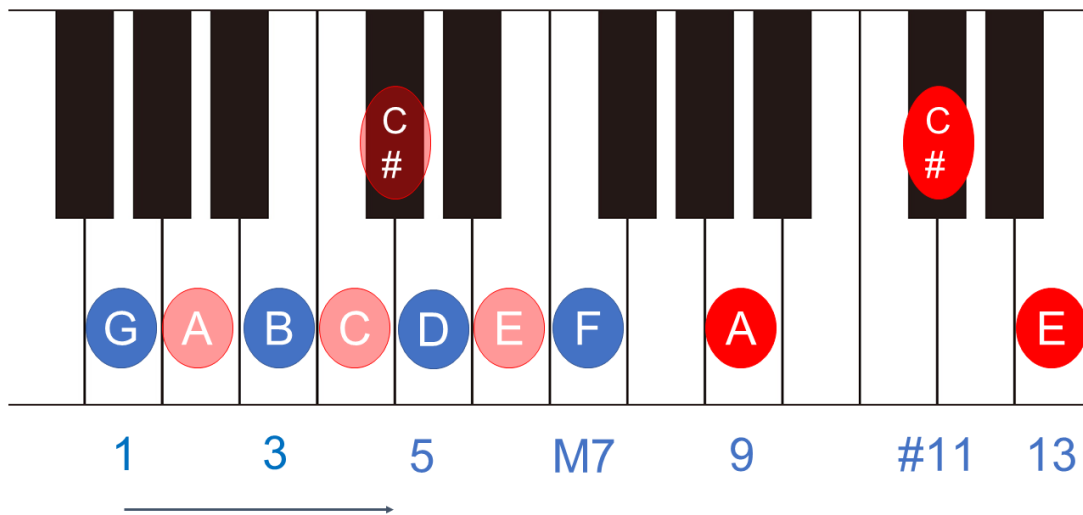


9th

9thから始めて  
アルペジオで  
下に降りてみよう！



# G7 (9,#11,13)

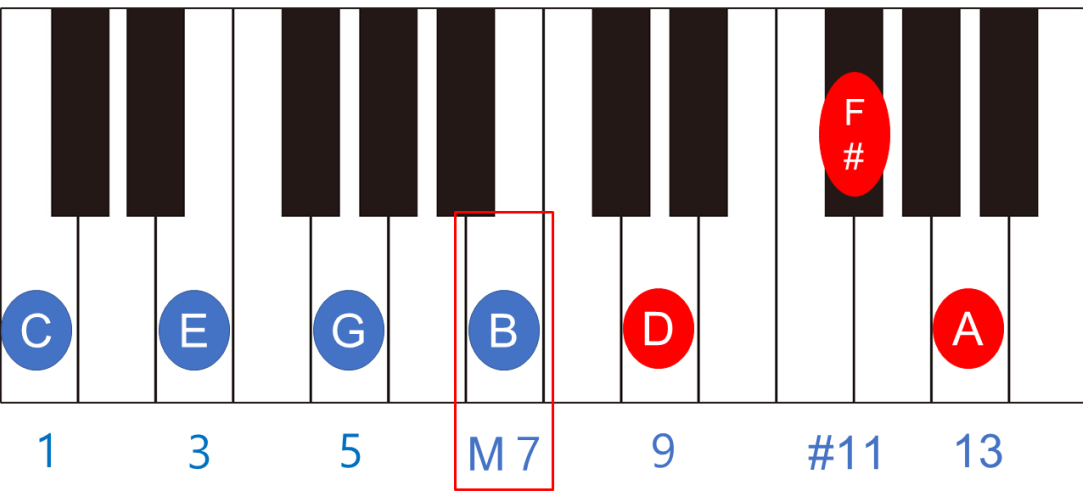


スケールで  
上がってみよう！

9th                      ルート



# C Major 7 (9,#11,13)



着地

Major 7thに  
着地してみよう！

9th                      ルート                      Major 7th



それでは、いまやったことをおさらいしてみましょう！

2 ( ツー ) → 5 ( ファイブ ) → 1 ( ワン )

Dm7 G7 CM7

アルペジオで下降      スケールで上昇      Major 7thに着地

こうやってやり方が整理されていると、難しそうなツーファイブワンもできそうな気がしてきませんか！？

このコンセプトはキーが変わっても同じです。Key:F Majorでの例も下に書いておくのでチェックしてみてくださいね！

Gm7 C7 FM7

アルペジオで下降      スケールで上昇      Major 7thに着地

## アナライズ ( 分析 )

アナライズとは、好きなメロディやスケールがどのように成り立っているのかを分析していくことです。

ベースやコードがどんな演奏をしていて、その上でフレーズがどんな動きをしているのか。音の素材や調味料は何を使っているのか、アルペジオで降りているのか、スケールで上昇しているのか etc。

そうすることで、フレーズそのものを覚えるだけでなく、方法論を学ぶことができるので、いろんなところに応用できます。(例えばキーを変えても演奏できるように。)

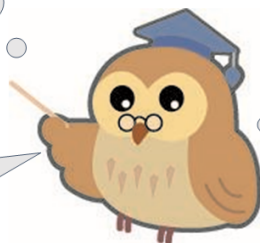
最初は難しいかもしれませんが、必ず役に立ちます。そして、アナライズをする上で、今回学んだことが非常に生きてきますので、ぜひチャレンジしていきましょう！

m3度から始まって  
9thまでアルペジオ  
で上がってる？

そのあと5thから  
13thまでまた  
アルペジオで下降？

IM7の時、不思議な  
音がするからこれは  
#11thかもしれない。

今分析したフレーズを  
自分のメロディに  
活かしてみよう！





## かっこいいソロやメロディを作ろう！ まとめ

1.

フレーズづくりのポイントは6つ。アルペジオ、スケール、2-5-1、ターゲットノート、アナライズ、休符の長さ。今回は下線部分について解説した。

2.

アルペジオとは「和音を1音ずつ弾く方法」のこと。  
スケールとは「テンションを和音のスキマに戻して順番に弾く方法」のこと。

3.

メロディづくりには4つの選択肢がある。

(アルペジオ or スケール) × (上への移動 or 下への移動) = 4通り

4.

2-5-1の進行の中で、4つの選択肢を使いながら、自由にメロディやソロを作る練習を楽しんでやってみる。

5.

アナライズとは、好きなメロディやスケールがどのように成り立っているのかを分析すること。分析することで方法論を学ぶことができ応用がきく。分析にはテンション、アルペジオ、スケールの知識が役立つ。

Part04 link

<https://mubo.taka808.com/articles/ZCZIQhAAAB8AxoA5/>



かっこいいソロやメロディを作ろう！  
(ターゲットノート)

# part 05 カッコいいソロやメロディを作ろう！



## フレーズづくりの6つのポイント

今回はアルペジオ、スケール、2-5-1、アナライズという観点で、カッコいいソロやメロディを作ろうという内容でした。今回はターゲットノートに着目してさらにかっこよくしちゃいましょう！



### フレーズづくりの6つのポイント

1. アルペジオ ( Part04 )
2. スケール ( Part04 )
3. 2-5-1 ( Part04 )
4. ターゲットノート ( Part05 )
5. アナライズ ( Part04 )
6. 休符の長さ

黒字が前回説明した部分。今回は、赤字部分のターゲットノート、休符の長さについて解説をしていきます。また難しいような横文字がでてきましたが、なるべく簡単に説明しますね！

## フレーズの始まりと終わりを決める

ターゲットノートとは、「目標とする音」のことです。どこに着地するかをあらかじめ決めておくってことです。アドリブやその場でフレーズ作る時は、1音ずつ考えると全体が見えなくなって大変になってしまうので、あらかじめゴールを決めておくんです。そうするとわかりやすくていいんじゃない？ってアイデアです。

では、前回同様に2-5-1フレーズを作ってみましょう！



ターゲットノートを  
この場所に作る  
(目標とする音)

どこから始めてどこに着地しようか考える、というコンセプト。なので、最初の音を決めて、色々と寄り道をして、目標となる音に着地するということです。



ターゲットノート = 目標とする音

最初の音を前回は9thから始めましたので、今回は雰囲気の違い11th ( Gの音 ) からスタートすることにします。唐辛子的なサウンドですね。じゃあ、終わりの音は何にしましょうか。まずはわかりやすく、同じGの音で終わることにします。

始まりと終わりは同じGの音ですが、終わりのコードはC Major7なので、ナチュラルな5thのサウンドで終わることになります。

The diagram shows a musical staff with three measures. The first measure contains a treble clef and a quarter note G4, with the chord label 'Dm7' above it. A thought bubble above this measure contains the text 'おしゃれな感じでスタート'. The second measure is empty, with the chord label 'G7' above it. A thought bubble above this measure contains the text '色々寄り道してみよう'. The third measure contains a quarter note G4, with the chord label 'CM7' above it. A red box highlights the G4 note in this measure. A thought bubble above this measure contains the text '終わりはナチュラルに'. Below the staff, the text 'ターゲットノート' is written in red.

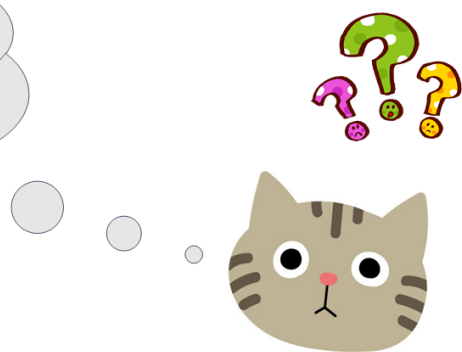
最初の音を11thから始めて、前回学んだアルペジオとスケールで移動していきました。途中まではいい感じ！

でも大変、思っていたよりも早くターゲットノートと同じ音にたどり着いて行きすぎてしまいました。

ターゲットノート

アルペジオ                      スケール                      スキマ

思ったよりも早めに  
ターゲットノートに  
たどり着いて、  
スキマができちゃった...



でも大丈夫！行きすぎてスキマが空いてしまった分は、ターゲットノートに向かって寄り道して音を足せばOKです！

ターゲットノート

アルペジオとスケールで移動

行きすぎてスキマが空いている分、寄り道して埋める。

## コードごとに折り返し地点を決める

「フレーズが長すぎてうまくターゲットノートまで着地できない！」そんな時は、コードごとに折り返し地点を決める、と条件を決めて練習してみましょう！

例えば、先ほどのフレーズを見てみましょう。

ターゲットノート

9th R 7th

僕は今回、緑で囲った音を「折り返し地点」としてイメージしました。こうやってコードごとに折り返しポイントを決めて置くと、ターゲットノートまでたどり着けそうな気がしますね。なんだか登山みたいです。



## いろいろな寄り道の方法

さきほどスキマが空いてしまった時に寄り道をする、とお伝えしましたが、その方法にもいろいろあります。よくあるやり方で、コードトーンやテンションの半音上、半音下から弾くというアイデアがあります。

そうすると、ただコードトーンを演奏するよりも、長く寄り道をして、長くフレーズが作れることになりますね！

Dm7 G7 CM7

9th R 5th 3rd 3rd R 7th 5th 3rd

これはコードトーンの  
半音下から、  
コードトーンに向かう  
アイデアだ！



この例は、半音下からコードトーンにアプローチをする方法でしたが、半音上や1音上、挟み込むなど色々な方法がありますので、ぜひ色々試してみてくださいね！

# 曲づくりでターゲットノートをどう活かす？

さあ、応用編です。好きな曲のフレーズの最初と最後をターゲットノートにしたオリジナル曲を作ってみます。童謡の「さくらさくら」の例を見てみましょう。

1. 短いフレーズ    2. 短いフレーズ    3. 長いフレーズ

赤枠の中の音をターゲットノートとしてその間をアルペジオやスケールで埋めて、フレーズを作ってみましょう。ただ、コード進行もこのままだとパクリ感がでてしまいます。

そこで、緑枠の音もすごくカッコよかったので、コード進行は I - IVm - V にしてみようと思います。

続きは好きなように  
フレーズを作ってみましょう！

1.2.3の  
フレーズの  
始まりの音      3.のフレーズの  
終わりの音      1.2.のフレーズの  
始まりの音

最初に決めた、始まりと終わりの音の間を、スケールで下降し、アルペジオで上がって、ターゲットノートに着地します！！これを繰り返しているだけでもHIPHOPっぽくなってきます。僕がどんな風に弾いてるか、ぜひ動画をチェックしてみてください！



かっこいいソロやメロディを作ろう！

1.

フレーズを作る時は、どこから始めてどこで終わるかを考えることが大切。

2.

フレーズの始まりや終わりの音、目標となる音を「ターゲットノート」と呼ぶ。

3.

ターゲットノートにたどり着くまでには、アルペジオやスケールを使う。それを基準に色々な寄り道の方法がある。例えば半音上から、半音下から、あるいは挟み込むという方法もある。

4.

始まりの音からターゲットノートまでが長い時は、コードごとに折り返し地点を決めておくと、道のりが見えやすい。

5.

曲を分析して、好きなフレーズの最初と最後の音を使い、その間をアルペジオやスケールで埋める。そこに、新しいコードを加えたりすることでオリジナルのかっこいいフレーズが作れる。

Part05 link

<https://mubo.taka808.com/articles/ZCZl4hAAAB8AxoEr/>





# ミュージシャンとして世界中を回るということ

2年ぶりにインドネシアのJavaジャズフェスティバルに戻ることになりました。今回は2020年、Maurice Brownのバンドで参加し、その後東京ブルーノートでの公演を予定していましたが、まさにその頃にコロナが流行し始め、公演はキャンセル。そのままロックダウンが始まり、予想外にも1年間日本に滞在することになりました。2021年の1月にようやくアメリカへ帰国し、それから早くも1年半が経過しました。

今回のフェスティバルではKeyon Harroldのグループとして演奏します。世界は再び動き出し、今年に入ってからインドネシア、ブラジル、モントリオール、西海岸と、各地でのイベントが少しずつ決まりつつあります。海外のフェスティバルへの参加が以前以上に増えているようです。

ニューヨークに来てからの夢であった世界中のフェスを回る生活は、多くの学びと刺激があり、音楽的にも大きな成長を遂げられるものです。しかし、このツアー生活が全て良いことばかりではないのも事実です。特に移動の大変さは言うまでもありません。ほとんどが早朝の飛行で、乗り継ぎや演奏までのタイト間隔など、予算の関係上、計画が非常にタイトです。

特殊な仕事ゆえに、「乗り継ぎ失敗しました」では済まされない状況も多く、現場に到着するまでは常に気が気ではありません。自分のコントロール外の問題も起こりがちですが、それにも臨機応変に対応しなければなりません。


今回も早朝のフライトに合わせて、朝5時に出発し、空港には2時間半前に到着。しかし、搭乗手続きでトラブルが続出し、手荷物検査が混んでいたら乗り遅れるところでした。渡航時の条件や必要書類は観光客と異なり、フェスなどの国際イベントでは状況がさらに特殊です。

働くビザを持つての入国であるため、通常の観光客とは異なる手続きが必要で、空港のスタッフがよく理解していないことが多く、今回も多くの時間をロスしてしまいました。しかし、自分の状況をしっかりと説明し、必要のない保険への加入やアプリのダウンロードを求められた際には、それが不要であることをはっきりと伝えました。

このような繰り返しを乗り越えながら、自分の主たる仕事である素晴らしい演奏を提供するために、現場に間に合わせるのが最優先です。全ての努力と苦勞を乗り越え、ステージ上で最高のパフォーマンスを披露するため、常に最善を尽くしています。

ツアーはただ演奏するだけではなく、移動にも多大な労力が必要ですが、そのすべてが音楽生活の一部であり、この道を選んだからには全てを受け入れ、前向きに取り組んでいきたいと思っています。

2022/05/25-泉川

The background features a soft gradient from light blue at the top to light red at the bottom. Scattered throughout are various geometric shapes, including rectangles and L-shaped blocks, in shades of dark grey, red, and pink. Some of these shapes have a slight 3D effect with shadows.

かっこいいソロ、メロディを作りたい  
(フレーズと休符の長さ)

# part 06 カッコいいソロやメロディを作ろう！



## フレーズづくりの6つのポイント

今回はアルペジオ、スケール、2-5-1、アナライズに続いて、ターゲットノートについて解説してみました。今回は「フレーズと休符の長さ」に着目してさらにかっこよくしちゃいましょう！



### フレーズづくりの6つのポイント

1. アルペジオ ( Part04 )
2. スケール ( Part04 )
3. 2-5-1 ( Part04 )
4. ターゲットノート ( Part05 )
5. アナライズ ( Part04 )
6. フレーズと休符の長さ ( Part06 )

黒字が前回説明した部分。今回は、赤字部分のフレーズと休符の長さについて解説をしていきます！

## 12小節のブルースコード進行で考える

ジャズでよく使うアイディアなので、ジャズブルースで説明しようと思います。ブルースの進行は12小節でしたね。KeyがFだとすると、以下のようになりますね。

### ■ 12小節のF Blues

The image shows a 12-measure blues progression in F major, divided into three systems of four measures each. The chords are as follows:

System	Measure 1	Measure 2	Measure 3	Measure 4		
1	F7	Bb7	F7	F7		
2	Bb7	Bb7	F7	F7		
3	Gm7	C7	F7	D7	Gm7	C7

今回は、この決まったコード進行の中で、フレーズの長さを変化させてカッコよくしようというアイディアです。例えば、短いフレーズ→短いフレーズ→長いフレーズといった感じですね。まずはこれらのフレーズの基となる短いモチーフを考えて、それを発展させます。



フレーズの長さを変化させてカッコよく！

では、まずモチーフをつくります。モチーフとはフレーズの基になる最小単位のものだと考えてください。



モチーフを展開

■ 12小節のF Blues

今回は、この決まったコード進行の中で、長いフレーズを弾くところと短いフレーズを弾くところを意識的に分けました。また、最初のモチーフを展開するようにして、フレーズをつくっています。(モチーフのリズム・音程・長さ・始まる場所を変化させる。)

また、6小節目はBb7からBdim7にアレンジしてます。その場合、次のF7はF7/Cになることが多いです。



フレーズの長さを意識的に使い分ける。

長いフレーズはドラマティックに弾くと良い!

前のページでは、「フレーズの長さ」に着目するというコンセプトでしたが、今度は逆に「休符の長さ」に着目してみましょう。つまり、どこを短く休んで、どこを長く休むかを考えるということです。

## ■ 12小節のF Blues

今回は、前回と逆に休符の長さに着目するというコンセプトでフレージングしました。フレーズの長さと休符の長さは表裏一体のような感じですが、どちらを意識するかで出てくるフレーズも変わってくると思います。また、アナライズする時にも、フレーズや休符の長さに着目すると新たな発見があるはずです。



休符の長さに着目するという逆の発想でフ  
レージング!



カッコいいソロやメロディを作ろう！（フレーズと休符の長さ）

1.

コード進行の中で、フレーズの長い部分、短い部分を決めて演奏してみる。

2.

コード進行の中で、休符の長い部分、短い部分を決めて演奏してみる。

3.

ジャズでよく使う理論なので、12小節のジャズブルース等で練習してみるとよい。

4.

曲を分析する時も、フレーズ・休符の長短でアナライズしてみると新たな発見がある。（メロディをどこで区切っているかなど）

Part06 link

<https://mubo.taka808.com/articles/Y4WM5REAACgAOocX/>





# 簡単にオシャレなコードを付け足す方法 ( 2 - 5 - 1 )

# part 07 簡単にオシャレなコードを付け足す方法

## 簡単にオシャレなコードを付け足す方法

例えば、オリジナル曲や思いついたフレーズを演奏する時に、もう少しオシャレなコードを足して、カッコよくアレンジしたい。そんな時に使える方法です。



### オシャレなコードを付け足すポイント

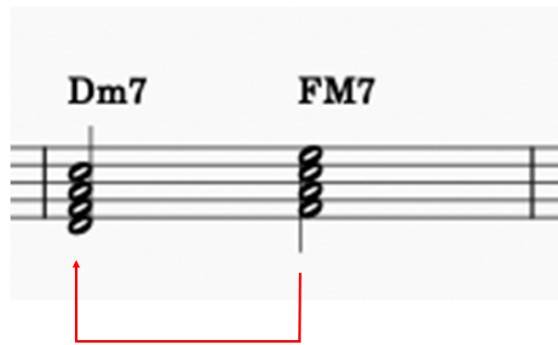
#### 2-5-1 を使ってコードを連結

2-5-1 ( ツーファイブワン ) とは、ハモる8個のかたまりの2・5・1番目のコードを取り出してきたものです。4度進行しているという特徴があります。下はCM7を1とした場合の進行です。

II m7   4度   V7   4度   I M7  
2   進行   5   進行   1

フ                      不                      安  
ワ                      安                      定  
ツ                      定  
と

## ■ Dm7とFM7について



メジャーセブンスの短3度下（半音3つ下）は、同じ機能のマイナーセブンス。そして、「フワット」という機能も同じになります。なので、同じものとして捉えて大丈夫です。



2-5-1は、フワット・不安定・安定すべての要素が入っているのでドラマティック！

そう、2-5-1はすべての要素が入っているのでドラマティックなのです。また、3つのコード全てが同じスケール（ハマル8つのかたまり）から出来ています。

なので、コードを付け足したいとき、1は2-5-1に分解でき、逆に2-5-1はいずれかのコードにまとめられるのです。

それでは、さっそく具体例で見てみましょう。題材はみなさんも知っている「キラキラ星」です。

## ■ キラキラ星

## ■ キラキラ星 アレンジ①

2小節目のFに狙いを定めて、2-5-1進行を入れたパターン。  
これはFの「ハモる8個のかたまり」の2・5・1番目を取り出して付け足したアレンジです。

## ■ キラキラ星 アレンジ②

2小節目のCに狙いを定めて、2-5-1進行を入れたパターン。

※コードチェンジが多すぎてスッキリさせたいと感じた時は、2-5-1すべてではなく、2を省略して、5のみ足すことも可能。

# 永遠に連結できる 2-5-1

もうお気づきの方もいらっしゃるかもしれませんが、この2-5-1は永遠に連結することができます。例えば、こういったアイディアはメロディが始まる前のイントロなどに使うことができます。

## ■ キラキラ星 アレンジ③

イントロ

Musical notation for the introduction of 'Twinkle Twinkle Little Star'. The notation is in treble clef with a key signature of one sharp (F#). The chords are: F#m7(9), B7(9,13), Em7(9), A7(13), Dm7(9), and G7(b9). The last two chords, Dm7(9) and G7(b9), are highlighted with a red box.

このあたりでアルペジオやスケールを使って

メロディ

ドラマティックにしても良いかもしれません。

Musical notation for the melody of 'Twinkle Twinkle Little Star'. The notation is in treble clef with a common time signature (C). The melody consists of four quarter notes: C4, E4, G4, and A4. The bass line consists of a single chord, F#m7(9).

また、このアイディアはイントロだけではなく、最後の大サビなどにも使えるアイディアです！リハモというやつですね。（メロディと変えたコードがぶつらないように注意が必要です。）

## マイナーに解決する 2-5-1

マイナーに解決する 2-5-1 (例; Cm7が1のとき)

この場合、 $\text{II}m7b5$ と※オルタードを使用して、

$\text{Dm}7b5 - \text{G}7(\text{alt}) - \text{Cm}7$

とするほうがナチュラルなサウンドになります。

(C MinorのKey/ $\text{Eb}$  Majorの音を基準にしているから)

必ずそうしなければいけないわけではないですし、マイナーの1度にふつうの $\text{II}m7$ やナチュラルテンションの7thの2-5-1を使うことも多いですが、なにか違和感があるな...と感じたら $\text{II}m7b5$ と※ $\text{V}7(\text{alt})$ を使うと解決することも多いです。

### ■ メジャーにむかう 2-5-1

$\text{Dm}7 - \text{G}7(9, \#11, 13) - \text{C Major}7$

### ■ マイナーにむかう 2-5-1

$\text{Dm}7b5 - \text{G}7(\text{alt}) - \text{C Minor}7$

が基本ということを頭の片隅にいれておいても損はないでしょう。

※後のPartで出てきます！



## 簡単にオシャレなコードを付け足す方法 ( 2-5-1 )

1.

コード進行の中で、コードを付け足したい部分に2-5-1を付け足す。この進行は4度進行で、すべて同じ距離で進む。

2.

2-5-1には、フワッと、不安定、安定のすべての要素が入っているので、ドラマティックに聴こえる。II $m$ 7はIV $M$ 7と同じ機能(フワッと)だと考えて良い。

3.

コードチェンジが多すぎてスッキリさせたいと感じた時は、2を省略して5のみ足すことも可能。

逆に2-5-1を多く付け足すこともできる。そのアイディアはイントロや大サビで活かすことができる。

4.

さらに、すでに学んだ「テンション」や「3和音のゴスペルコード」でアレンジしていくことで、いろいろな響きにすることができる。

Part07 link

<https://mubo.taka808.com/articles/Y4w2mxEAACgAWGMh/>





泣けるゴスペルコード  
(パッシングコード)

# part 08 泣けるゴスペルコード ( パッシングコード )



## 泣けるゴスペルコードの5つのポイント

誰しも一度は胸を締めつけるようなドラマチックなコード進行を作りたいと思ったことがあるでしょう。

今回はゴスペルのパッシングコードを使って泣けるコード進行にチャレンジしましょう。ポイントは5つ。



### 泣けるゴスペルコードの5つのポイント

1. ハモる8つのかたまりにV7をつける
2. 7thコードと半音上のディミニッシュは機能が同じ
3. V7にさらにVを連結する
4. 短3度転調をしよう
5. IIIm7(b5)を使う

# 1.ハモる8つのかたまりにV7をつける

KeyがC Majorの場合で考えてみましょう。Part01で学習したダイアトニックコードを演奏すると想定して、そのスキマをどう埋めていくか考えてみましょう。

不安定と安定の繰り返し！

C Major Keyの  
ダイアトニックコード

CM7 Dm7 Em7 FM7 G7 Am7 Bm7-5 CM7

C Major Keyの  
ダイアトニック各コードを  
Iとした時のV7

A7 B7 C7 D7 E7 F7 G7

ハモる8つのかたまりで和音をどんどん作っていき、その間にV7を入れた形にしたのが上の図です。赤い部分は4度進行、つまり5-1の部分です。特にV7からマイナーコードに着地する進行はとても泣けます....。一つのコードを5-1に分けたとも言えますね。

さらにこの進行をしながら、Part04で学んだアルペジオやスケールを使ってフレージングすると思ってもいなかったようなメロディができたりするので、是非、試してみてください！

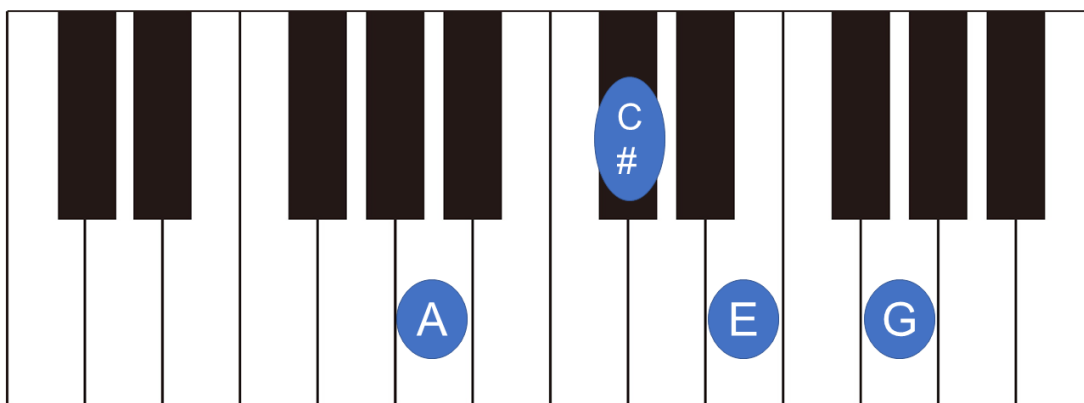


ターゲットとするコードの前にV7を入れる  
ことによって、泣けるコードになる。

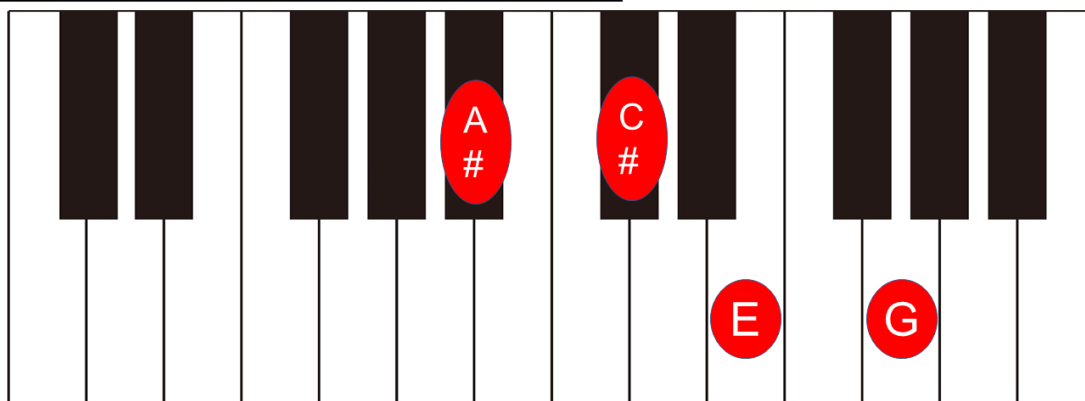
この響きなんか聴いたことあるな、そう感じた方もいらっしゃると思います。Part03「3和音だけでできる！簡単ゴスペルコード」と本質的には同じことなんです。以下で説明しますね。

2つともCM7→Dm7というコード進行の間にいれるコードです。

### ①A7 (Dのコードに4度進行するV7)



### ②A#dim = C# dim 7 の転回系 (CのコードとDのコードの間のパッシングディミニッシュ)



よくみるとコードの構成音はほとんど同じで、機能としても同じです。なので、両方とも不安定→安定を作り出すために、同じように使ってOKなのです。



7thコードと半音上のディミニッシュは機能が同じ！両方とも「不安定」を作り出す。



## 3.V7にさらにV7を連結する

本章の「ハモる8つのかたまりにV7をつける」で説明したV7にさらにV7を連結するという事です。ではさっそく説明しますね。

C Major Keyの

ダイアトニックコード



C Major Keyの

ダイアトニック各コードを

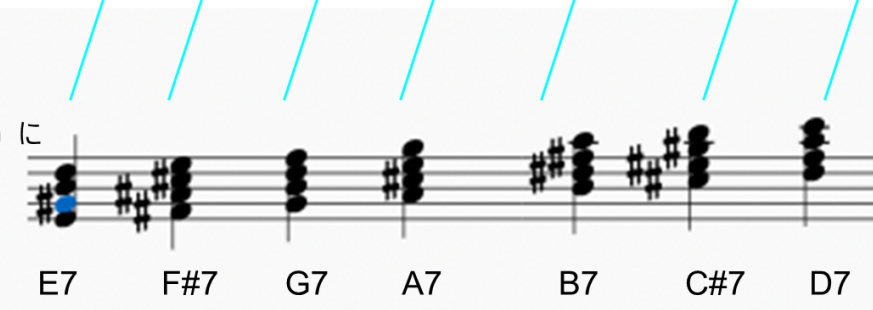
Iとした時のV7

(ディミニッシュ)



上のV7 (ディミニッシュ) に

V7を連結したパターン



ただこのまま演奏すると、コードも増えてバタバタしてしまうので、ディミニッシュやV7に連結したV7を使いながら、滑らかに演奏していく方法も動画で紹介しているので、ぜひチェックしてみてください。



V7にさらにV7を連結することができる。

## 4.短3度転調をしよう

転調方法も色々あると思います。例えば、J-POPの大サビで半音上げるなどは良く使われる手法ですよね。今回私がおすすめしたいのは「短3度転調」です。

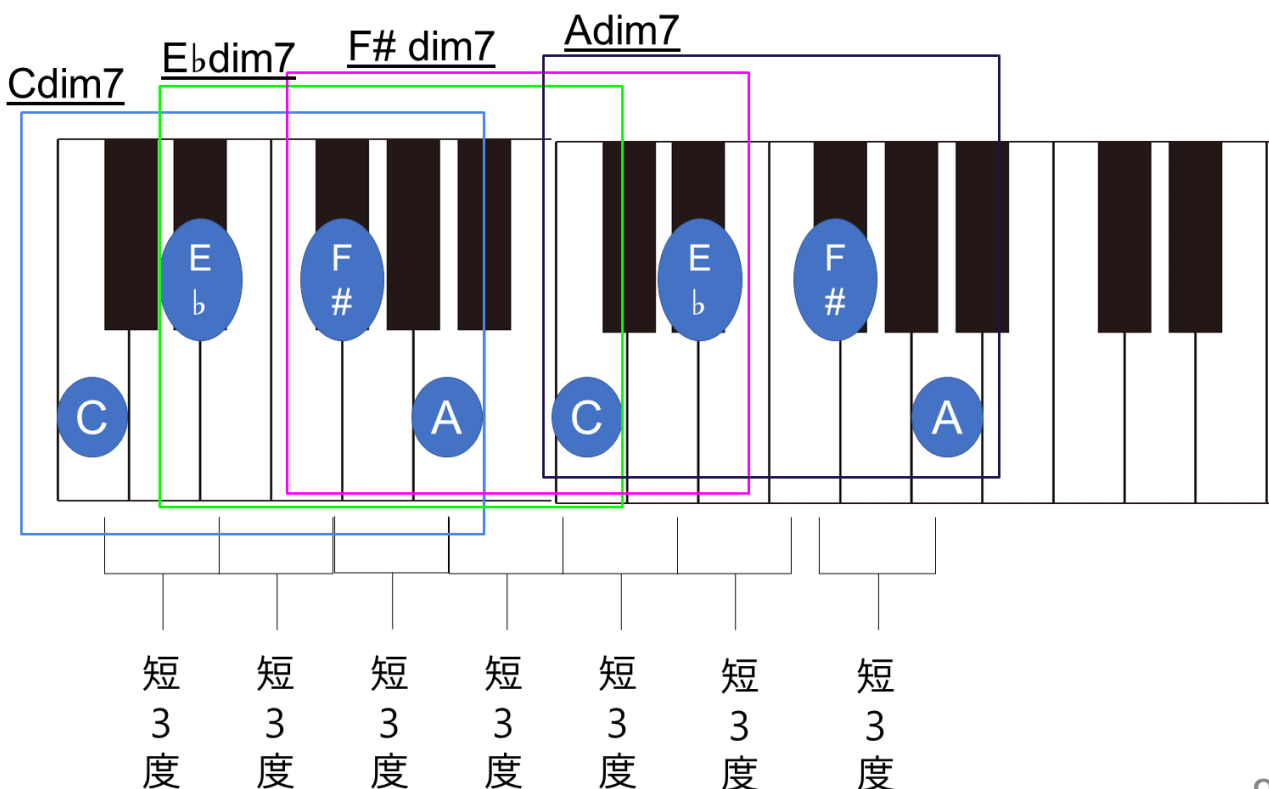
ディミニッシュの章でも説明しましたが、ディミニッシュの構成音はすべて短3度の距離でできています。そして、この間では転調がしやすいという特徴があります。(短三度上は元の調をマイナーにしたもの・C→Cm = Eb) 自然で効果的な転調です。

他にも転調を利用した2-5-1の変化系で以下のようなやり方もあります。私のオススのコード進行です。

[Fm7→Bb7]→CM7 (本来はEbに着地)

[G#m7-C#7]→CM7 (本来はF#に着地)

CもEbもF#も短3度の関係にあるディミニッシュの構成音なので、着地点を入れ替えてみた、という考え方です！



## 5. $\text{II}m7(\flat 5)$ を使う

ゴスペルでよく使われる手法で、 $\text{I} \Leftrightarrow \text{II}m7(\flat 5)$ で行ったり来たりするというものがあります。Key Cで考えると以下のようになります。

$\text{D}m7(\flat 5) \rightarrow \text{C}M7 \rightarrow \text{D}m7(\flat 5) \dots\dots$

とてもカッコいい響きのする進行ですが、これは何をしているか  
というと、ご近所さんのKey : C Minor ( $\text{E}\flat$ Major) の2度のコード  
である $\text{D}m7(\flat 5)$ と、Key : C Major の1度のコードである $\text{C}M7$   
を行き来しているということなんですね。暗いキーからコードを  
借りてきているということです。これもさっきの短三度転調の応  
用ですね。関係の深い調に一瞬転調しているといえるかもしれま  
せん。

この2つのコードを気が済むまで行き来した後、終わる時は前の  
ページで紹介した、

$\text{F}m7 \rightarrow \text{B}\flat 7 \rightarrow \text{C}M7$ という終わり方でも良いと思います。

どんな風に演奏しているかは、ぜひ私のサイトで確認してく  
ださいね！



$\text{II}m7(\flat 5)$  を使用するとゴスペルっぽくなる！



## 泣けるゴスペルコード ( パッシングコード )

1.

泣けるゴスペルコードには5つのポイントがある。

1. ハモる8つのかたまりにV7をつける
2. 7thコードと半音上のディミニッシュは機能が同じ
3. V7にさらにVを連結する
4. 短3度転調をしよう
5. IIIm7(b5)を使う

2.

ターゲットとするコードの前にV7を入れることによって、泣けるコードになる。特にマイナーコードの前に入れると効果的。

3.

V7にさらにV7を連結することができる。そうするとさらにドラマティックになる。

4.

ゴスペルではよく短3度転調が使われる。IIIm7(b5)もこの手法のひとつで、とても効果的。

Part08 link

<https://mubo.taka808.com/articles/Y4w3uxEAACMAWGgY/>





## 薄給ミュージシャンのちょっと厄介な法的トラブル

音楽に情熱を傾けるも、ぎりぎりの収入でやりくりするミュージシャンには、予期せぬ法的な問題がのしかかることもあります。先日の話。知り合いのミュージシャンが、レストランで演奏している最中に、高価なスクリーンをうっかり壊してしまっただけです。そのレストランのステージは、狭い上にスクリーンがすぐ後ろにあり、ちょっとした動きで簡単に触れてしまう設計になっています。

この場所では、過去にも同じような事故が何回かあったのですが、レストラン側は保険に入らず、毎回ミュージシャンに修理費を請求してきました。今回も知り合いに\$1500の請求が。でも、法的には本当に支払う必要があるのでしょうか？

ニューヨーク州では「比較過失」という考え方があります。これは、事故における双方の責任の割合に基づいて、損害賠償が決まるというもの。スクリーンの破損についても、レストランとミュージシャンの過失がどちらもある場合、負担も分かれます。


連邦雇用法によれば、特定の損失に対する給与からの控除は許されていますが、最低賃金を下回ることはできません。独立契約者の場合、直接的な給与控除が適用されないことが多いので、結局は話し合いで決まることが多いですね。

さて、どうするか。考えられる対策はこんな感じです。

1. 「故意じゃない」と伝えて、無理やりの支払いを避ける。
2. レストランが過去に同じ事故を経験しながら対策をしてこなかったことを指摘し、損害賠償の減額を試みる。
3. 独立契約者として、法的な枠内で支払いの交渉をする。

法的アドバイスはプロに任せるに越したことはないですが、普段からちょっとしたコミュニケーションや契約書でクリアにしておくのが面倒を避ける秘訣かもしれませんね。

2023/10/26 -泉川



王道ジャズサウンドの作り方  
(オルタードテンション)

オルタードテンションの5つのポイント

今回はジャズサウンドの代名詞とも呼べるオルタードテンションについて説明します。これまでは、ナチュラルテンションと呼ばれる9th、11th、13thについて学びましたね。(料理に例えると調味料)

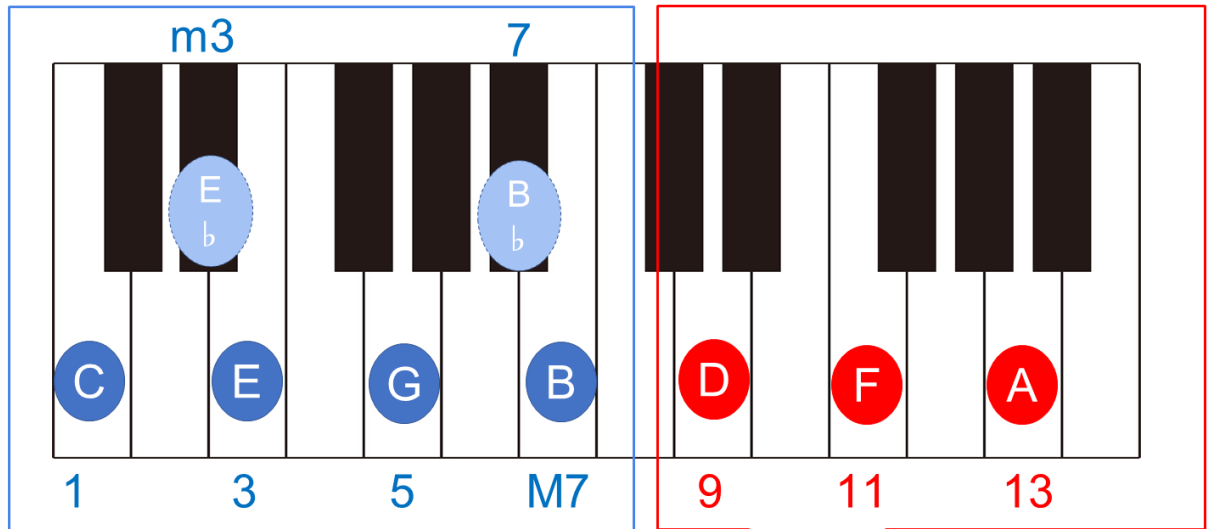
でもそのサウンドにも飽きてきたという人もいます。そこで、登場するのがオルタードテンションです。これはこういった音なのか下の図で説明しますね。

オルタードテンションの4つのポイント

1. 4度進行している7thに使える
2. 7thコードの5度の音は使えない
3. 4度進行している7thコードのみ2つの選択肢がある
4. メロディに合っているかをチェックする

# オルタードテンションの考え方

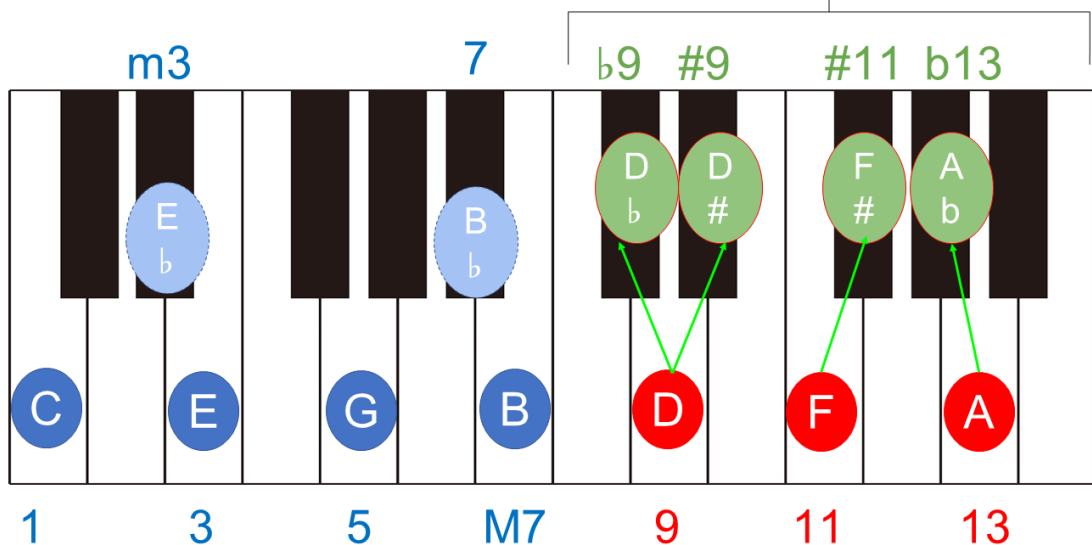
「ハモる8つのかたまり」と、それから派生して出現するテンション・m3・7thについては既に学習しましたね。オルタードは赤字のテンションを更に変化（オルタード）させると考えます。試しに9・11・13のテンションを半音ずつずらしてみましよう。



素材から基本和音を作る

テンション（調味料）が出現

4つのオルタードテンション（新しい調味料）が出現



※11を半音下げたものは3と同じ。13を半音上げたものは7と同じなので、オルタードテンションからは除きます。

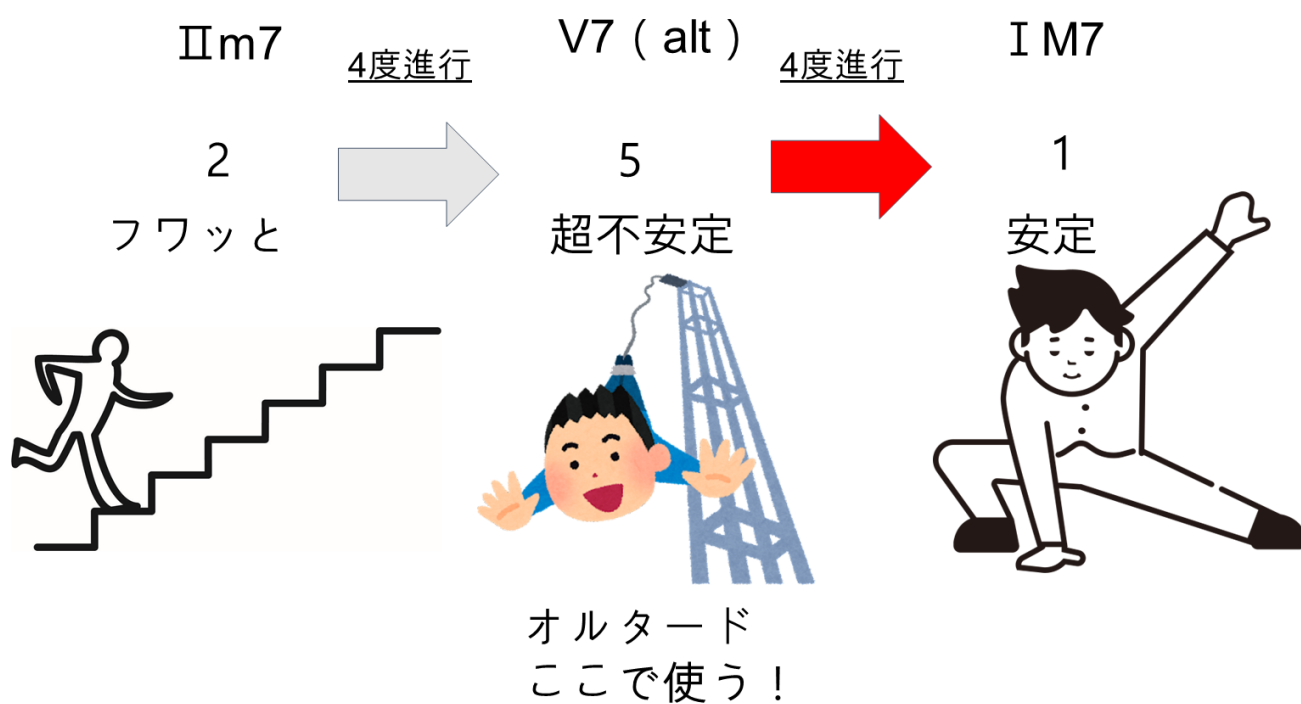
## 1.4 度進行している7thに使える

新しいテンションが4つ出てきました。これはハモる8つのかたまりにない音なので、かなり不安定な響きになりそうですね。では、このオルタードテンションをどこで使うか？

4度進行している7th (V7)。つまり、Part07で説明した  $\text{II m7-V7-I M7}$  のV7の部分で使えます。それは、コード進行が2 (フワッと) - 5 (不安定) - 1 (安定) という機能を持っているためです。

不安定さを、より不安定にする目的。例えば、階段から地面に向かってジャンプして着地するのではなく、より高いビルからバンジージャンプするようなイメージでしょうか。

不協和音が、さらに不協和音になるので、4度進行して1度に解決するV7にしか使えないのです。より不安定な響きが解決 (安定) した時、より大きな感動が生まれます。

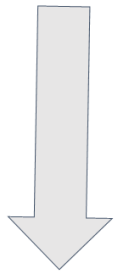
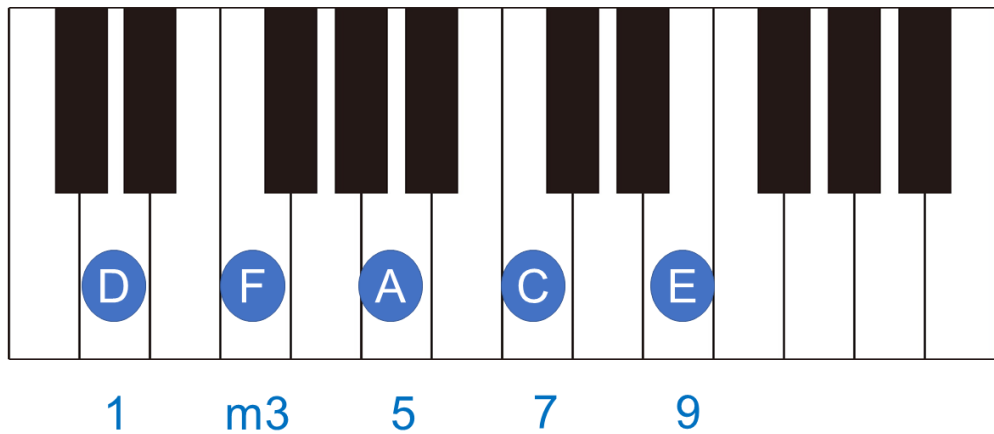


最初はb 9thで練習してみる！

いきなり演奏しろといっても難しいですね。なので、まずは取っ掛かりとして、「b9th」から練習してみましょう。C Major Key での 2-5-1 を想定して説明します。

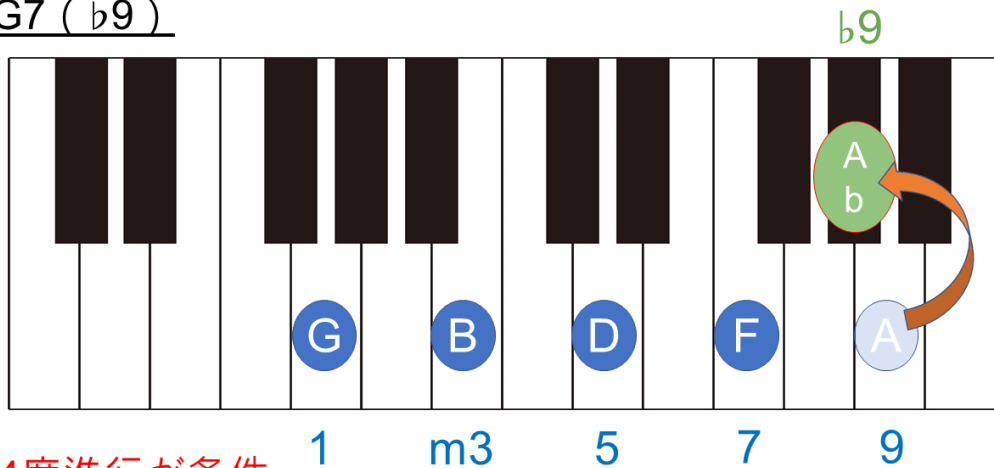
Dm7 ( 9 )

II m7



G7 ( b9 )

V7 ( b9 )

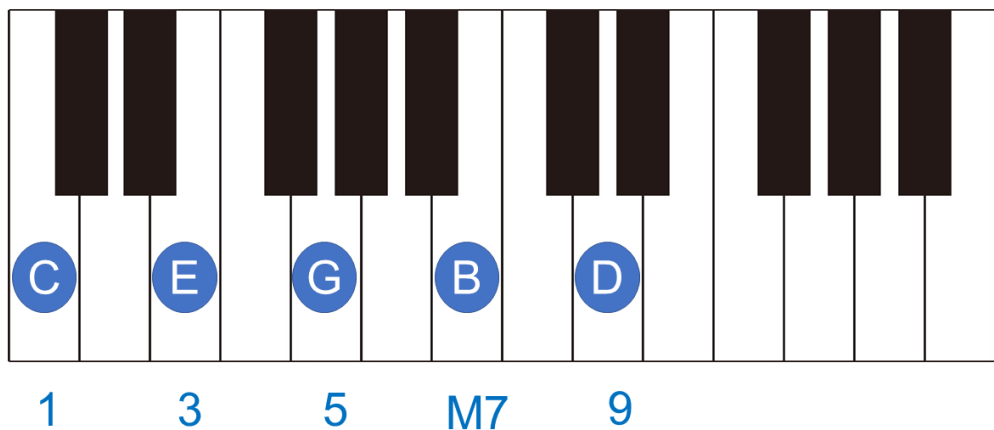


4度進行が条件



CM7 ( 9 )

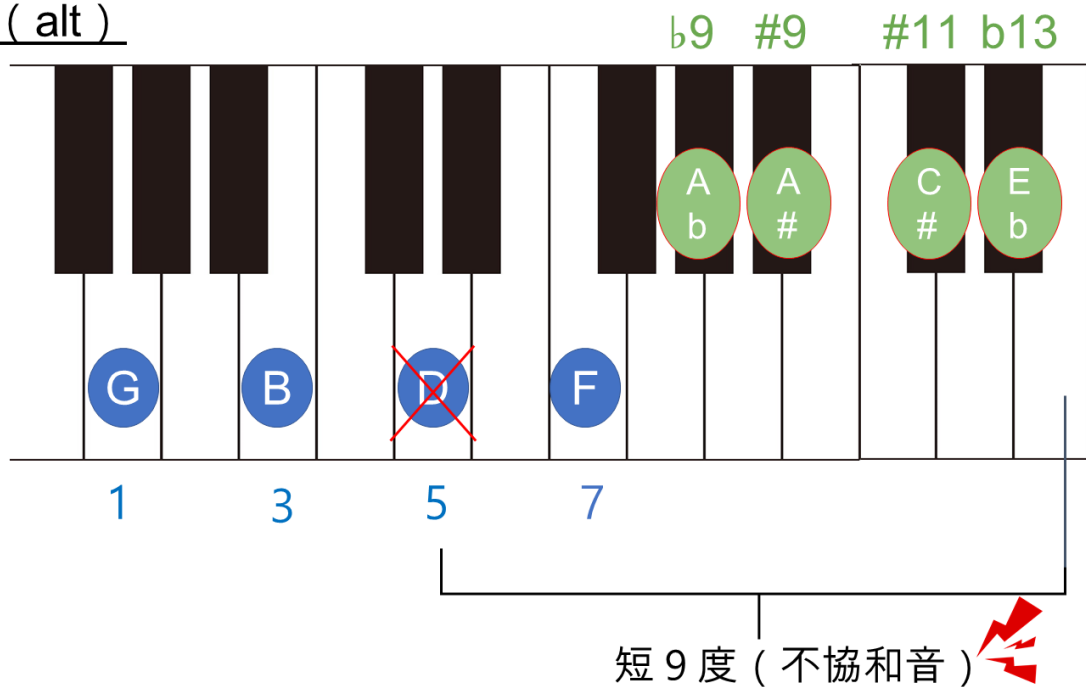
I M7



## 2.7thコードの5度の音は使えない

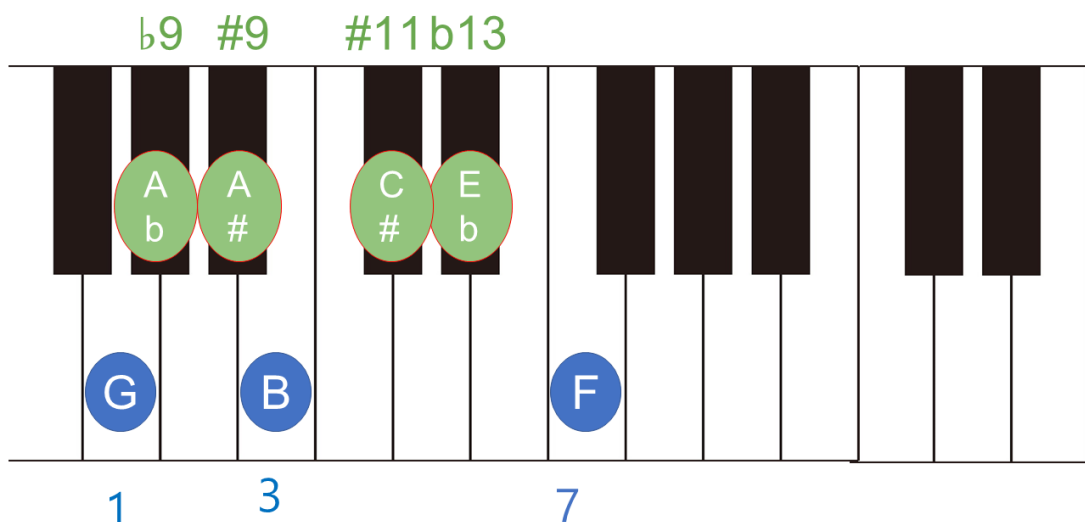
7thコードでオルタードテンションを使う時は、V7の5度の音を使うことはできません。その理由は、5度であるDの音とオルタードテンションの $b13$ の距離が、短9度になってしまうためです。

### G7 (alt)



覚えている方もいるかもしれませんが、メジャーのコードに11thを入れると不協和音になってしまう理由と同じです。ここでも、和音 = スケール、つまり同じものとして考えます。

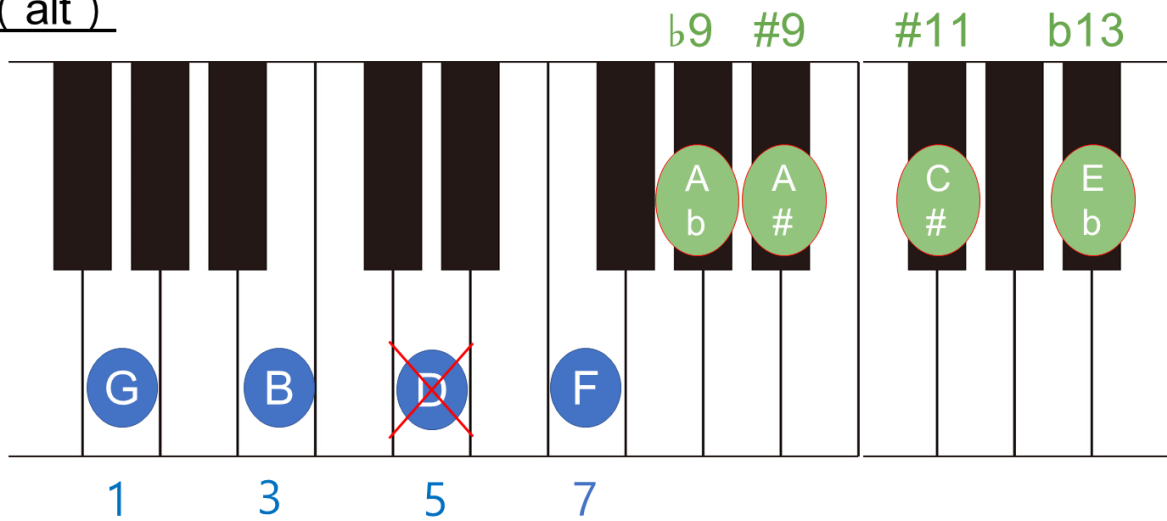
### G7 (alt) スケール



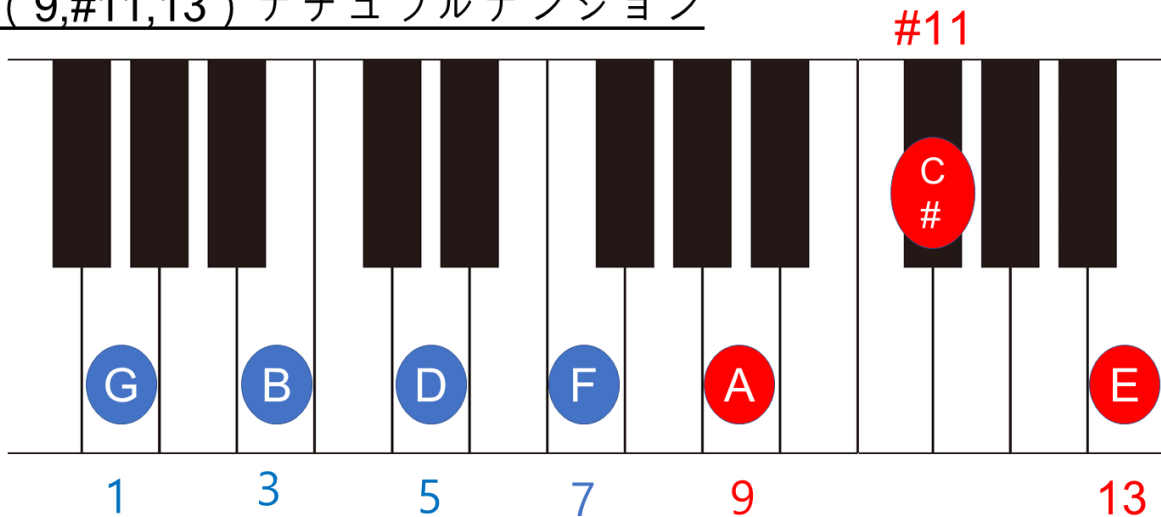
### 3. 4度進行している7thコードのみ2つの選択肢がある

4度進行しているV7コードのみ2つの選択肢があります。それは、「ナチュラルテンション」か「オルタードテンション」のどちらかです。同時に使うことはできないので、どちらか選ぶ必要があります。

#### G7 (alt)



#### G7 (9, #11, 13) ナチュラルテンション



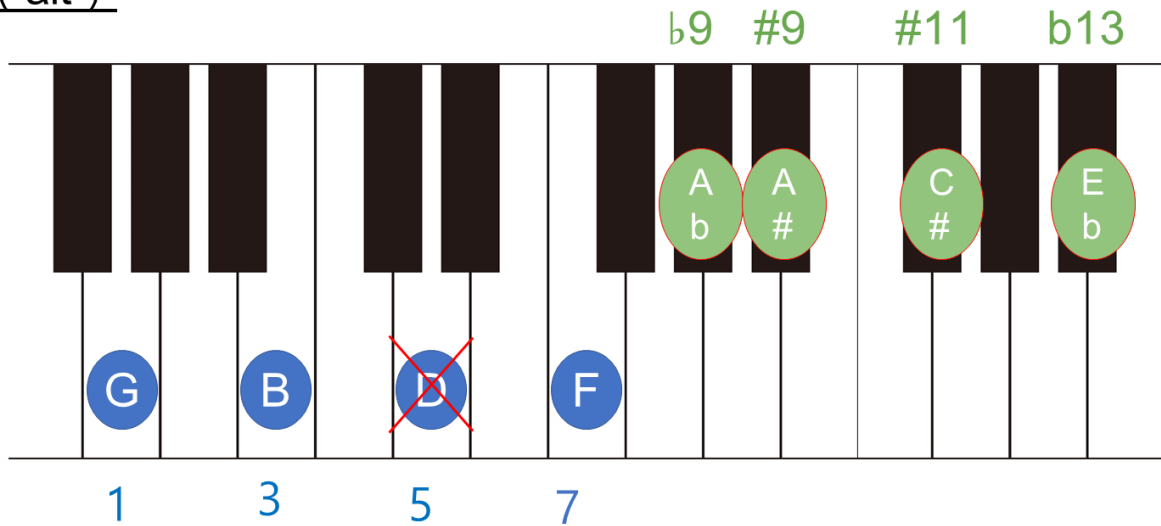
普通のコードにはナチュラルテンションしか選択肢がありません。

しかし、4度進行しているV7では多くの選択肢があるので、そこに個性が出ます。



## オルタードテンションの探し方

### G7 (alt)



$b9$ th : ルートの半音上の音

$\#9$ th : m3と同じ音

$\#11$ th : 5度の半音下の音

$b13$ th : 5度の半音上の音

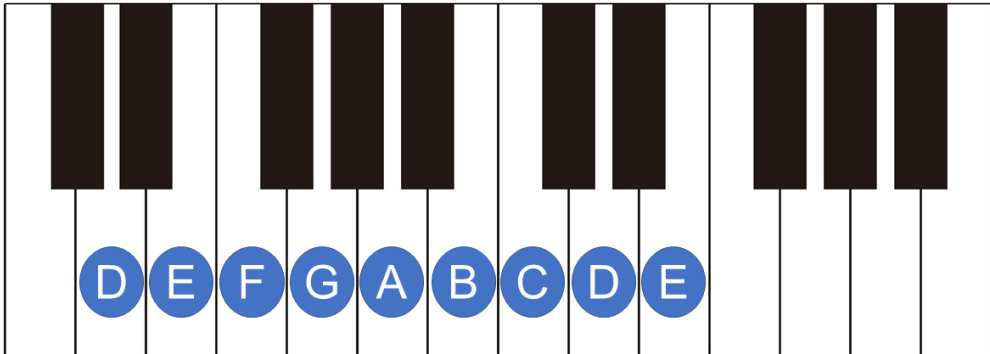
この中で $b9$ thと $\#9$ thは、調味料でいうと両方とも塩形で比較的なじみやすいので、ぜひドンドン使ってくださいね！

2-5-1でオルタードテンションのスケール練習

スケールのセクションで説明した内容ですが、V7の部分をオルタードテンションに変えて練習してみましょう！実践では9thまで行くことが多いので上の9thまで表記しています。

Dm7

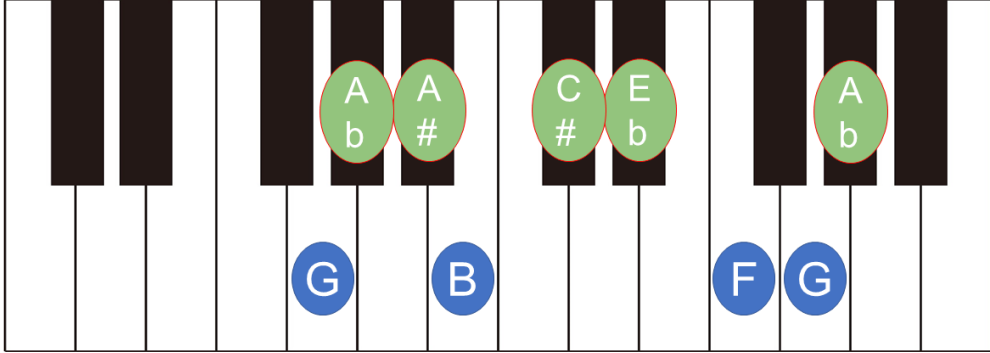
II m7



↓

G7 ( alt )

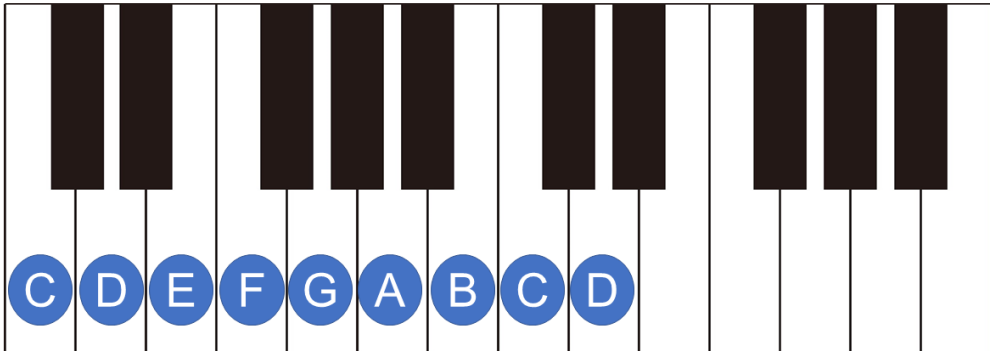
V7 ( alt )



↓

CM7

I M7



これが全キーでできるようになったら、以前説明したスケール・アルペジオ・ターゲットノート等のコンセプトで、フレーズをたくさん作ってみましょう！

## 4. メロディに合っているかをチェックする

最後に重要なポイント。メロディーがコードやスケールと合っているかチェックしましょう。ジャズスタンダード曲の「Someday My Prince Will Come」の最初の5小節で説明します。

### ■ SOMEDAY MY PRINCE WILL COME

#### 最初の5小節

4度進行  
V7 → Im7

The image shows a musical staff in 3/4 time with a key signature of two flats (B-flat major). The first three measures are labeled with chords BbM7, D7, and EbM7. The last two measures are labeled G7 and Cm7 and are enclosed in a red box. Above the red box, the text '4度進行 V7 → Im7' is written, with a red arrow pointing from V7 to Im7.

V7 (G7) の部分のメロディーはGです。ここでは、メロディーがGで、オルタードスケールの中に入っているため、オルタードテンションを使うことができます。

では、このメロディーがAならどうでしょうか。これは、オルタードテンションに含まれていないので、ナチュラルテンションを使わなければいけません。

4度進行のV7におけるメロディーを把握して、ナチュラルテンション、オルタードテンションの2つの選択肢のうちどちらを選ぶか、常に意識しておきましょう！



### 1.

王道ジャズサウンドを作るにはオルタードテンションが効果的。この方法には以下4つのポイントがある。

1. 4度進行している7thに使える
2. 7thコードの5度の音は使えない
3. 4度進行している7thコードのみ2つの選択肢がある
4. メロディに合っているかをチェックする

### 2.

オルタードテンションは、ナチュラルテンションを変化(オルタード)させてできた音のこと。種類として、b9th、#9th、#11th、b13thがある。

### 3.

V7の5度の音はb13thとぶつかるので(短9度)、5度の音は使えない。

### 4.

4度進行しているV7コードのみ2つの選択肢がある。「ナチュラルテンション」か「オルタードテンション」のどちらかを選ぶ。

### 5.

メロディに合っているかを確認する。メロディにテンションをつける時は、メロディの音が「ナチュラルテンション」と「オルタードテンション」のどちらかに含まれているかで選択する。

Part09 link

<https://mubo.taka808.com/articles/Y4w4NxEAACQAWGpA/>





## 音楽で文学作品を作る アルバムコンセプト2024

今年は「選択によって変わる平行世界」をテーマにしたミニアルバム「流(Ru)」をリリースしましたが、来年は8月を目標にフルアルバムをリリースする計画です。すでにその準備に取り掛かっています。

「流(Ru)」での経験も踏まえ、新しいアルバムのコンセプトを練り直しています。私の音楽コンセプトは、ヒップホップ、ジャズ、そして日本のスピリットの融合ですが、この次は少しUK(イギリス)の音楽も取り入れてみたいと思っています。

最近のヨーロッパツアーでイギリスに立ち寄った際、現地の音楽シーンに触れる機会がありました。その影響で、UK音楽の新しいアプローチに挑戦してみたいと思っています。具体的には、ビートルズ、レディオヘッド、ピンクフロイドなど、UKの音楽を深く研究し、それを自分のスタイルにどう取り入れるか試してみます。

一方で、アルバムのもう一つの大きなテーマは、「日本性」です。日本で生まれ育った私としては、日本の生活、精神、価値観を表現することにも力を入れたいです。

次のアルバムのコンセプトをどうするか、さまざまな本や芸術作品を見ている中で、ふと「純文学」の作品を作りたいと思いました。音楽をただの手段としてではなく、「何かを表現するための手段」として使うことが、私には自然に感じられます。音楽でクールなものを作ることも楽しいですが、それ以上の意味を持たせたいと思っています。

純文学は、娯楽性よりも芸術性を重視する文学です。通常、小説が主な形態で、社会問題や特定のテーマを深く掘り下げていきます。純文学と大衆文学の区別はしばしばあいまいですが、どちらの要素も持つ作品を目指しています。


純文学の大御所には、夏目漱石や太宰治、芥川龍之介がいます。現代では川上未映子や村上春樹などが知られています。これらの作家たちの作品から学び、自分なりの解釈で新しいものを創造したいと思います。

文学は、言葉を使って人間の経験や感情を表現し共有する芸術の一形態です。文学作品は、詩や小説、戯曲、エッセイなど様々な形式があり、それぞれが異なるスタイルで人々の感情や思考を刺激します。

これからは、この文学的アプローチを音楽にも活かして、より深い芸術作品を創り上げていく予定です。次回作にご期待ください。

いくぜ2024！

2023/12/10-泉川



# 1秒でジャズサウンドの和音を足す方法 (裏コード)

## 1秒でジャズサウンドの和音を足す方法

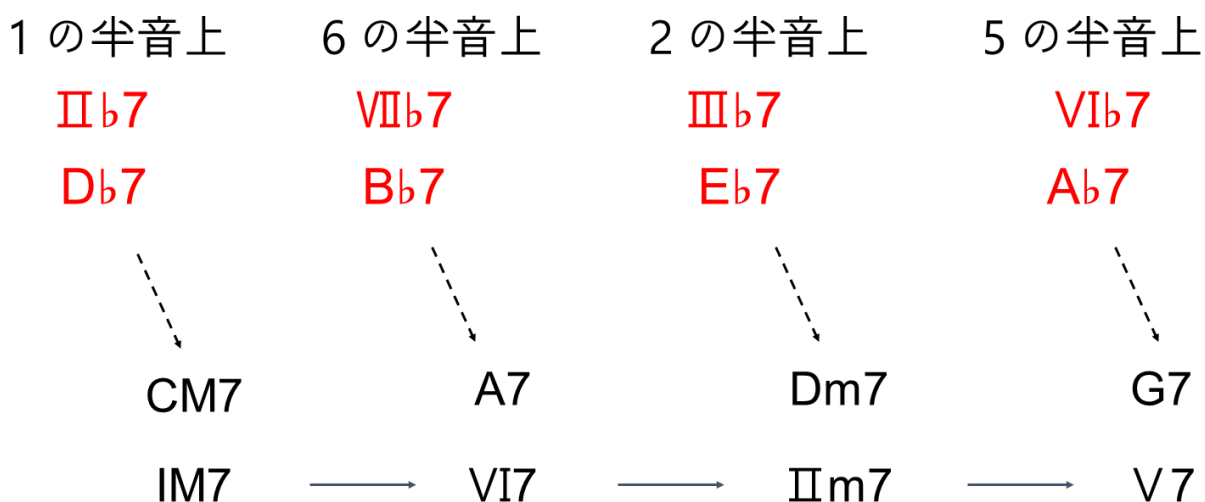
コードを付け足したい時、V7を付け足すことができると以前の章で説明しました。今回は違うコンセプトを説明します。

「今あるコードの前に半音上のセブンスコードをつけ足せる」

これだけです。この半音上のセブンスコードを裏コードといいます。

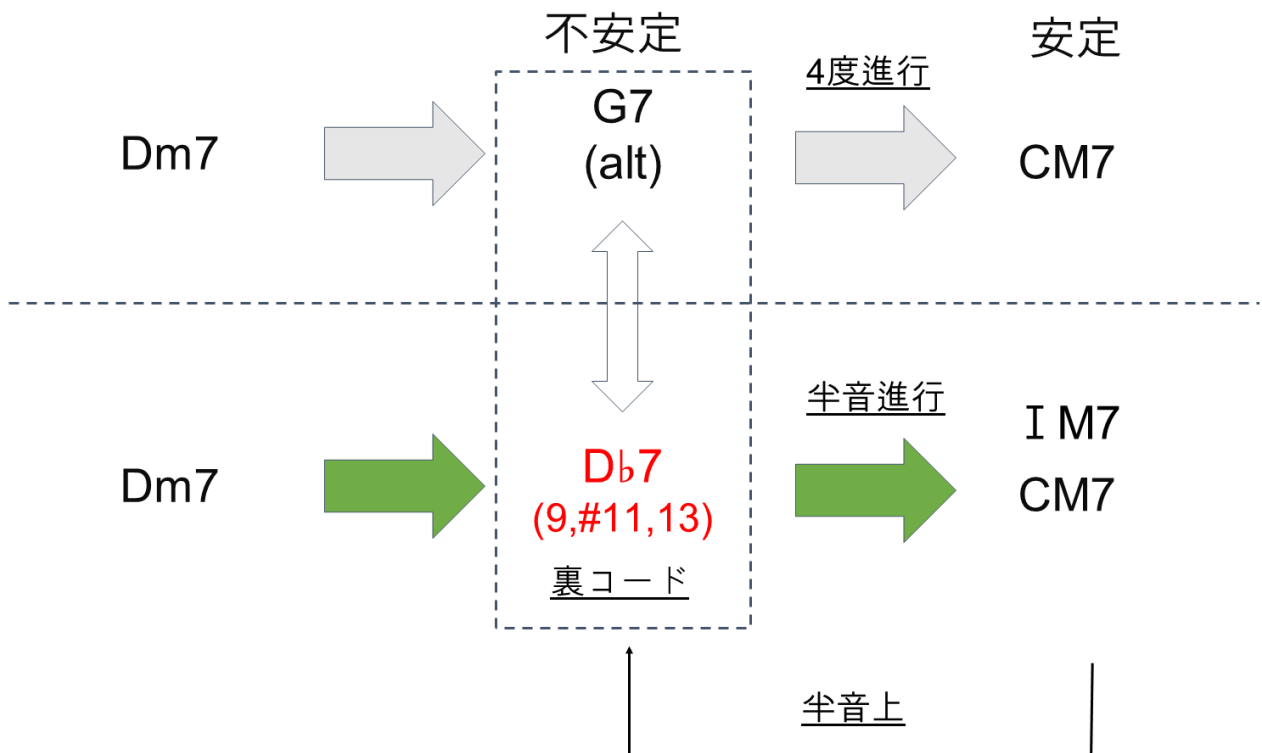
## 裏コードはどんな風に使えるの？

定番のコード進行に付け足せる裏コードを考えてみましょう。元のコードの前に半音上のコードを弾くだけです。簡単ですね。



テンションと一緒に、付け足すほど響きが濃くなる。  
付け足すかどうかは自分の好みで調整すると良い。

## 裏コードとは？



では裏コードとはいったい何なのでしょう？

簡単に言うと

「V7(alt)の代わりに使えるコード」

です。

G7 ( alt ) の構成音とDb7(9,#11,13)の構成音は同じです。そして「不安定」という機能も同じです。なので、V7(alt)の代わりに裏コードを使えるということです。半音上の7thの正体は、V7を元のコードに付け足して、それをひっくり返したものということですね。

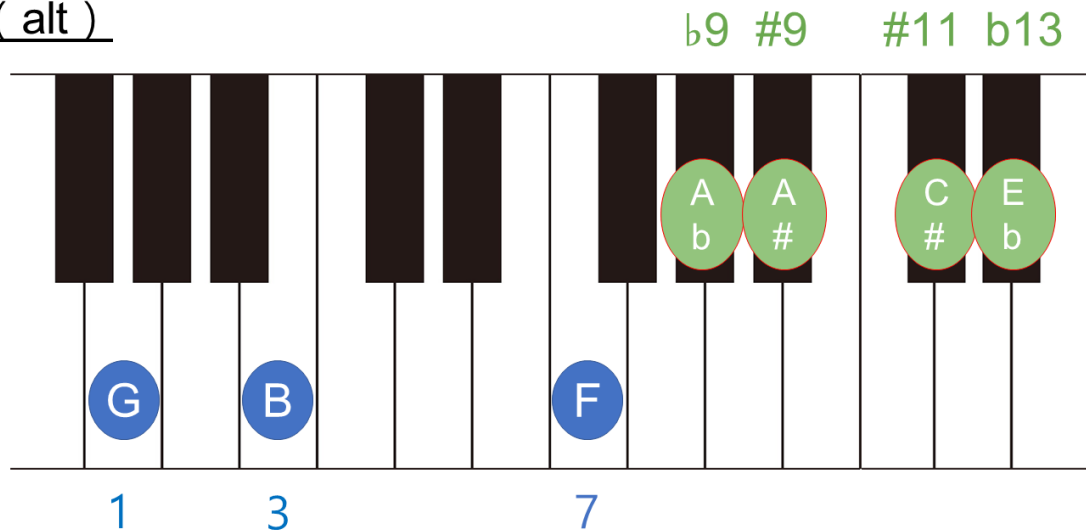
次のページで詳しく見てみましょう。



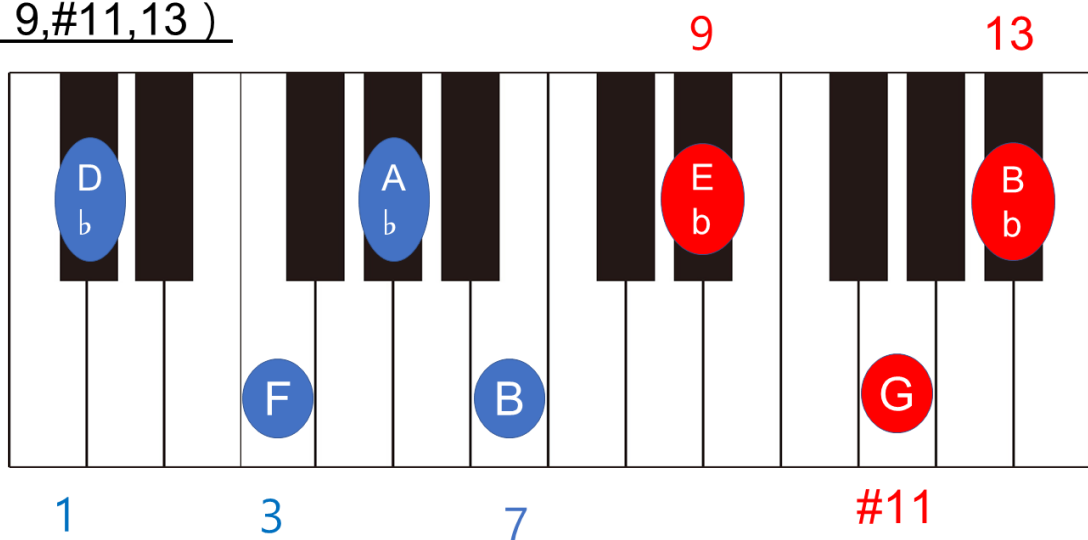
## 裏コードとV7は同じ ( 素材も調味料も一緒 )

裏コード ( 9,#11,13 ) とV7 ( alt ) は同じ構成音です。以下の図をみてみましょう。

### G7 ( alt )



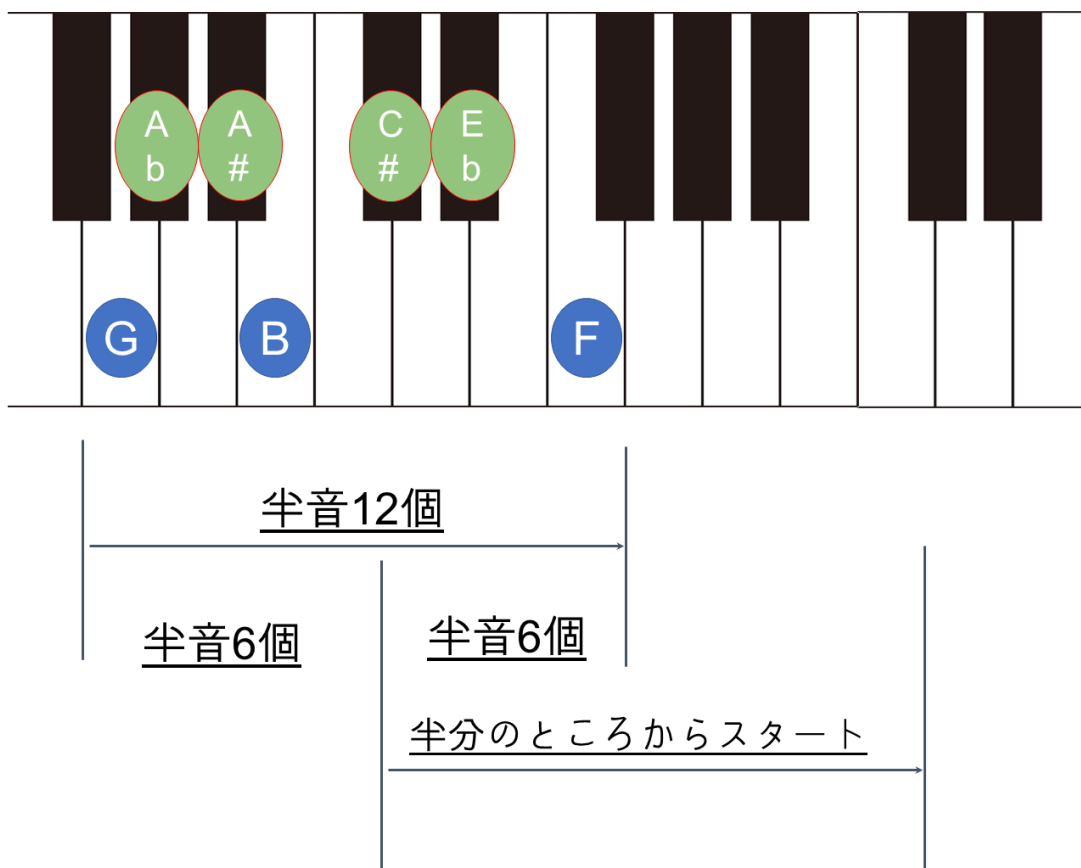
### Db7 ( 9,#11,13 )



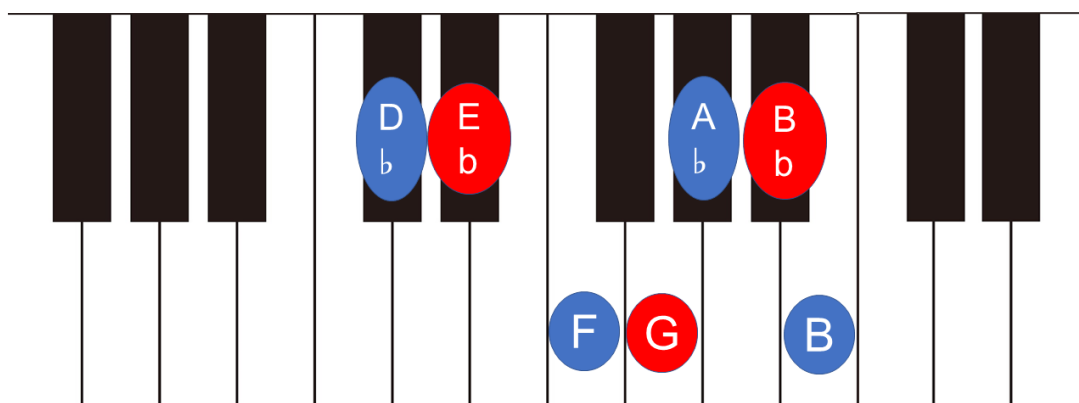
裏コード ( 9,#11,13 ) は、V7 ( alt ) と同じ構成音なので V7(alt)と同じように使うことができます。なので、裏コードのテンションは ( 9,#11,13 ) にする必要があることに注意しましょう。

何となく覚えておいてくれればよいのですが、なぜ裏コードと呼ぶのか、簡単に説明しますね。それはV7を12鍵の真ん中でひっくり返したコードだからなのです。スタート地点が違うイメージです。

### G7 ( alt ) スケール



### D<sub>b</sub>7 ( 9,#11,13 ) スケール

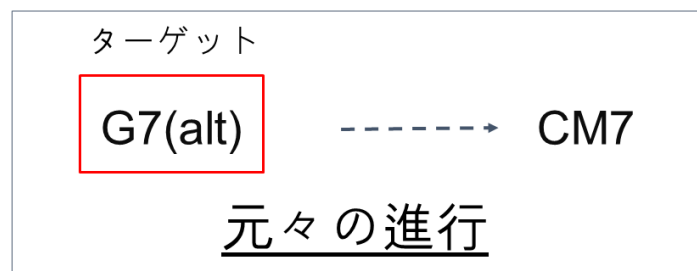


## 裏コードは半音で連結していくことができる

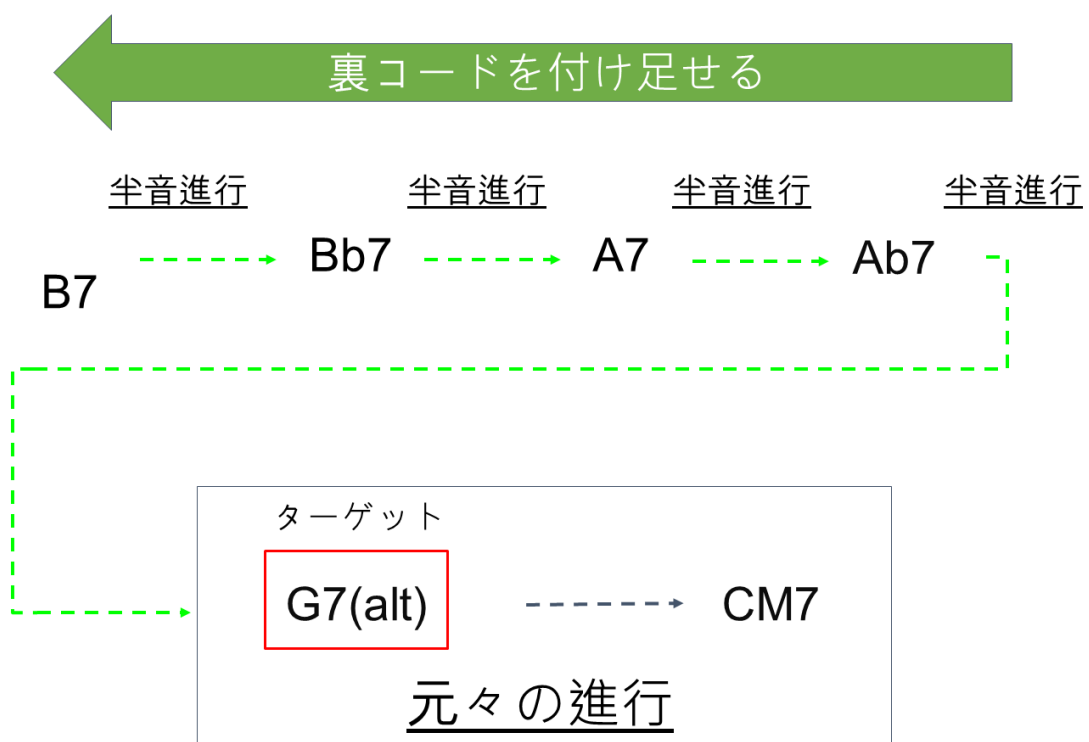
今度は裏コードを使ってどんどん和音を足していくという手法を説明します。

裏コードはターゲットから逆算して、何個でも半音で連結していくことができます。コードを2-5-1に分けた時と同じコンセプトです。

G7 (alt) → CM7 という進行に裏コードを連結した例を見てみましょう。今回のターゲットはG7 (alt) で、そこに着地する前にコードを4つ足してみましょう。



ターゲットのコードから逆算して和音をどんどん付け足せる







## 1秒でジャズサウンドの和音を足す方法(裏コード)

1.

1秒でコードを足す方法として「裏コード」がある。  
その方法は、「いまあるコードの前に半音上のセブンスコードをつける」だけ。

2.

裏コード(9,#11,13)とV7(alt)は一緒(素材も調味料も一緒)。同じ構成音であり、同じ「不安定」という機能を持っている。

3.

裏コードのテンションは(9,#11,13)である必要がある。そうしないと、V7(alt)と構成音が変わってしまうため。

4.

裏コードは好きなだけ半音下に連結していくことができる。


5.

メロディに裏コードで和音を足していく時は、メロディとコードが合っているかを確認する。

Part12 link

<https://mubo.taka808.com/articles/Y4w6EhEAACMAWHKJ/>





## もう迷わない和音の積み方



## 和音を積む4つのスタイル

私のサイト「Mubo」の生徒さんからこんな質問がメールが来ました。

- ・使える音は分かったけどどう押さえたらいいかわからない
- ・音はあってるんだけどなんかダサイ
- ・ストリングスや管楽器のアレンジもしてみたい
- ・歌のハモリをつくりたいけどやり方がわからない

これらの悩みは、今回のコンテンツで全て解消すると思います。

今回は4つのスタイルを紹介します！

1. クローズドボイスニング  
→和音の一番下と一番上の音が1オクターブ以内に入っている音の積み方
2. オープンボイスニング  
→和音の一番下と一番上の音が1オクターブを超えている音の積み方
3. 4thコード  
→4度のインターバルで音を積む方法
4. ブロックコード  
→一番上のメロディをオクターブ下に足す方法

# 1. クローズドボーイング

クローズドボーイングは、和音の一番下と一番上の音が1オクターブ以内に入っている音の積み方です。リズムを重視したホーンセクションや左手だけでピアノを抑える時、歌のハモリも大体クローズドボーイングです。

クローズドボーイングには2種類あります。

## 1. 基本系

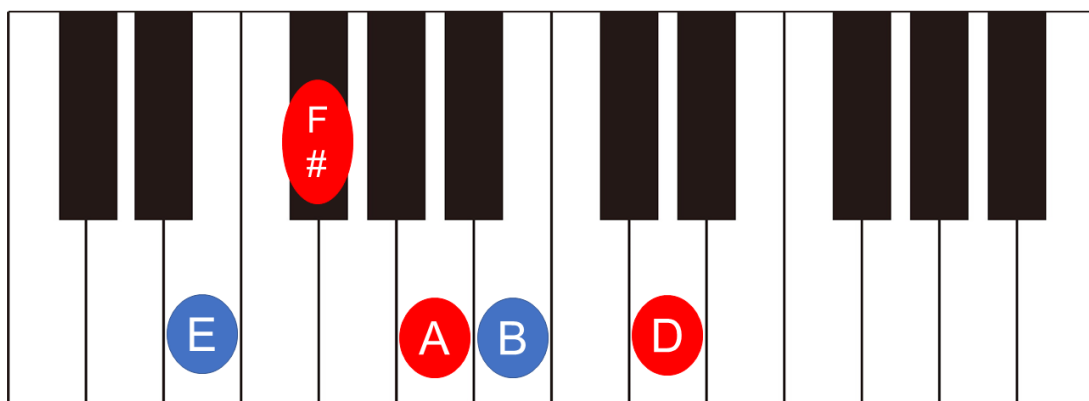
→3和音でいうとコードの1度、3度、5度を転回させていく方法。Cであれば、ドミソ、ミソド、ソドミの3種類です。

## 2. 3度と7度を弾いて、空いている指でテンションを弾く

→これは目から鱗の方法だと思うので、ぜひ覚えてください。

2番目の方法について説明していきますね！コンセプトはめちゃくちゃシンプルです。

## C Major7



3 #11 13 M7 9

1オクターブ内に納める！

※3度と7度を弾いて、空いている指でテンションを押さえる！

## なぜ3度と7度なのか？

それは、コード感を決める音だから。3度がマイナーなのかメジャーなのか、7度がセブンスなのかメイジャーセブンスなのかでコードは変わりますよね。

1度はだいたいベースが演奏するので、和音やコードのアレンジをする際には省くことが多いです。

5度は色がついていない音。5度はどのコードにもだいたい共通で含まれているので、弾いても弾いていなくてもコード感に変わりはありません。雰囲気を変えずに少し厚みを出したい、そういう時に使います。

## 2. オープンボイシング

これは、クローズドボイシングとは逆で、1オクターブを超えて音を重ねるボイシングです。ストリングスやギターなど、広がりがあって柔らかい、あまりリズムを出したくない時によく使う手法です。

この方法は3種類あります。これを知った時には、僕は目から鱗でした...！

1.左手は1度と7度、右手は3度とメロディ

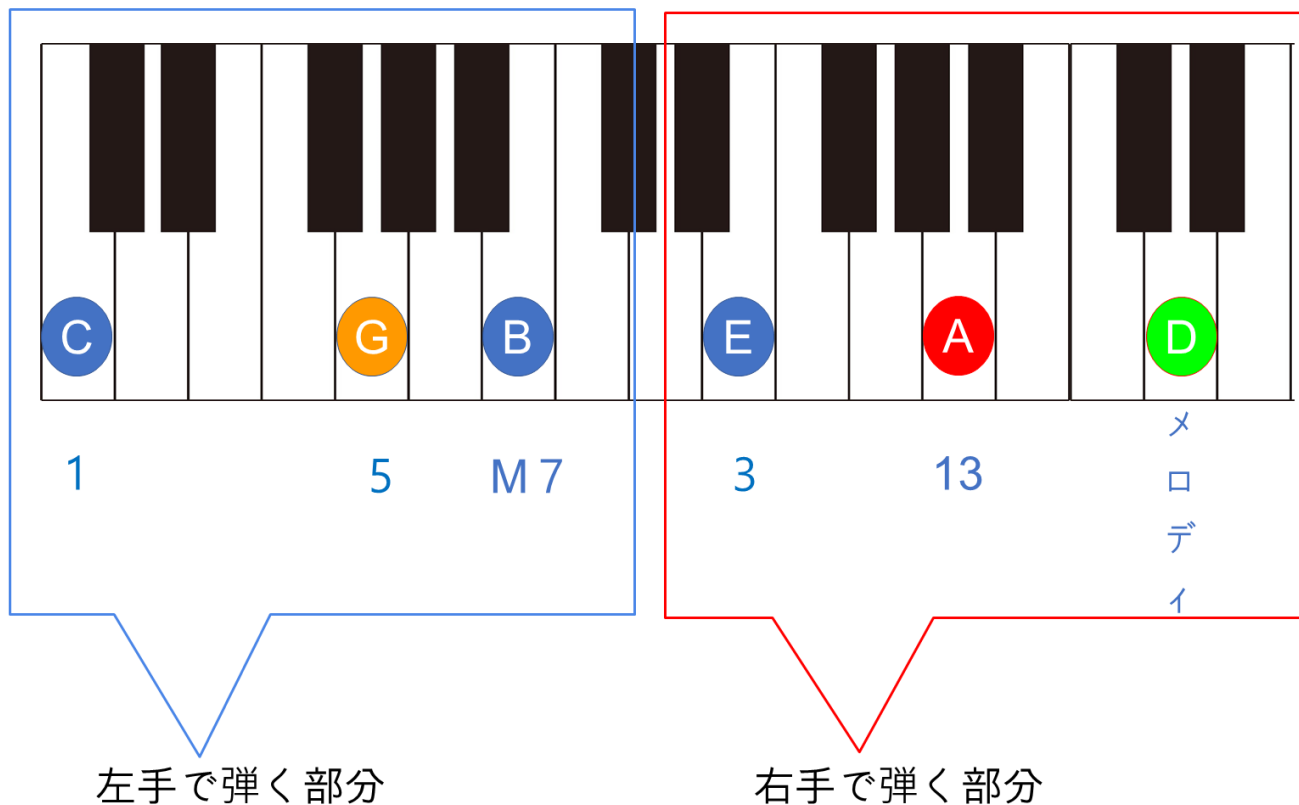
2.左手はクローズドボイシング、右手はオクターブ

3.左手はクローズドボイシング、右手はアッパーストラクチャー

オープンボイスンク 1 :

左手は 1 度と 7 度、右手は 3 度とメロディ

## C Major 7



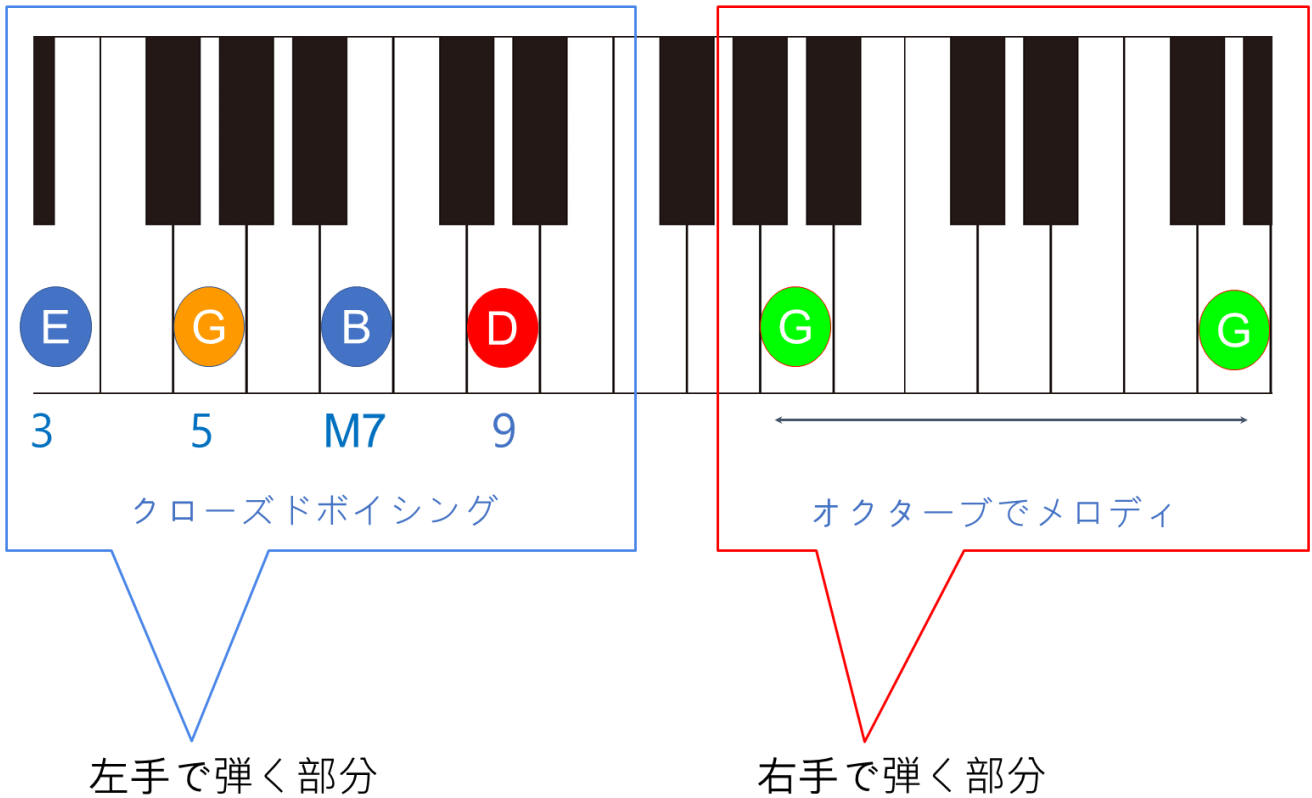
左手は 1 度と 7 度、右手は 3 度とメロディ (メロディは小指で) を押さえ、余った指でテンションや 5 度を押さえる。

これはピアノソロや歌の伴奏など、一人でハーモニーを全てカバーしなくてはいけない時によく使います。一番下にルートが来るのでとても安定したガッチリした音になります。

オープンボイスング 2 :

左手はクローズドボイスング、右手はオクターブ

### C Major 7



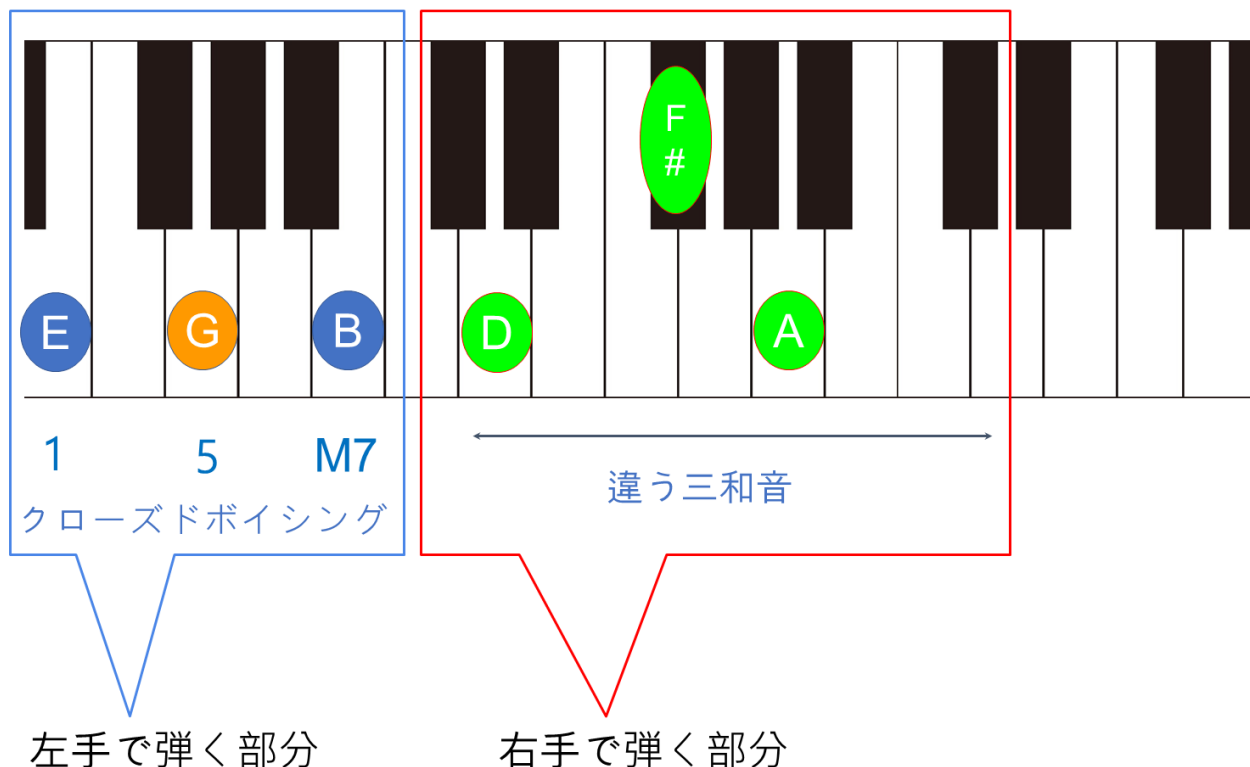
左手はクローズドボイスング・右手はオクターブで押さえるという手法です。バンドと一緒にハーモニーを弾く時もよくつかえます。余った指でテンションや5度を押さえます。

ルートが空いているのでベーシストの自由度が増しそうですね。右手のオクターブでメロディや色々なトップノート弾いて雰囲気を変えていくことができます。

オープンボイス3 :

左手はクローズドボイス、右手はアッパーストラクチャー

## C7



左手はクローズドボイス。右手はアッパーストラクチャー（違う3和音）を押さえるという手法です。Major 7でもよいですが7thやMinor 7のほうが選択肢が多いのでC7の例を見てみましょう。ここでは右手がDの例ですが（9,#11,13）、A(13,b9,3)、Ab(b13,R,#9)、Eb(#9,5,7)なんかもかっこいいですね。

響きの違う和音が組み合わさって聴こえるのでガッツのあるサウンドになります。

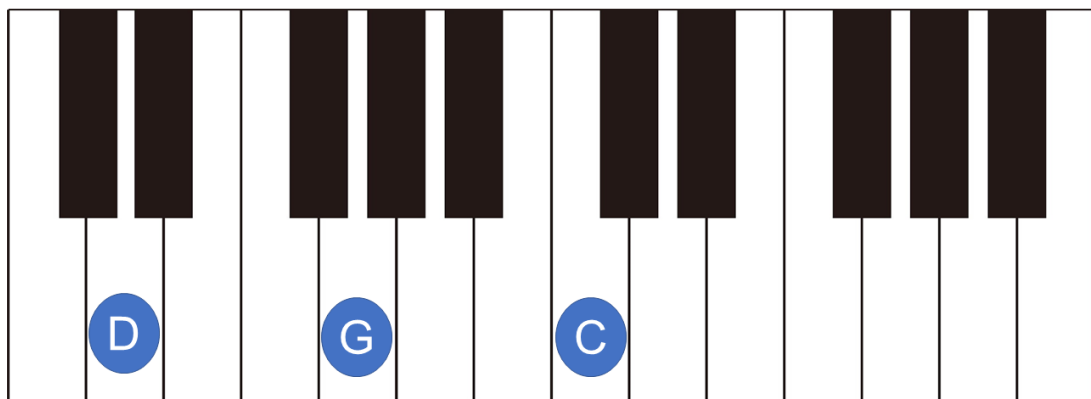
メロディがナチュラルテンションかオルタードかを確認して、スケールにあった音で色々な三和音を探してみてください。

4thコードは4度堆積和音とも呼ばれます。2-5-1進行のインターバルと同じ距離で音を積む方法です。どんどん積んでいくとキーが分からなくなってしまうので、3つ程度で重ねることが多いですね。

4thコードの特徴は3度と7度がなくなることです。ガチッとした響きではなくちょっと抽象的な響きになります。

4thコードについてはここで説明すると長くなるので詳細は省略します。Muboで詳しく解説していますので、興味がある方はそちらをチェックしてください。(第51回, 第63回)

Key : C Major



4度インターバル   4度インターバル

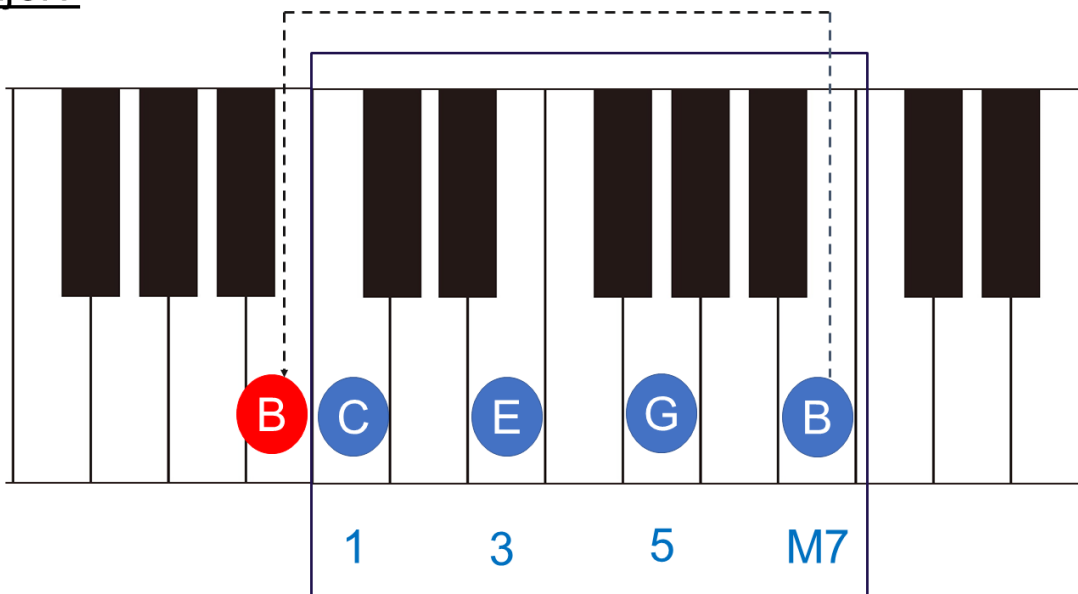
## 4. ブロックコード

これはめちゃくちゃよく使います！特にホーンセクションや歌のハモりに多い手法です。この方法も2種類あります。

1. コードの一番上(メロディ)の音を一番下にも重ねる
2. メロディをオクターブで重ねて、内の音はハモる8個のかたまりから自由に選ぶ

パターン1：コードの一番上(メロディ)の音を一番下にも重ねる

### C Major7



コンセプトはシンプル。一番上の音と同じ音をオクターブ下でも押さえるだけです。メロディーと一緒に和音も動きたい時によく使います。

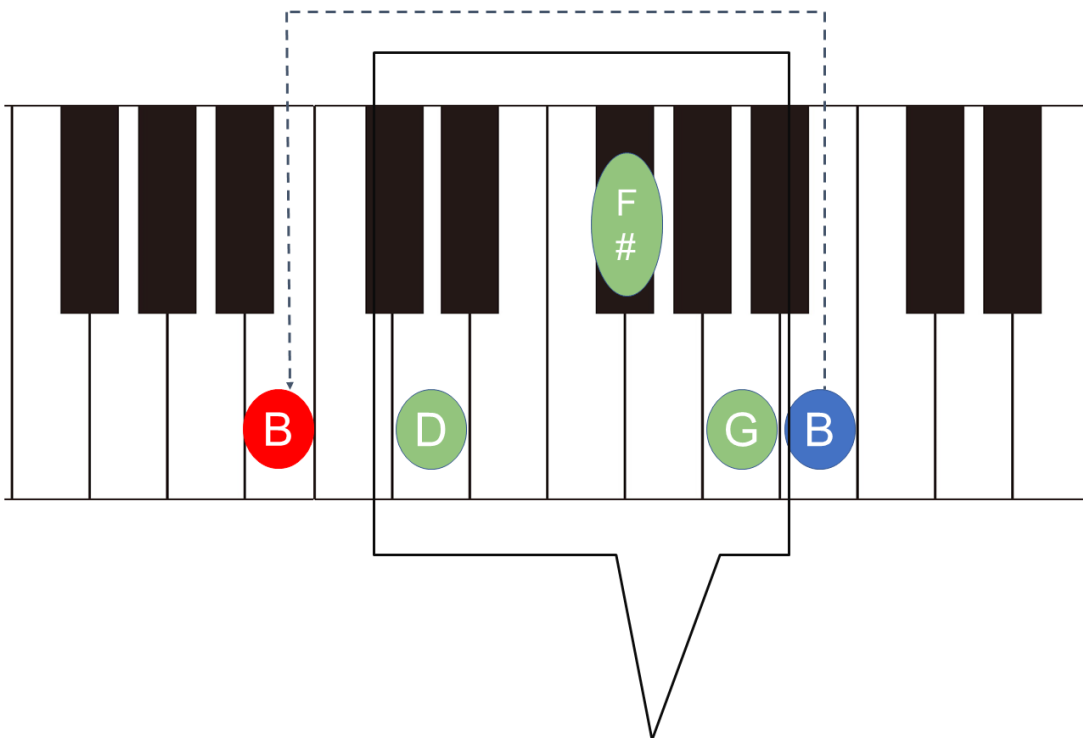
ホーンセクションなどで4人しかいない時とかは、5度を抜いたりしても大丈夫です。

パターン2：メロディをオクターブで重ねて、内の音はハモる8個のかたまりから自由を選ぶ

コンセプトはめちゃくちゃシンプル。ほとんどパターン1と同じですが、オクターブの中をハモる8個のかたまりから選ぶ方法です。

C Major7

メロディの1オクターブ下に音を足す



1オクターブ内で、ハモるかたまりから音を自由に選んで押さえる。

(ゴスペルでよく使われますね。)



1.

音の積み方には4種類ある。

1. クローズドボイシング
2. オープンボイシング
3. 4thコード
4. ブロックコード

2.

クローズドボイシングは2種類。

「基本系」

「3度と7度を弾いて、空いている指でテンション」

3.

オープンボイシングは3種類。

「左手は1度と7度で右手は3度とメロディ」

「左手はクローズドで右手はオクターブ」

「左手はクローズドで右手はアッパーストラクチャー」

4.

4thコードは4度のインターバルでコードを重ねる方法。3度、7度がないのでコード感の薄いフワッとした雰囲気になる。

5.

ブロックコードは、コードの一番上の音を一番下にも重ねる方法。そのオクターブ内の音をどうするかで2種類に別れる。


「コードトーンをそのまま押さえる」

「ハモる8個のかたまりから自由に押さえる」

Part17 link

<https://mubo.taka808.com/articles/Y4w-dhEAACgAWIXh/>





もっと簡単にジャズのサウンドを作る  
(コンビネーションディミニッシュ)

# part 18 もっと簡単にジャズのサウンドを作る

## 4度進行をしていないところでもオルタード的サウンド

オルタードテンションを学ぶことで、みなさんもだんだんと王道ジャズサウンドの作り方が分かってきたと思います。同時に、色々な制約があってめんどくさい、と感じた人もいると思います。

たとえば、「4度進行をしているところでしか使えない」というようなルールですね。

実は「コンビネーションディミニッシュ」を使うと4度進行をしていないV7でもオルタードのようなテンションが使えるのです。それをどう作るのかを説明しますね。



b13thを13thにするだけ！

これだけで、セブンスならどこでも7、9、b9、#9、#11、13といったテンションが使えるようになります！

まず次のページでポイント5つを説明いたします。



## コンビネーションディミニッシュの5つのポイント

1. セブンスであればどこでも使える
2. 5度が使える
3. 4度進行していても使える
4. 要するに半音違いのディミニッシュが重なっている
5. 短3度で平行移動できる

### 1. セブンスであればどこでも使える

b13を13に戻すと、オルタードよりも緊張感がすこし緩和されます。(ハモるかたまりの音が増える) 結果として、次のコードが安定のコードじゃなくなっても大丈夫なんじゃないか、という感覚になります。

なので、不安定→安定の5→1進行(4度進行)以外でも使えるようになったと考えてOKです。

よって、コンビネーションディミニッシュは、セブンスならどこでも使えるオルタードの仲間、と捉えて問題ないでしょう。



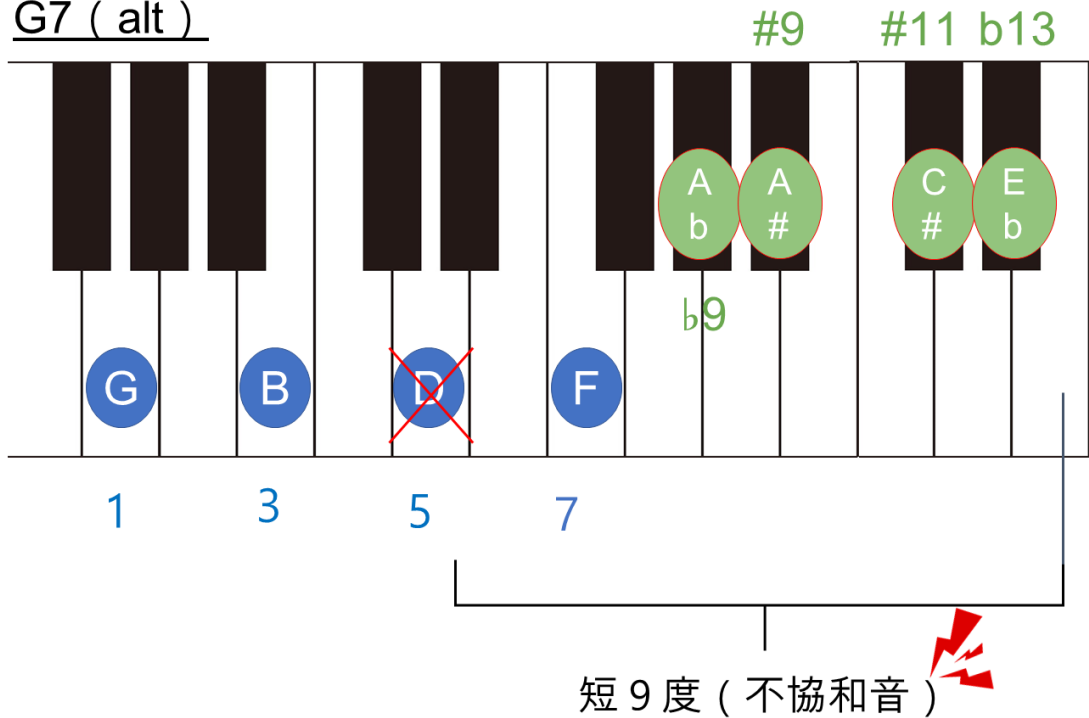
## 2.5 度が使える

どういうことか説明しますね。オルタードだと5度が使えなくなるということは既に説明しましたね。b13とぶつかるからです。

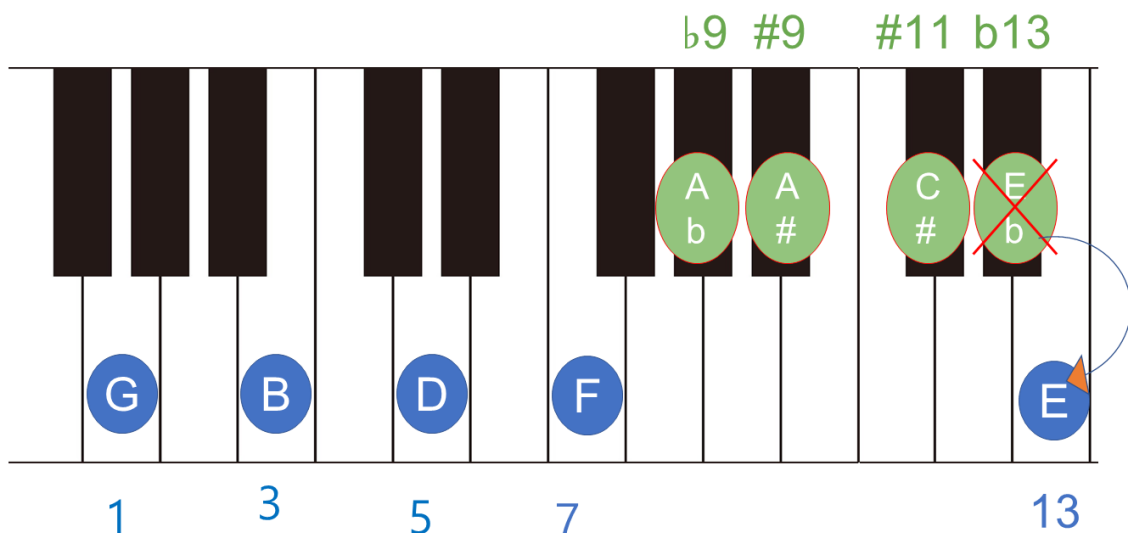
コンディミではb13をナチュラル13にするので、5度とぶつかることによる不協和音もなくなります。

なので、5度が使えるということになるのです。

### G7 (alt)



### G7 (コンビネーションディミニッシュ)

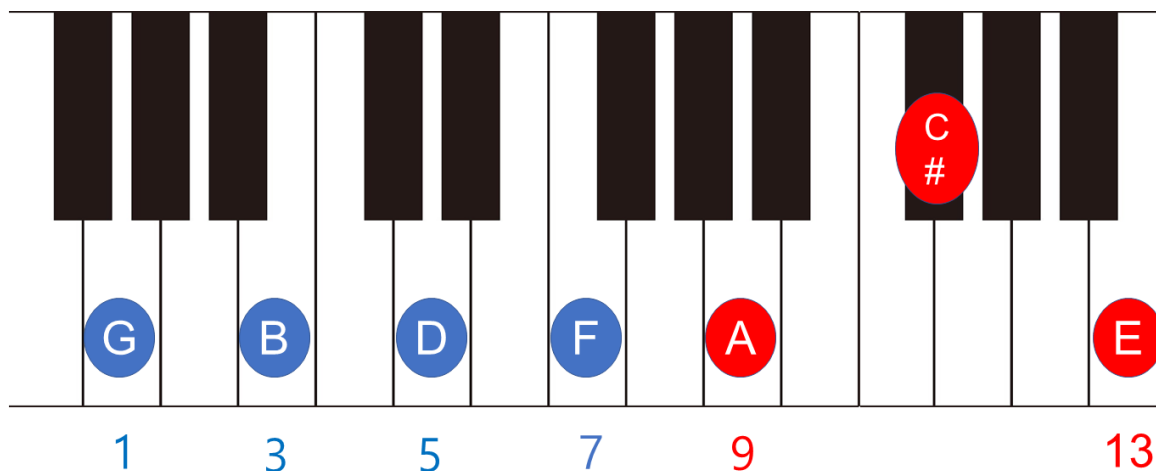


### 3.4度進行していても使える

セブンスならどこでも使えると言いましたね。ということは、当たり前なのですが、4度進行しているV7でも使えるということです。なので、そこでは3種類の選択肢があるということになります。

#### G7 (9,#11,13) ナチュラルテンション

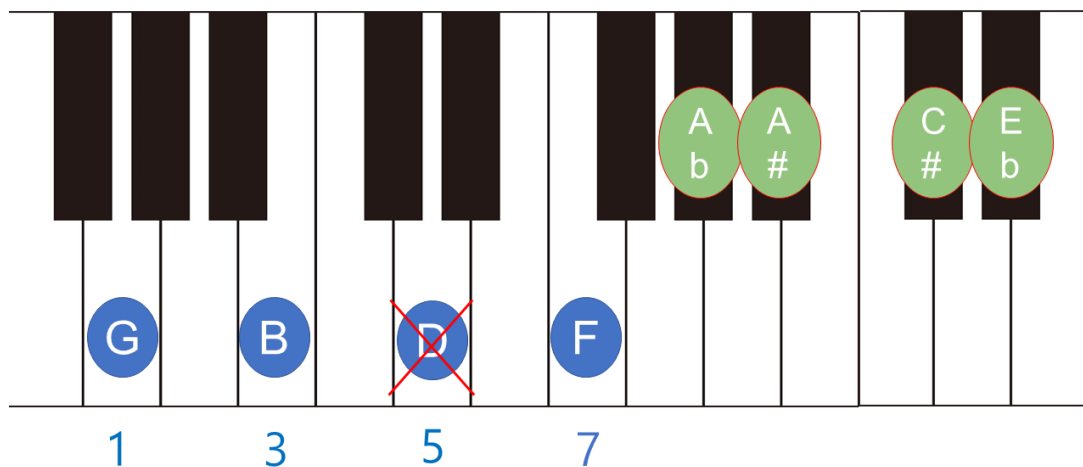
#11



#### G7 (alt)

b9 #9

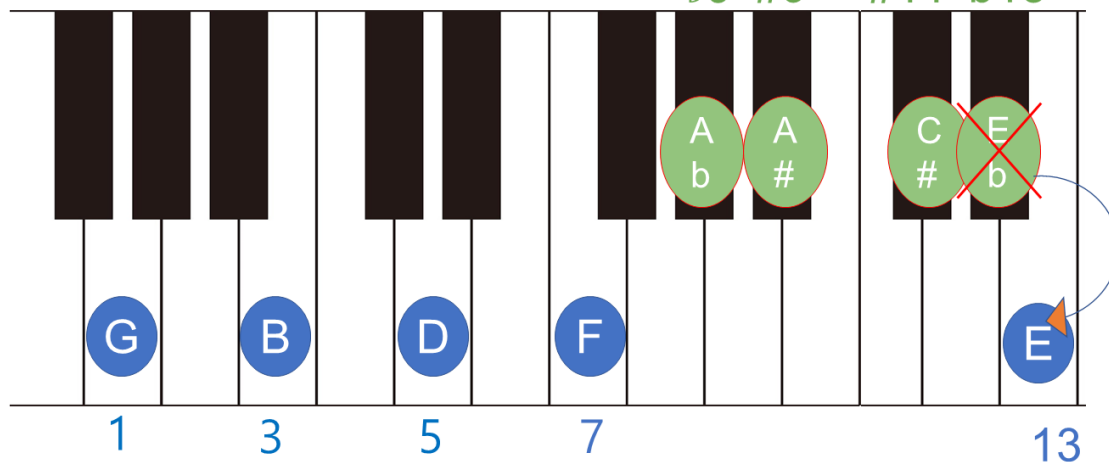
#11 b13



#### G7 (コンビネーションディミニッシュ)

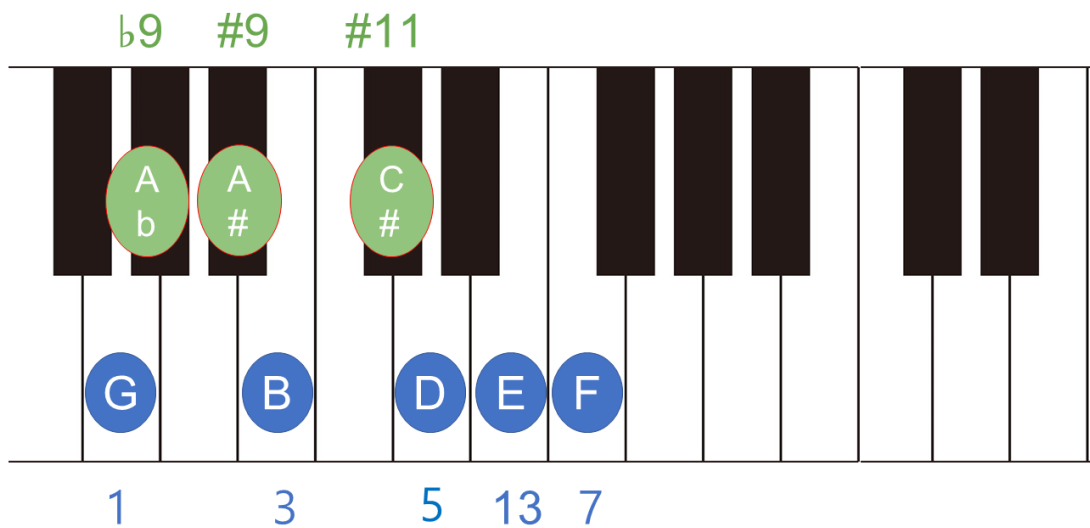
b9 #9

#11 b13

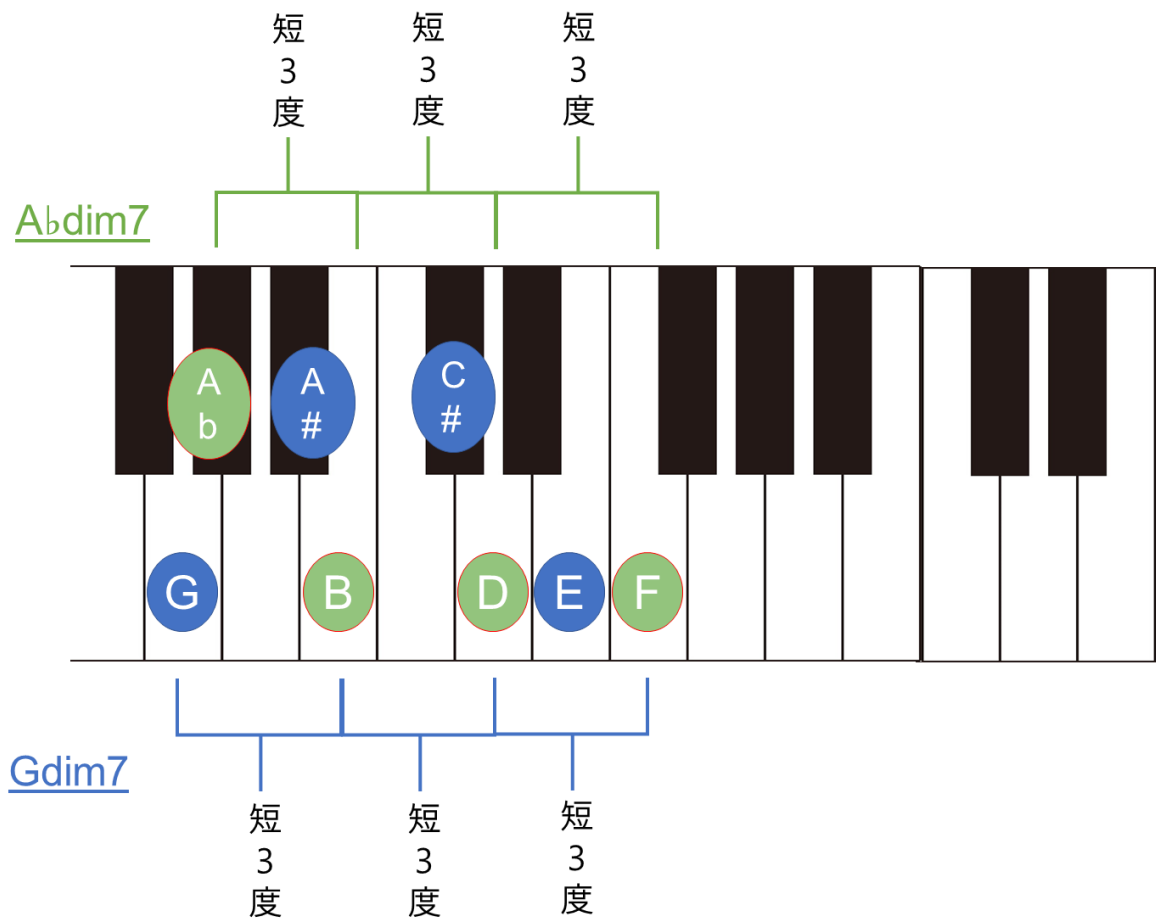


## 4.要するに半音違いのディミニッシュが重なっている

### G コンビネーションディミニッシュスケール



スケールに並べかえると上のような形になります。このスケールからどんなコードに分解できるかアナライズ。そうすると、「Gdim7」と「Abdim7」ができそうな気がしますね。



G7 (コンビネーションディミニッシュ) スケールから、

GdimとAbdim7がつくれることがわかります！

Gコンビネーションディミニッシュスケールは、G7の上で使えると言いましたね。ということは、このスケールから作ることのできる「Gdim7」と「Abdim7」も、G7上で弾けるということなのです。

そういえば、ディミニッシュには互換性があるという話をしましたね。Part03でやった内容をもう一度見てみましょう。

### ■ ディミニッシュの特徴

1. 構成音と同じ距離で離れているので、どの音からコードを作っても、同じパターンができる。
2. C、Eb、Gb、Aディミニッシュの構成音は同じ。
3. Db、E、G、Bbディミニッシュの構成音は同じ。
4. D、F、Ab、Bディミニッシュの構成音は同じ。
5. なので、覚えるディミニッシュコードは3パターンだけ。

これを踏まえてもういちどコンビネーションディミニッシュについて考えてみます。

G7上では「Gdim7」と「Abdim7」が使えます。

「Gdim7」は、C# ( Db )、E、G、Bbディミニッシュと同じ。

「Abdim7」は、D、F、Ab、Cb ( B )ディミニッシュと同じ。

つまり、ディミニッシュが同じV7コード上で、8個つかえるということです！

これでかなり可能性が広がったんじゃないでしょうか！

( 広がりすぎてワケがわからなくなる可能性もありますが笑 )

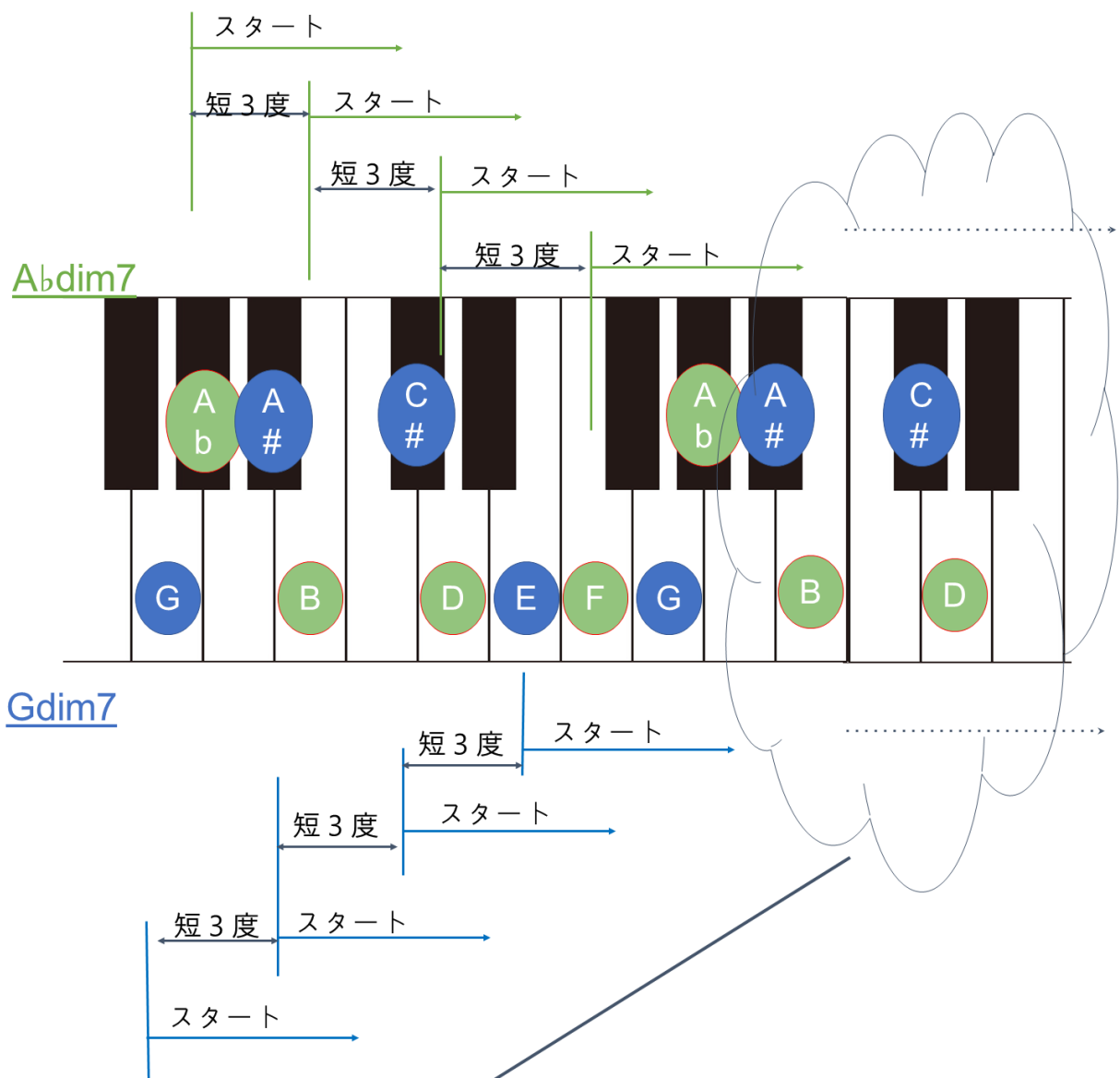
オルタードと比べて制約が少ないので、あんまり考えすぎずセブンスにジャズ要素を入れたいときにはぴったりですね。

ジャズだとハービーハンコックが一番使いこなしたと言われてますが、日本のポップスでも良く使われています。

本当に色々なパターンがあるので、自分の気持ちと相談しながら試してみてください！

## 5.短3度で並行移動できる

### G コンビネーションディミニッシュスケール



対称な形でできているスケールなので、短3度の間隔ですっとコードを並行移動していくことができる。スケールで考えると、短3度の間隔でスタート地点を変えても同じ形になるとも言える。



もっと簡単にジャズのサウンドを作る。  
(コンビネーションディミニッシュ)

1.

コンビネーションディミニッシュは、オルタードテンションの $b13$ をナチュラル $13$ に変更するだけ。そうすると、セブンスならどこでも(4度進行していなくても)7、9、 $b9$ 、 $\#9$ 、 $\#11$ 、 $13$ といったテンションが使えるようになる。

2.

$b13$ をナチュラル $13$ にすることで、5度が使えるようになる。

3.

4度進行している $V7$ では、3つの選択肢ができることになる。オルタードテンション、ナチュラルテンション、コンビネーションディミニッシュの3通り。

4.

コンビネーションディミニッシュは、隣り合った2種類のディミニッシュセブンスが合体したもの。逆にコンビネーションディミニッシュスケールから2つのディミニッシュコードが分解できるとも言える。

5.

コンビネーションディミニッシュは、対称的な形を持った音のかたまりで、短3度で平行移動していくことができる。また、同じ $V7$ コードの上で8個のディミニッシュコードを弾くことができる。

Part18 link

[https://mubo.taka808.com/articles/Y4w\\_IREAACMAWlr2/](https://mubo.taka808.com/articles/Y4w_IREAACMAWlr2/)



## ■ 著者あとがき

最後まで読んでいただきありがとうございます。NYでミュージシャンとして生活して10年が経ちました。僕が実際に使っている方法をなるべくわかりやすく、多くの人に取り入れやすくするためにまとめてみました。

僕自身、日本で活動していたときは先輩、後輩に『才能ない』『お前は本当にダメだな』と言われ続けてきました。

そんな僕でも世界のトップミュージシャン達に仕事に呼ばれるようになり、ようやく、自分のやってきたことは間違っていなかったのかも、と思えるようになりました。僕は人一倍ダメなプレイヤーだったので、多くの人がどこでつまづいてしまうのか、他の人よりもよくわかるつもりです。

しかしそれも忙しい日々と共に少しずつ記憶が薄れてきます。昔の、壁が破れず悶々としていたことをすっかり忘れてしまう前に、僕の経験を活かして同じ気持ちで苦しんでいる次の世代のミュージシャンの助けに少しでもなりたいと思っていました。

周りに色々言われて全く自信も希望も持てなかった僕にとって、NYの自由な環境は衝撃的でした。なにをしても自由。チャレンジすることにリスクは全くありません。だからか、町中のライブハウスは毎日聞いたこともないアイデアで溢れていました。この本を読んでくれた方達が、読む前よりも少しでも自由に、気軽に新しい音楽に取り組めるようになれば幸いです。

最後に、本当にたくさんの方々の協力でこの本を出版できました。チームaccess art、チームライブ配信、編集・校正スタッフさん、生活さん、木暮さん（the band apart）、本当にありがとうございます。

そして特に、全ての文字起こし、編集、企画、さらにスタッフ・技術者さん集めまで、すべてを無限のモチベーションでこなしてくれた編集者の白昼堂々さん。彼との出会いがなければこの本は完成しなかったでしょう。

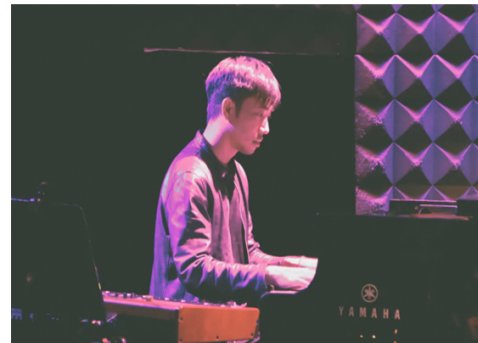
僕の音楽のポイントを理解しつつ、音楽と正反対と言っても過言ではない事務作業、マネジメント等を両立しながら自分を殺し、徹底的に全員を立てて難しい立ち位置をこなす姿はまるで素晴らしい作品に出会った時のような感銘を受けました。

みなさんにとっても、この本が少しでも勇気とモチベーションを与えるものになりますように。感動とよい経験をありがとうございました。

-泉川

## ■ 著者プロフィール

NY在住のピアニスト、  
キーボーディスト。



グラミー賞受賞アーティストMaurice Brown (Tp アンダーソンパーク), Marcus Gilmore(Dr), Jermaine Holmes(Voティアンジェロ、エリカバドゥ), Timothy Bloom(Vo), Marcus Machado(Gt), エリカバドゥの他、Keyon Harrold (Tpティアンジェロ、エリカバドゥ、コモン), YEBBA (vocalist), Daru Jones (Dr), MonoNeon (Bsプリンス),などの著名ミュージシャンとライブ、レコーディングを重ねる。

Smif&Wessun, Kool Keith, Black Moon, Smoke DZAなどの90年代有名ヒップホップアーティストのライブにもキーボーディストとして参加。

2017年Vincent Herring(As)のアルバム“Hard Times”の全曲アレンジ、ボーカルアレンジ作成を担当、アレンジャーとしても活動の幅を広げる。

2019年アメリカのメジャーレーベルRopeadopeと契約、自身のアルバム「Life Is Your Thoughts」を発売。

MISIA, 柴田淳をはじめ、J-popのレコーディングも多数行なっている。

## ■編集者プロフィール

白昼堂々（はくちゅうどうどう）  
湘南在住の作詞・作曲・編曲家。

X:@maikiman198  
youtube:@hakuchu\_dodo



ShepherdやThe Roam Town Bandなどのバンドやセッション・ギタリストとして活動していたが、ジストニアを機に転向。

## ■編集者あとがき

私はもともとバンドマンで、ギタリストとして活動してきました。しかし、ある時ジストニアと診断され、その活動が難しくなりました。

そんな中、偶然にも泉川さんの「Mubo（ミューボ）」と出会い、音楽の楽しさと自由さを再発見し、作詞・作曲・編曲家としてリスタートすることができました。

偉大な先人たちが書かれた理論本は世にあまたあると思います。どれも素晴らしいものです。しかし、本書は、NYで活躍する泉川氏が現場で培ったコンセプトを基にした、少し視点の異なるオリジナリティのある内容となっています。

私自身が、より自由に音楽を表現できるようになったように、皆さんにも、それを実感していただけると良いなと感じています！

最後に、編集のご縁をいただいた泉川さん、サポートスタッフの方々、表紙デザインを担当して下さった生活さん、中表紙デザインを引き受けていただいた木暮さん（the band apart）、そして本書を手にとっていただいたすべての方々に深い感謝の意を表します。

皆様のおかげで、この本が世に出ることができました。ありがとうございます。

-白昼堂々